



宫城県教育委員会 宫城県多賀城跡調査研究所 1980-3

多常城跡

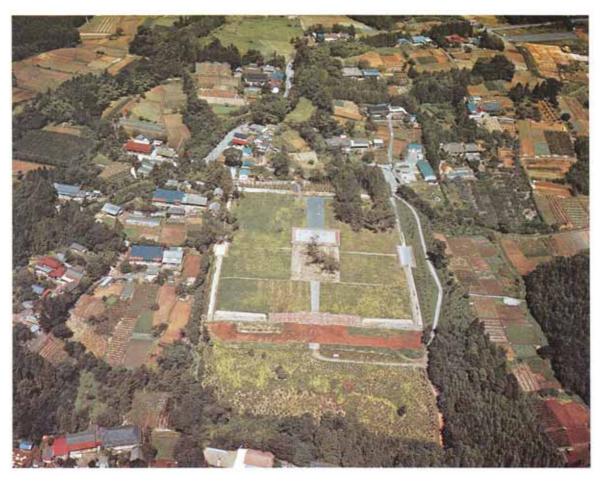
政庁跡 図録編



宮城県教育委員会 宮城県多賀城跡調査研究所 1980.3



多賀城跡全景



政庁跡全景

多賀城は、古代日本の枢要な地方機関であり、東北地方に数多く存在する、いわゆる城棚を代表するものといわれてきた。城棚に対する見方としては、これを軍事基地的にとらえるのが従来の一般的あり方であろうかと思われる。

多賀城の政庁跡は、調査前には「内城」跡といわれており、それが調査の進行にともない「朝堂院型式をもつ政庁」あるいは、地方官衙の「政庁」と見なされるようになってきたのである。これは、多賀城の中枢部分に対する大幅なイメージ変更といわねばならない。

このことをさらに敷衍するならば、城棚像の変更ということになろう。 すなわち多賀城政庁地区の調査は、ひとり多賀城の中枢部分を解明した にとどまらず、他の城棚に対する従来の見方をも変える結果となったと も言えるであろう。

ところで、1963年の夏に、伊東信雄博士を団長とする調査団が組織され、宮城県教育委員会による多賀城跡の調査が開始されて早18年の歳月が過ぎようとしている。1965年までの3次にわたる発掘調査により、政庁跡のアウトラインが把握された。1969年にわれわれの宮城県多賀城跡調査研究所が設立され、通年の調査が実施されることになったのであるが、研究所設立時に立案した発掘調査第1次5か年計画では、この政庁跡の全貌を究明することを大きな目的とし、伊東博士の業績を引きついでゆくことにしたのである。

政庁跡の最後の調査は、1973年の第19次発掘であるので、その後すでに9年を経ようとしている。この地区の報告書刊行は、当研究所にとって、その当時からの懸案事項であったが、諸種の事情により実現せず今日にいたったのである。ここに図録編として、本文編とは切り離した形ではあるが、報告書を公にすることができたことは大きな喜びであり安堵の感を禁じえない。しかし反面、多賀城跡といった重要な遺跡を取り扱う責任の重大性をひしひしと感ずるのである。今後も一層心を引きしめて調査研究にあたってゆきたいと考えている。

最後に、伊東信雄博士を委員長とする、多賀城跡調査研究指導委員の諸 先生、発掘にたずさわった諸氏、文化庁・多賀城市の関係各位、初代安倍 辰夫館長をはじめとする東北歴史資料館関係各位、当研究所旧職員諸氏、 さらに、直接発掘調査の鍬をとられた作業員諸氏に対し深甚の謝意を表す るものである。

1980年3月

宮城県多賀城跡調査研究所 所長 後藤 勝彦

多賀城跡

政庁跡 図録編

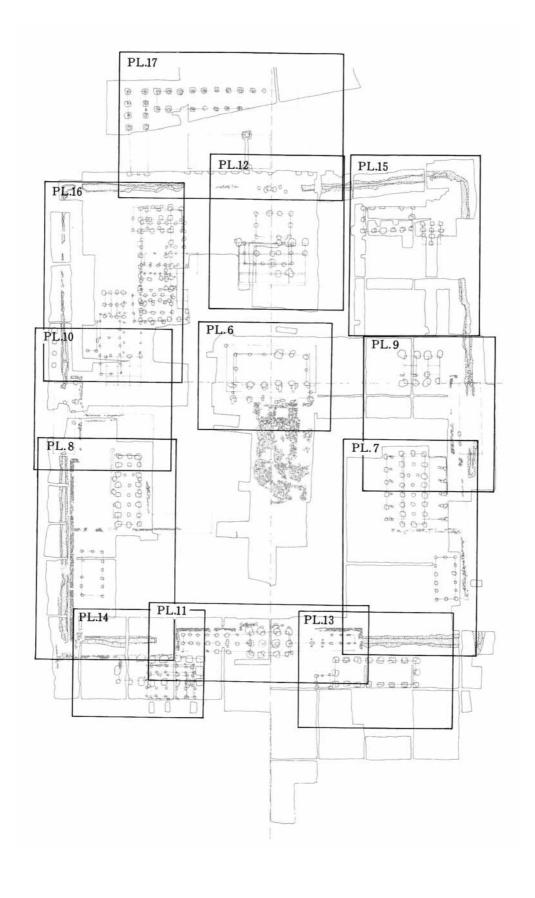
題字揮毫 大塚惣一郎氏

目 次

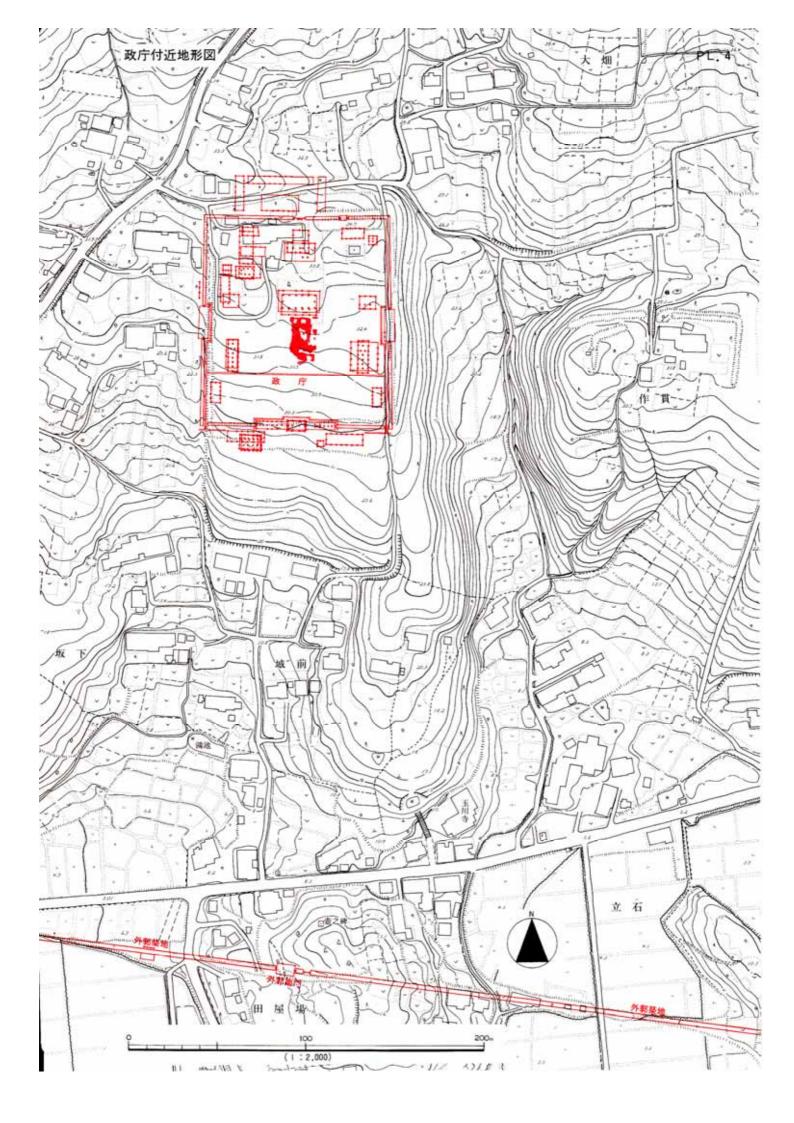
序文・例言
カラー図版
多賀城跡全景······PL. 1
政庁跡全景·····PL. 2
南門跡・東翼廊跡・・・・・・・・・・・PL.18
西辺築地跡・・・・・・・・・・・・・・PL.55
緑釉陶器 灰釉陶器 白磁······PL.147
円面硯······PL.148
漆紙文書······PL.159
遺跡・遺構図版
遺跡地形図······PL.3·4
遺構実測図・・・・・・・・・・PL.5~17
遺跡写真·····PL.19~20
遺構写真PL.21~65
遺物図版
瓦塼実測図・写真・拓影・・・・・・PL.66~105
軒丸瓦 軒平瓦 丸瓦 平瓦 道具瓦 塼
文字瓦
土器実測図······PL.106~129
土師器 須恵器 須恵系土器 施釉陶器他
硯実測図⋯⋯⋯⋯PL.130~134
風字硯 円面硯 転用硯
土製品・金属製品他実測図・・・・・・・PL.135
土錘 鞘金具 銙帯金具他
土器写真·····PL.136~147
硯写真⋯⋯⋯⋯PL.148~156
土製品・金属製品他写真・・・・・・PL.157・158
漆紙文書写真・釈文・・・・・・・PL.160~164

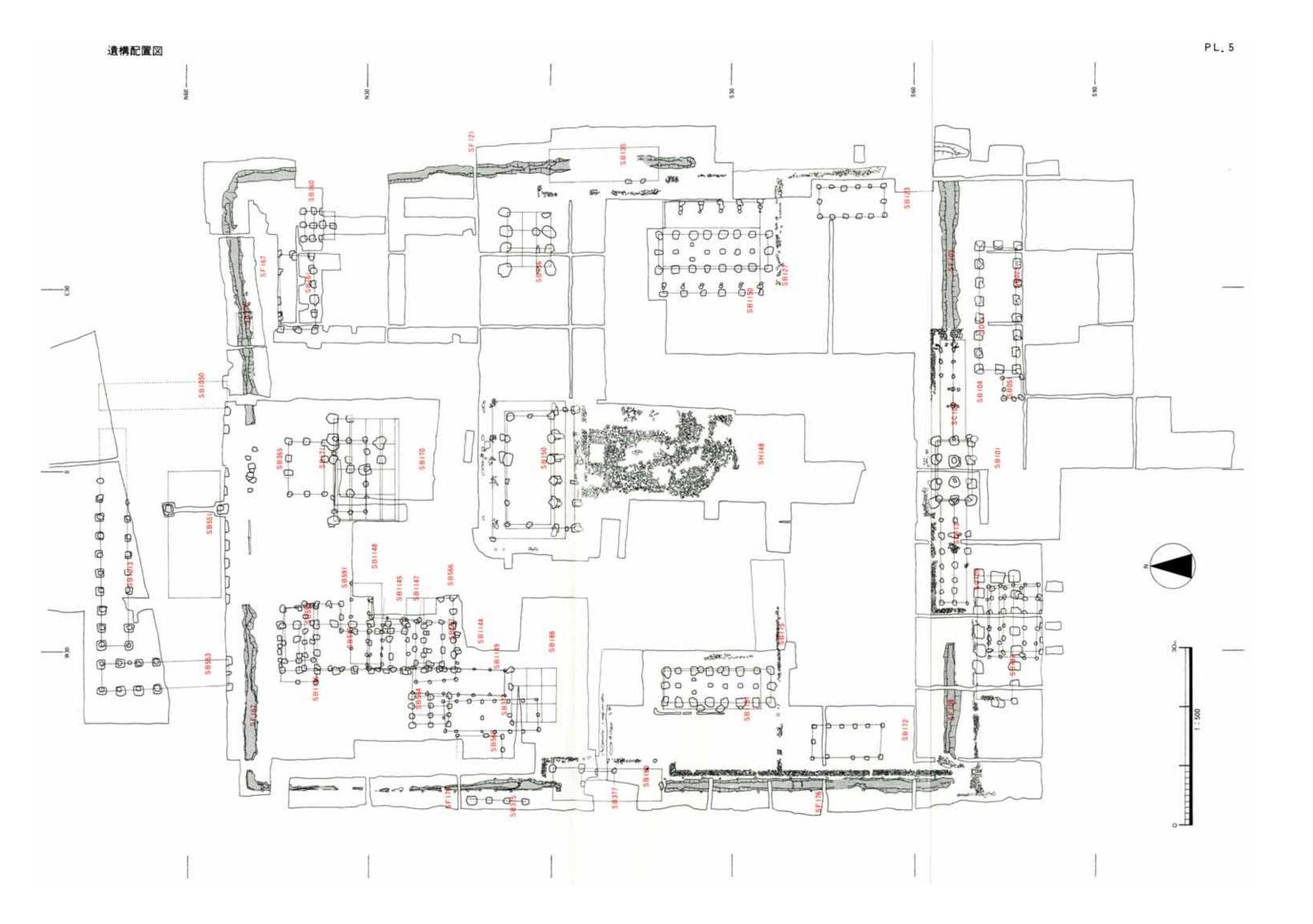
- 1 本書は、多賀城政庁跡の報告書であるが、これはその一部分であり、必要な資料を集成した〈図録編〉である。〈本文編〉はおって刊行予定である。
- 2 本書には、1963~65、1968年に、伊東信雄博士が担当された第1次~第4次の資料と1969・70、1972・73年に当研究所(所長岡田茂弘氏…当時)が担当した第5・6・9・16・19次の資料を掲載した。伊東博士をはじめとする当時の調査関係各位に厚く謝意を表するものである。
- 3 遺構実測図の基準点は、当所で正殿 SB150 上に設けた B.M.を用いている。すなわち、正殿と南門の各々心を通る線を東西の基線とし、それに直交し正殿の南入側柱列を通る線を南北の基線とし、両者の交点を基準点 B.M.と定めたものである。各遺構の基準点よりの距離は、北方向を N、南方向を S、東西を E・W の略号を用い、m 単位で図中に記した。高さは、基準点 B.M (海抜高 33.268m) を 0m として m 単位で示した。
- 4 遺構には番号を付し、その前にSA:柱列・pit 群、SB:建物、SC:廊、SD:溝、SF:築地、SH:広場、SK:土拡、SX:その他などの分類記号を付した。
- 5 プランの明確な建物跡については、その規模を実線で示した。
- 6 遺構写真図版の左頁には、遺構の撮影方向を示す図を付した。番号は図版中の番号と一致する。
- 7 遺構写真は、おおむね研究所のものを用いたが、一部 1963~65、1968 年度調査時の写真を用いた。それらについては、図版中に撮影者名を記した。
- **8** 瓦については、1 図版が数頁におよんでいる。ここでは同一 PL. ナンバーの次に、写真には a、実測図・ 拓本には $b \cdot c \cdot d$ 等の記号を付した。
- **9** 軒瓦には、笵の違いを示す三桁の番号を付した。なお、一部従来の表示を下記のとおり改めた。特にことわらないものは、従来どおりである。
- $110-A \rightarrow 120, \quad 110-B \rightarrow 121, \quad 111-A \rightarrow 122, \quad 111-B \rightarrow 123, \quad 111-C \rightarrow 124, \quad 111-D \rightarrow 125, \quad 111-E \rightarrow 126, \\ 111-F \rightarrow 127, \quad 111-G \rightarrow 128, \quad 111-H \rightarrow 129, \quad 111-I \rightarrow 130, \quad 111-J \rightarrow 131, \quad 111-K \rightarrow 132, \quad 111-L \rightarrow 133, \\ 111-G \rightarrow 128, \quad 111-H \rightarrow 129, \quad 111-I \rightarrow 130, \quad 111-J \rightarrow 131, \quad 111-K \rightarrow 132, \quad 111-L \rightarrow 133, \\ 111-G \rightarrow 128, \quad 111-$
- $111 M \rightarrow 134, \ 210 A \rightarrow 221, \ 210 B \rightarrow 222, \ 210 C \rightarrow 223, \ 210 D \rightarrow 224, \ 210 E \rightarrow 225, \ 210 F \rightarrow 226, \ 210 B \rightarrow 226, \ 210$
- $210-G\to 227,\ 210-H\to 228,\ 220-B\to 240,\ 220-C\to 241,\ 220-D\to 242,\ 220-E\to 240,\ 220-F\to 243,$
- $310 \rightarrow 310 A$, $410 \rightarrow 310 B$, $510 \rightarrow 511$, $721 A \cdot B \rightarrow 721 A$, $821 A \cdot B \rightarrow 721 B$
- 10 軒瓦は、資料が小破片の場合は、多賀城跡および多賀城廃寺出土の同笵瓦を参考として掲載した。
- 11 土器・土製品・金属製品については、写真と実測図を別に示したが、同一遺物については、番号を一致させてある。実測図中に番号を中ゴチック体で示したものは、写真図版にかかげた遺物である。
- 12 土師器で、黒色処理のほどこしてあるものは、スクリーン=トーンで示した。
- **13** 漆紙文書はすでに『多賀城漆紙文書』として刊行したものからの抜萃であり、番号は報告書に付したものをそのまま踏襲した。写真は赤外線テレビのブラウン管をモノクロフィルムで撮影したものである。
- 14 遺構・遺物の検討・整理、および本書の編集は、研究所員全員がこれにあたった。おおよその分担を示すと、遺構図面の作成・製図は桑原滋郎・古川雅清、遺構写真図版は桑原、遺物のうち瓦類は進藤秋輝・高野芳宏、土器類は白鳥良一・鎌田俊昭、漆紙文書は平川南・桑原がそれぞれ担当した。写真の撮影は、大部分を桑原が行い、一部北沢広氏が行った。

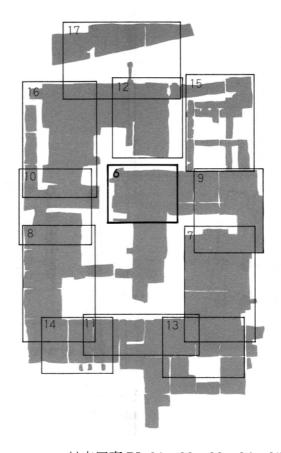
以上の作業を臨時職員の千葉祐子・石川勝子・浜田秀一・安田あや子・我妻悦子・高橋みずほ・千葉みどりがたすけた。



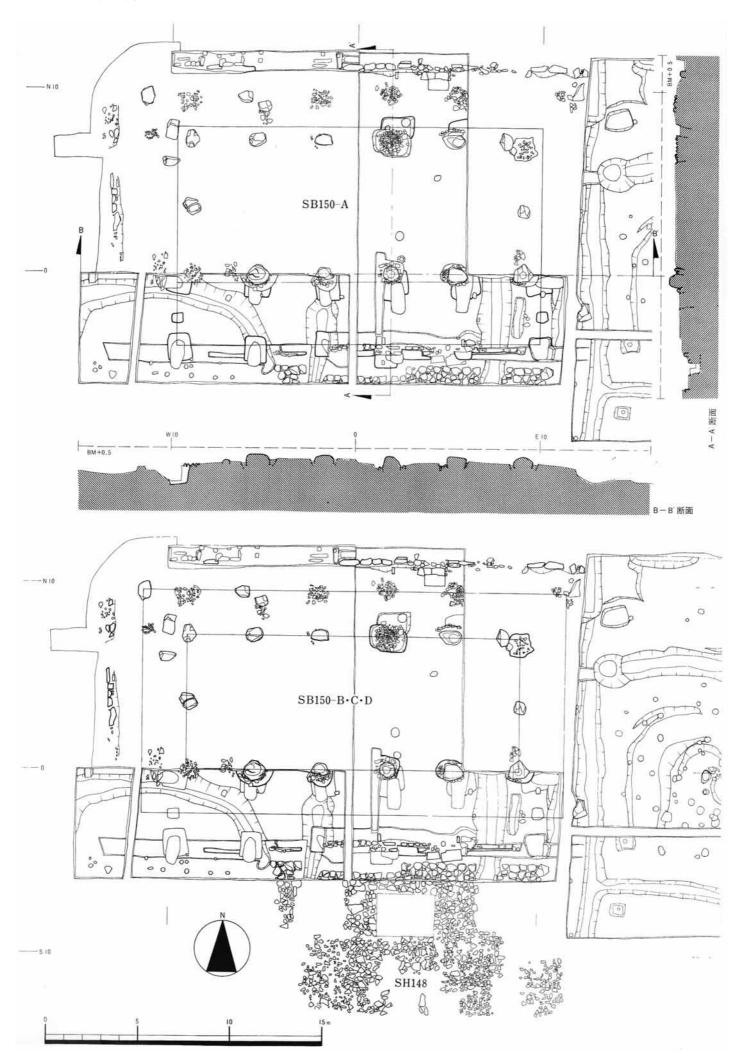


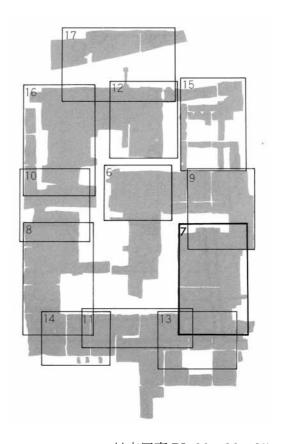




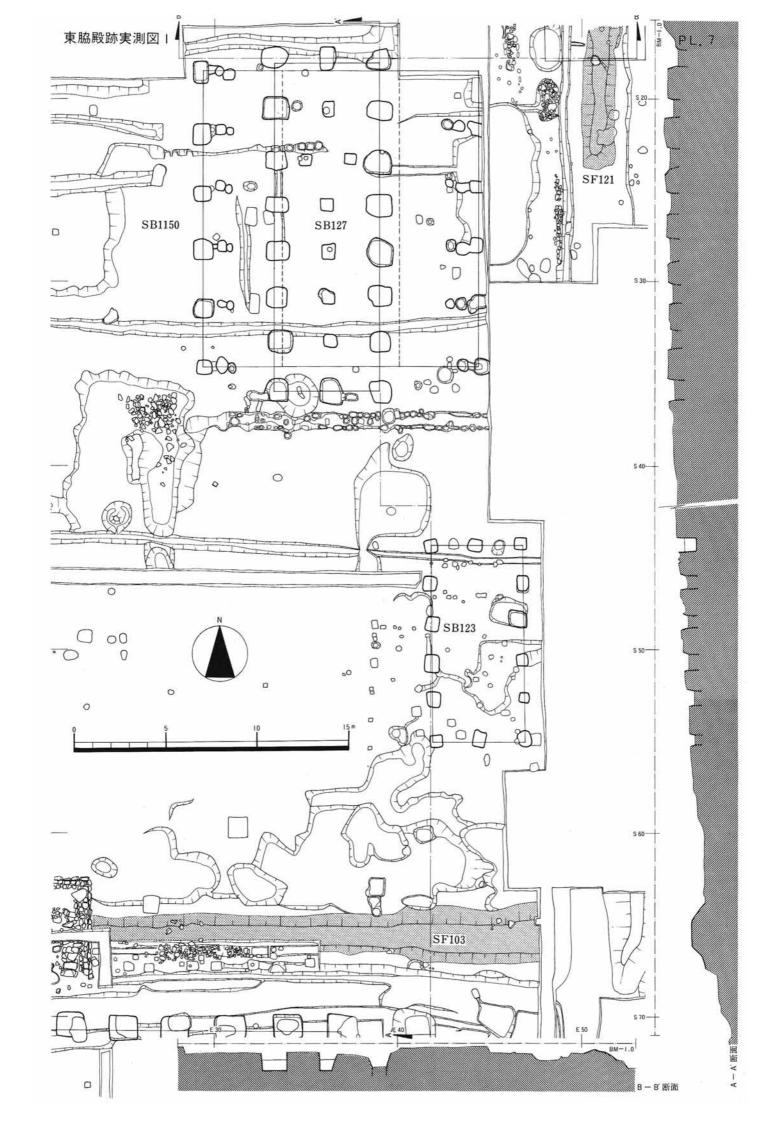


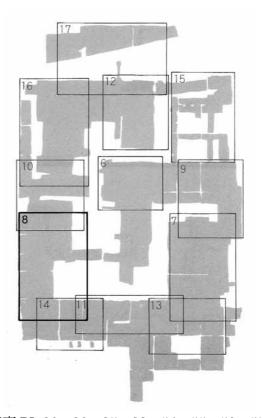
対応写真 PL.21 · 22 · 23 · 24 · 25



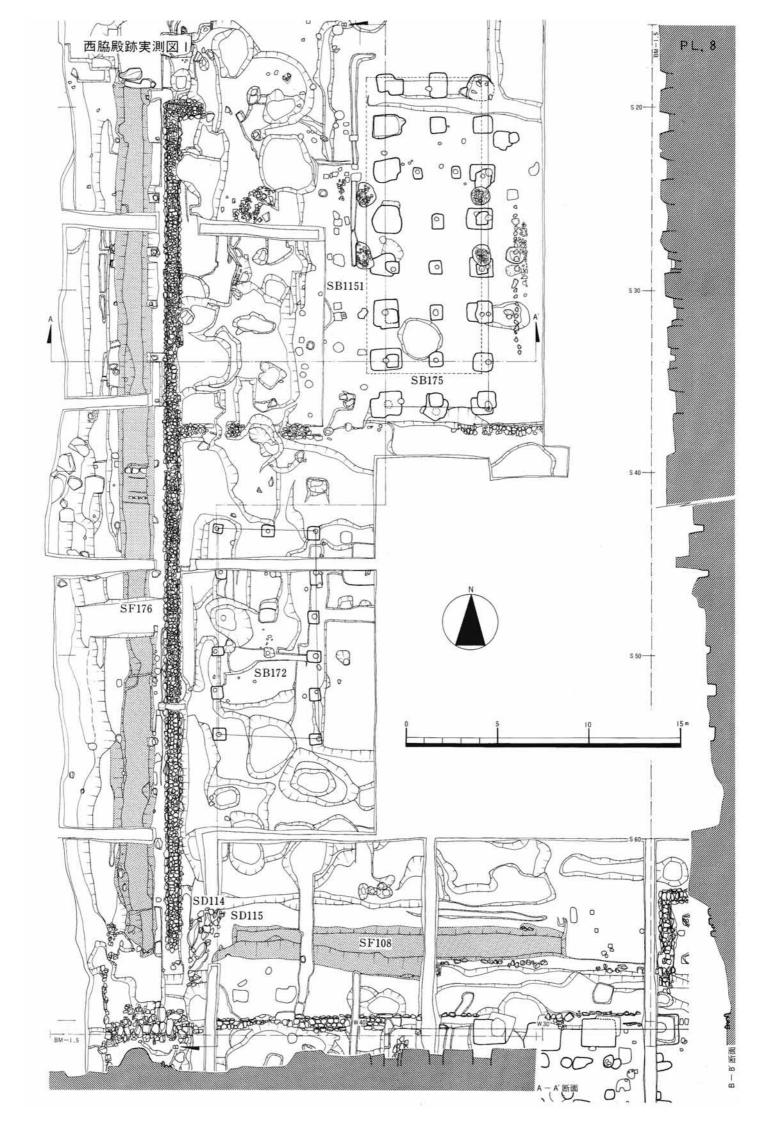


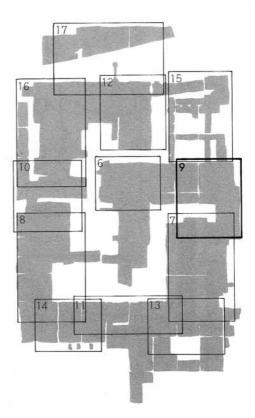
対応写真 PL.26・36・37



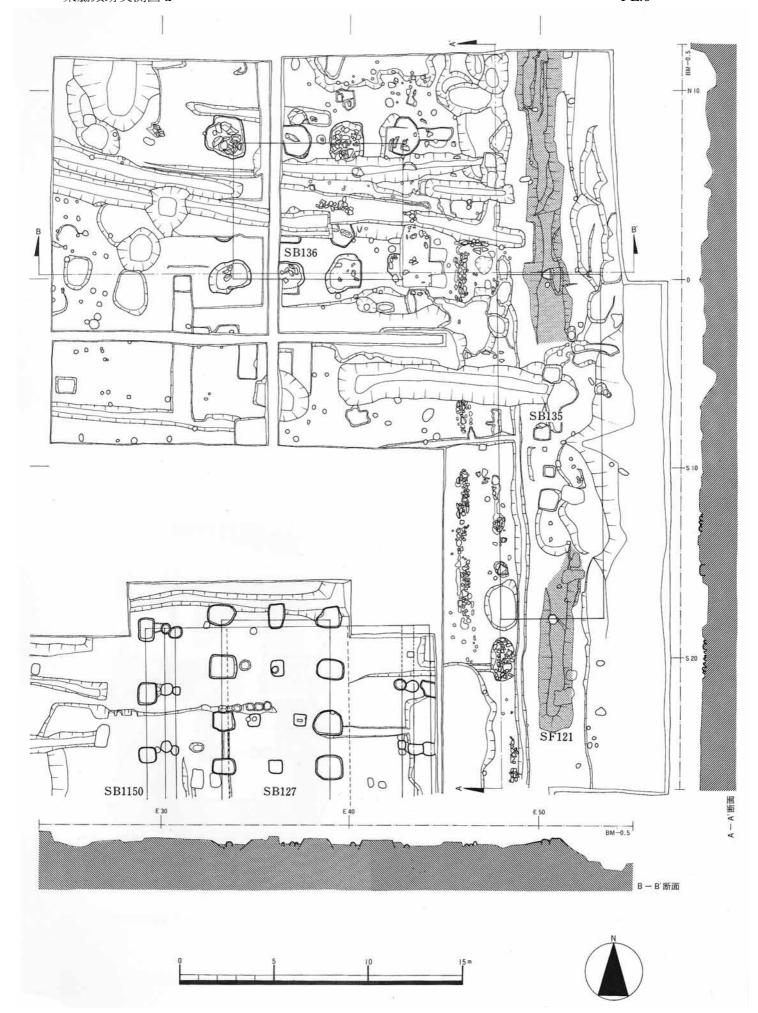


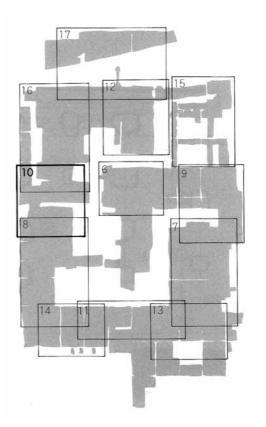
対応写真 PL.26 · 36 · 37 · 38 · 54 · 55 · 56 · 57 · 58



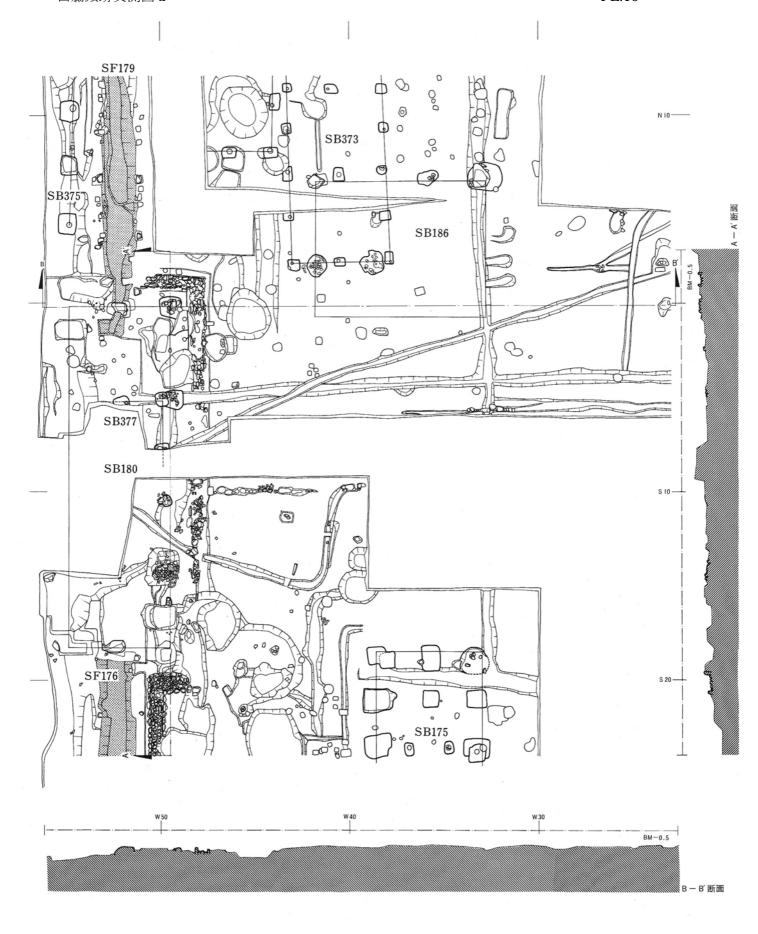


対応写真 PL.27 · 28 · 33 · 34 · 62



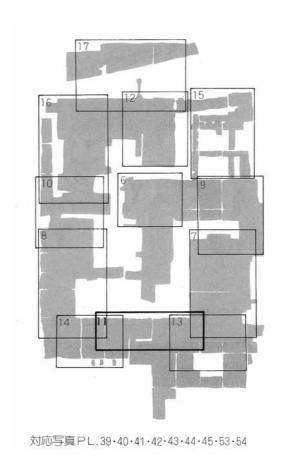


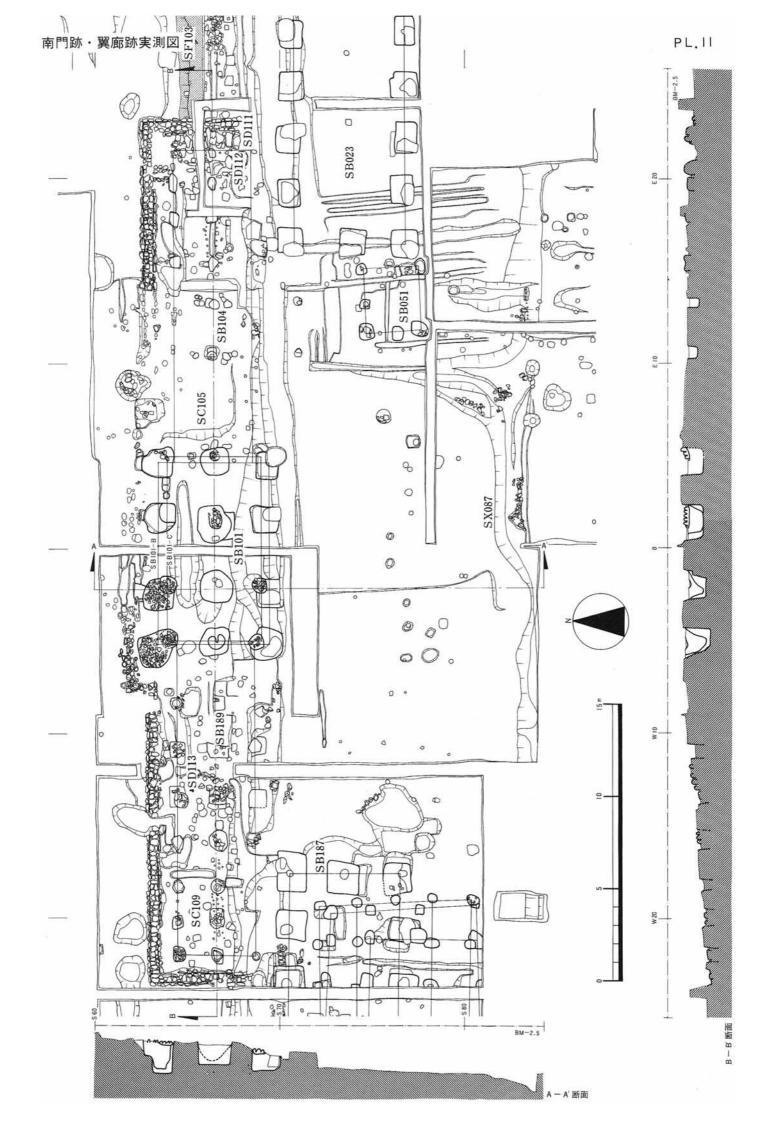
対応写真 PL.29・30・31・32・35・50

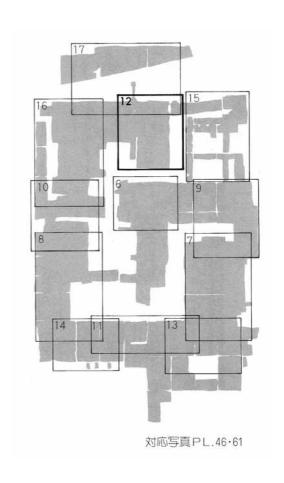


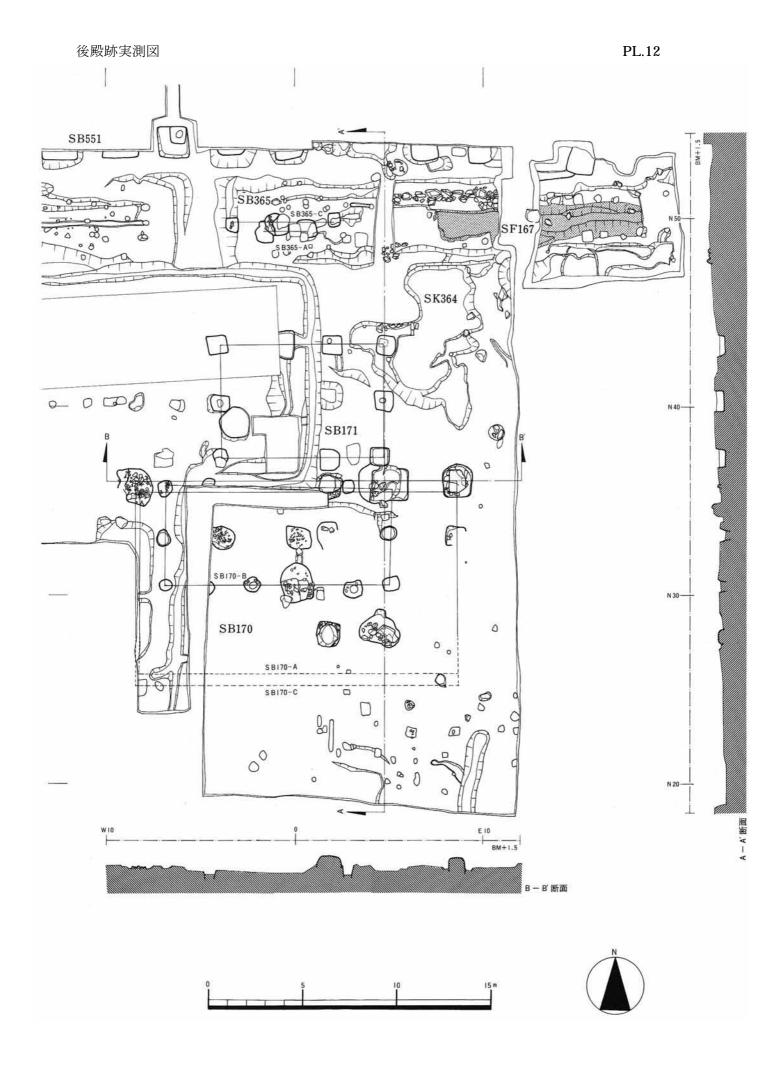


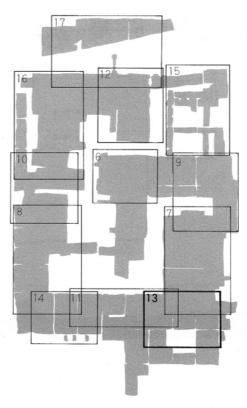




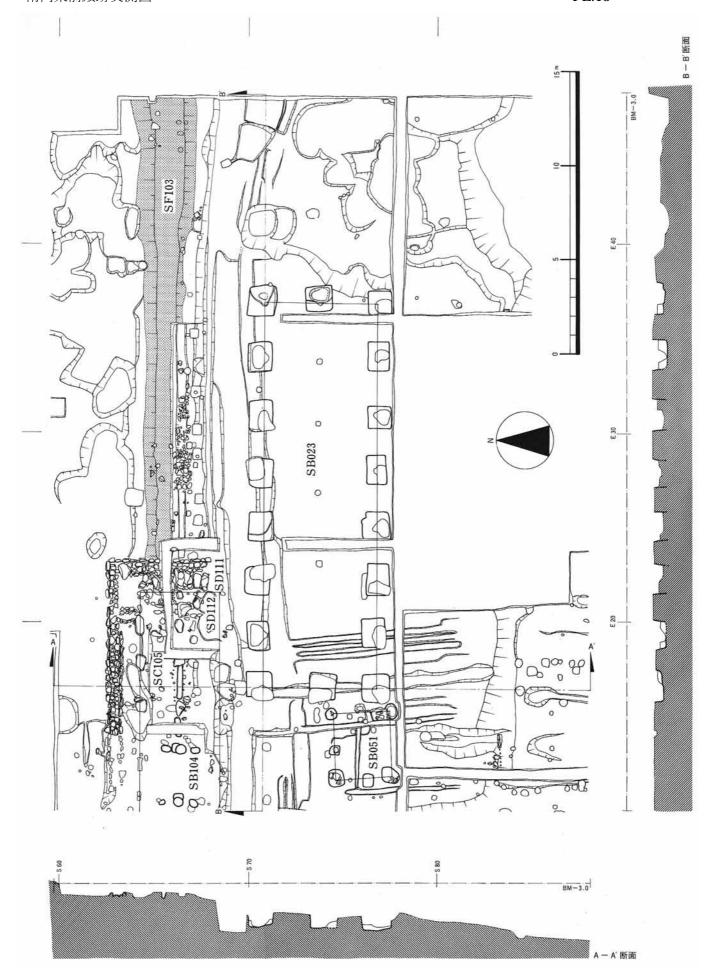


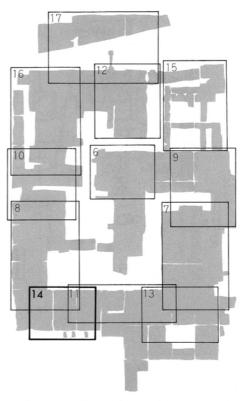






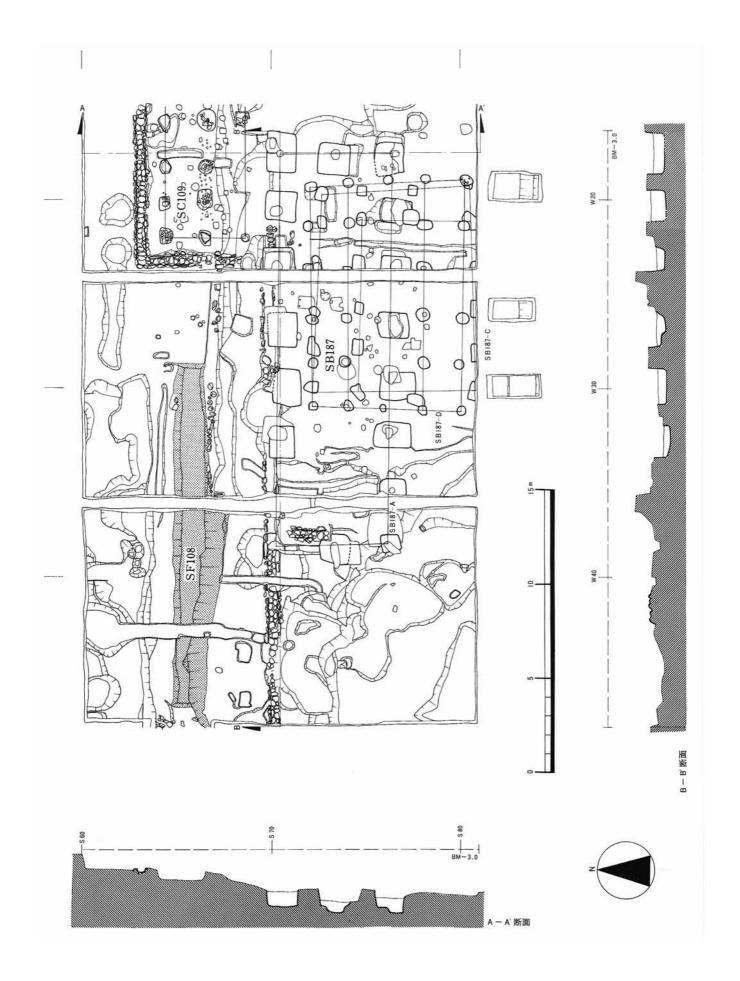
対応写真PL.43·44·47·52·53

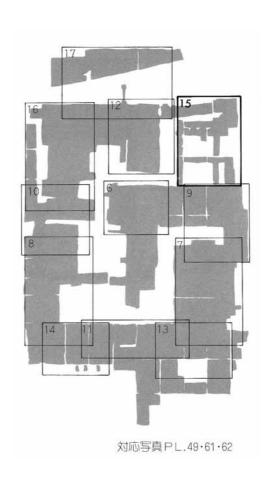


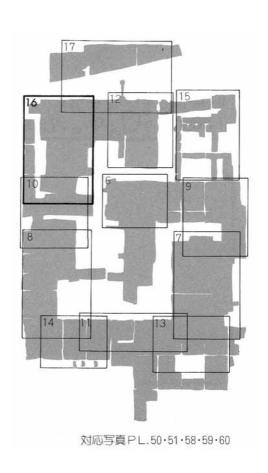


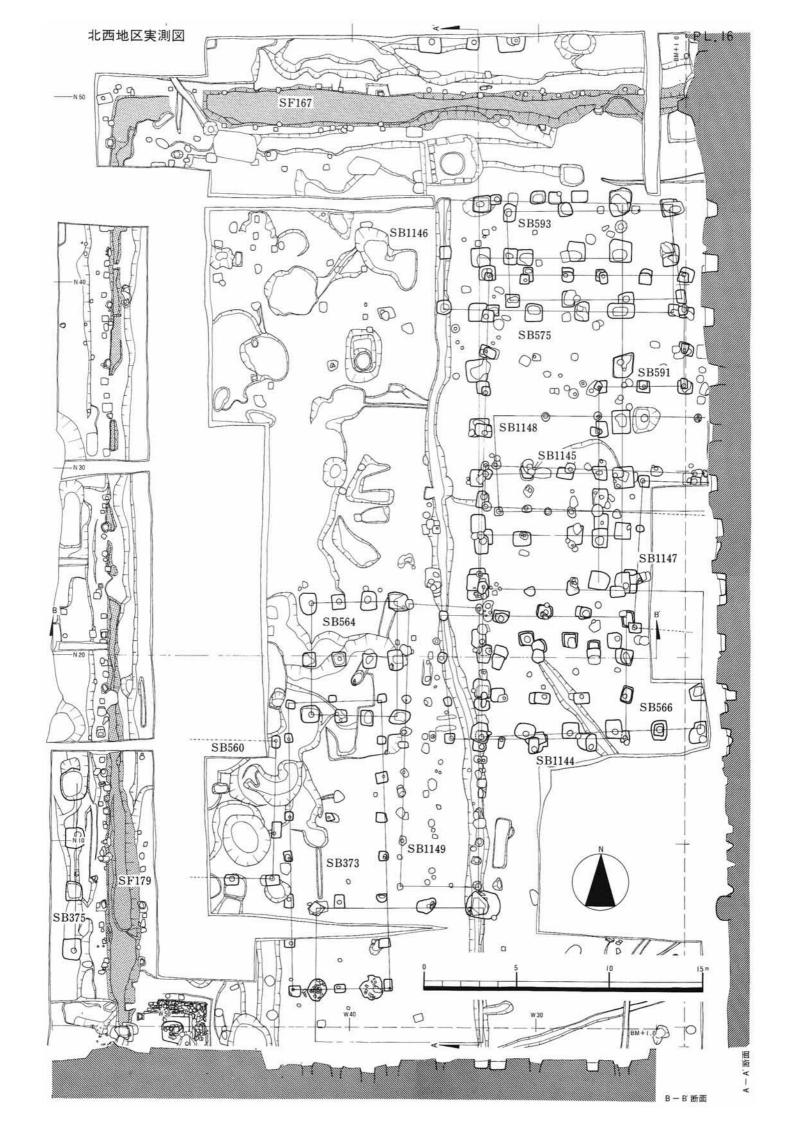
対応写真PL.45·48

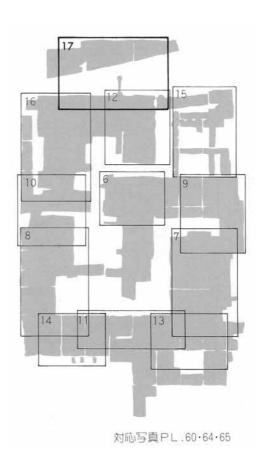
南門西前殿跡実測図 PL.14

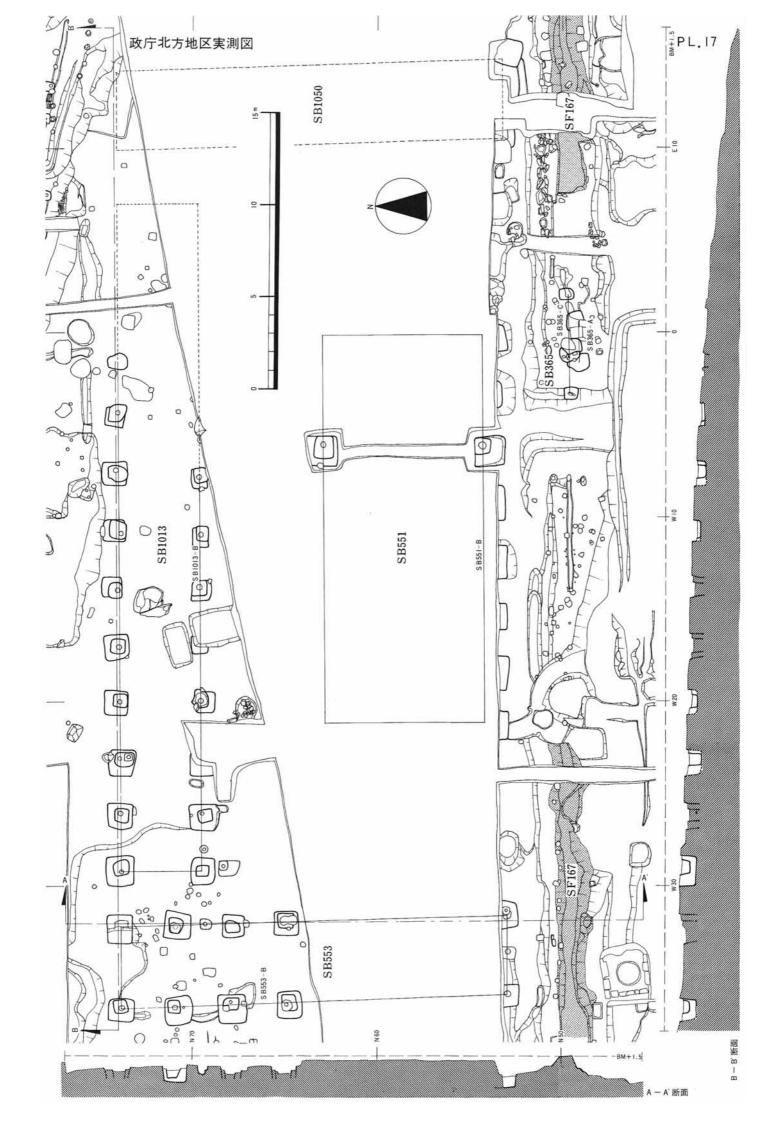


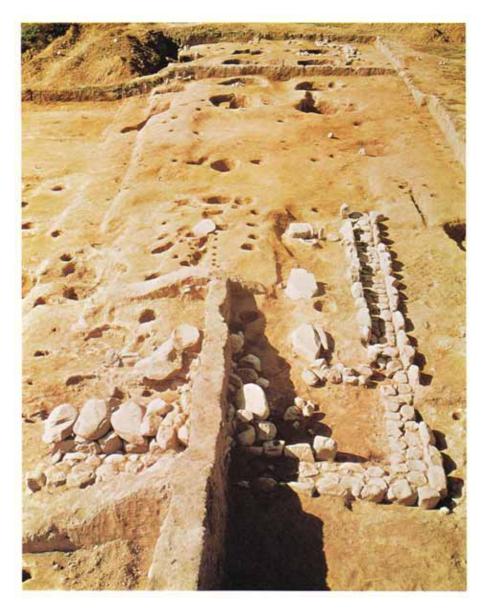












南門跡・東翼廊跡 東より

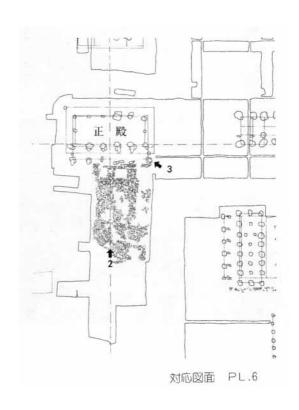


多賀城跡全景 1960年撮影 画面上 北





多賀城跡全景 1. 南より 2. 東南より



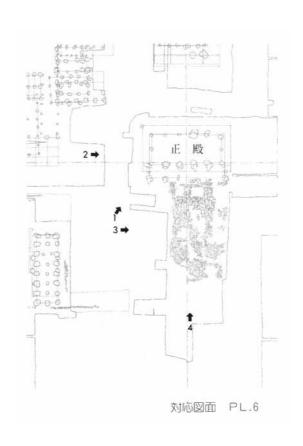


政庁跡・正殿跡

- I. 政庁跡全景 南より
- 2. 正殿跡 SBI50調査前 南より
- 3. 同上 東より
 - 2 · 3 伊東信雄氏撮影

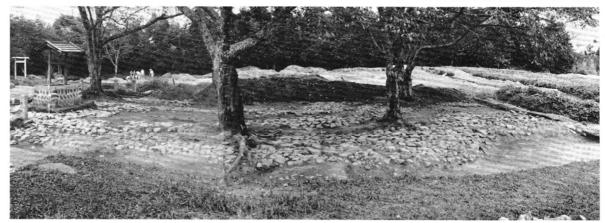










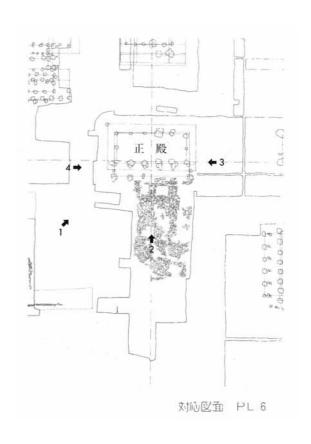


正殿跡・石敷広場跡

- I. 正殿跡 SBI50全景 西南より
- 2. 同上 西より
- 3. 石敷広場跡 S HI 48 西より
- 4. 同上 東より

I ~ 4 伊東信雄氏撮影







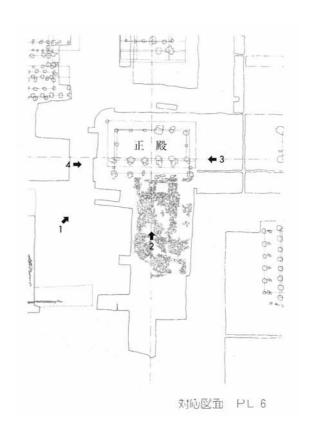
正殿跡

- 1. 全景 南西より
- 2. 前面 南より
- 3. 同上 東より
- 4. 同上 西より









正殿跡

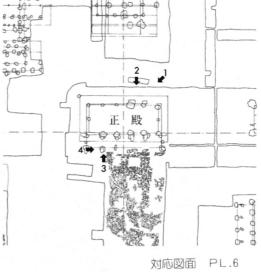
- I. 基壇前面地覆石 東より
- 2. 同西面地覆石 西より 志間泰治氏撮影
- 3. 同後面地覆石 西より
- 4. 同上 西北より 伊藤玄三氏撮影











正殿跡

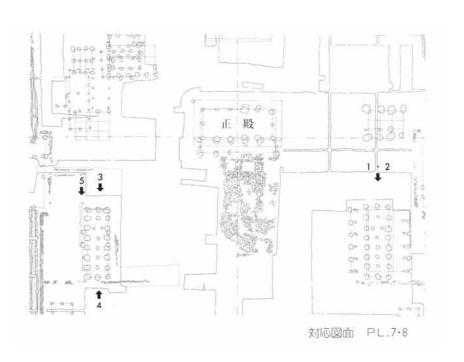
- 1. 後面階段 北東より 伊藤玄三氏撮影
- 2. 同上 北より
- 3. SBI50A 柱穴とSB I50B 礎石の重複 南より
- 4. SBI50A 柱穴とSB I50C 地覆石の重複 西より









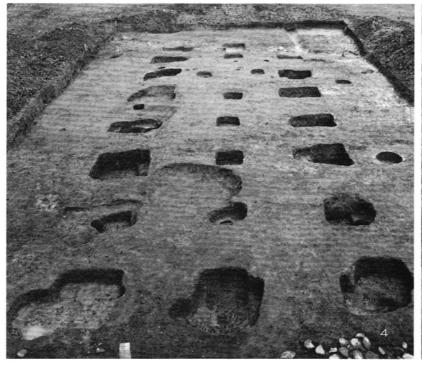




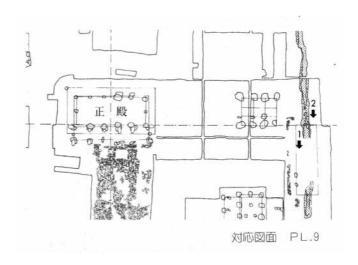
- I. 東脇殿跡 S BI27全景 北より
- 2. 同上 北より
- 3. 西脇殿跡 S BI75全景 北より
- 4. 同上 南より
- 5. SBI75西雨落溝 _{北より}







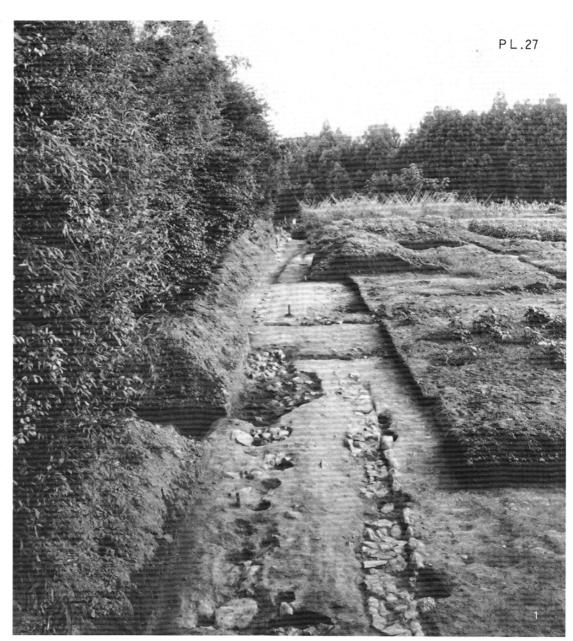


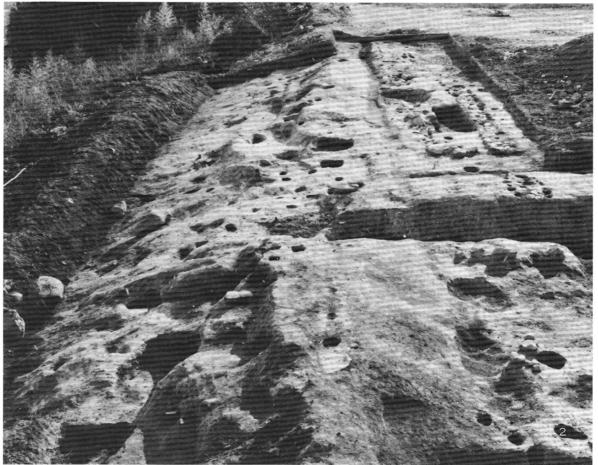


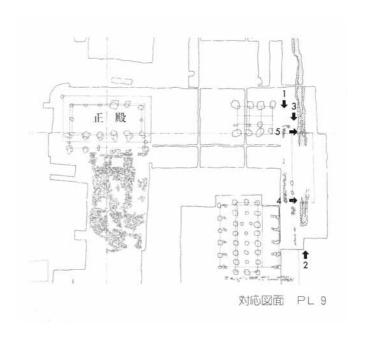
I. 東脇殿跡 S BI35 南半部 北より

伊東信雄氏撮影

2. SBI35全景 _{北より}













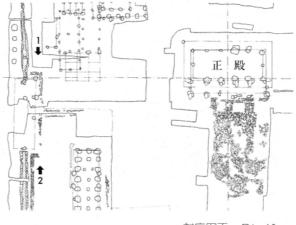




東脇殿跡

- I. SBI35雨落溝 ォヒより 2. SBI35と南から接続する築地 SFI2I 南より

 - 3. SBI35がのる基礎地業 北より 4. 北妻大棟下礎石 SFI2IBが覆う 西より
- 5. 南妻大棟下礎石 SFI2IA積土上に据えられている 西より

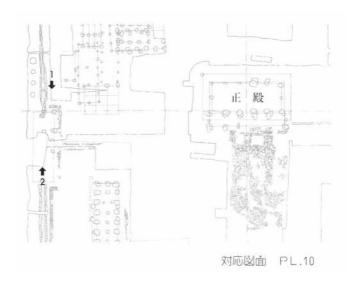


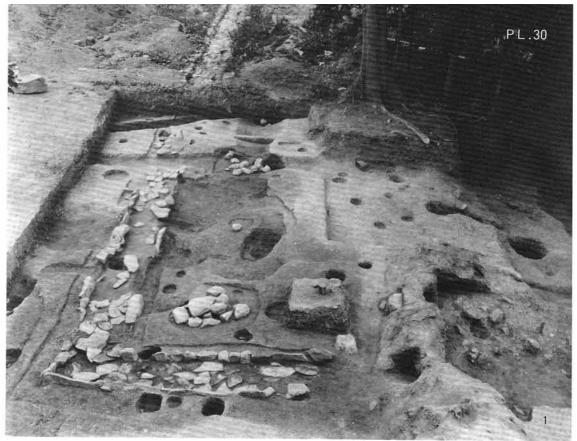
対応図面 PL.10





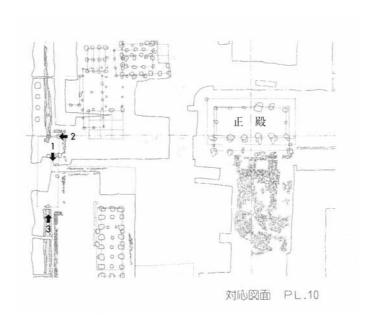
- I. SBI80東半部 北より
- 2. 同上 南より
 - I · 2 伊東信雄氏撮影





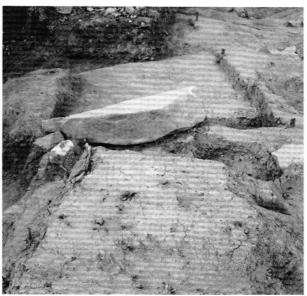
- 1. SBI80全景 北より
- SBI80北半部と北に接続する築地SFI79南より





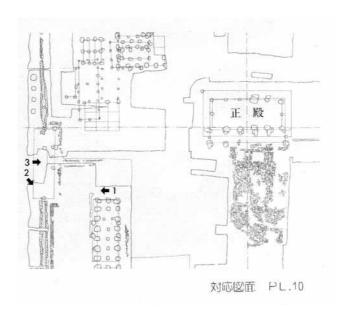






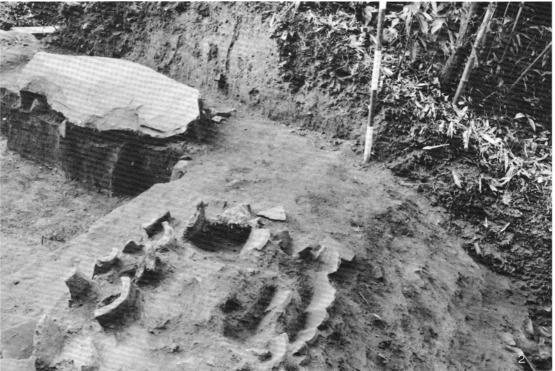
西脇殿跡

- I. SBI80南半部と南に接続する築地SFI76 北より 3. SBI80南妻大棟下礎石 南より
- 2. SB180北妻大棟下礎石 築地SF179Cが覆う 東ょり

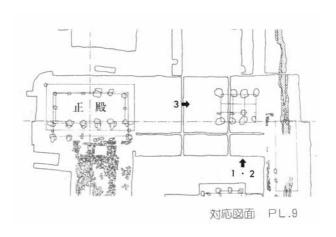


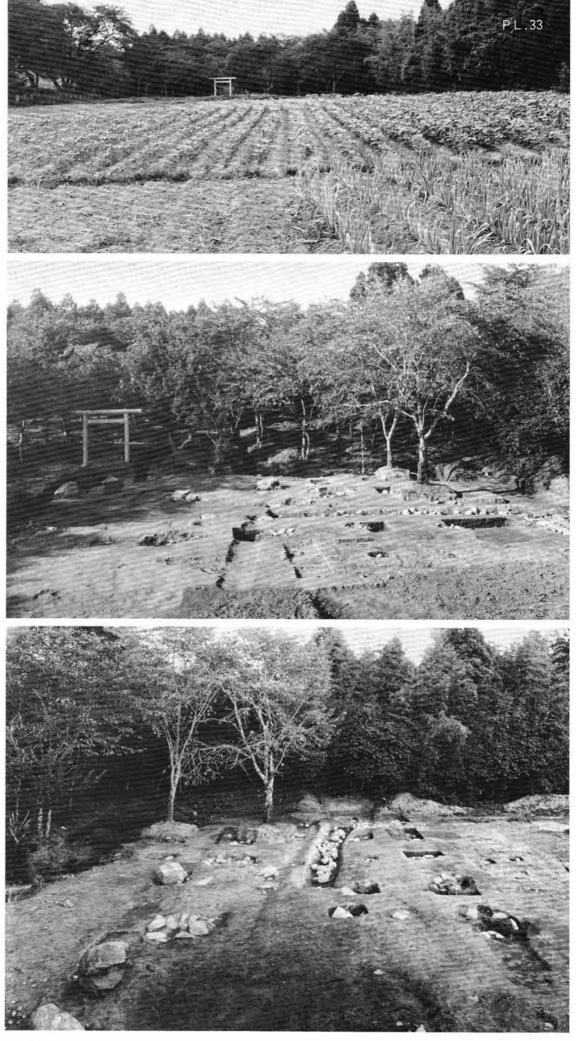
- I. SBI80南半部と築地 SFI76 東より
- 2. SB180南半部瓦出土 状況 _{北西より}
- 3. SBI80への通路 西ょり
- 2 · 3 伊東信雄氏撮影











東脇殿跡

1. SBI36調査前 南より 2. SBI36全景 南より 3. 同上 西より 1-3 伊東信雄氏撮影



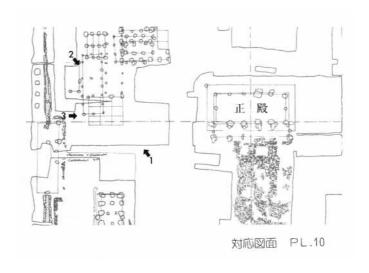




東脇殿跡

- I. SBI36全景 南より
- 2. 同上 北より
- 3. SBI36根石 西より



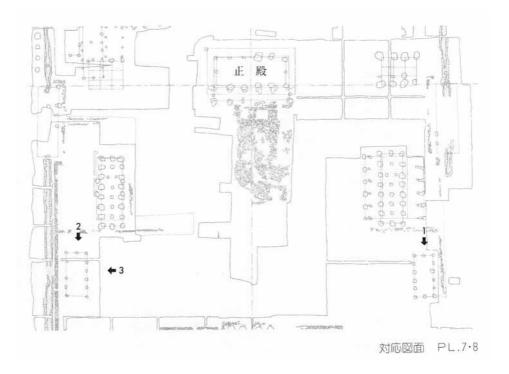


- l. SBI86南半部 東南より
- 2. SBI86北半部 北西より
- 3. SBI86南半部 西より
- I ~ 3 伊東信雄氏撮影







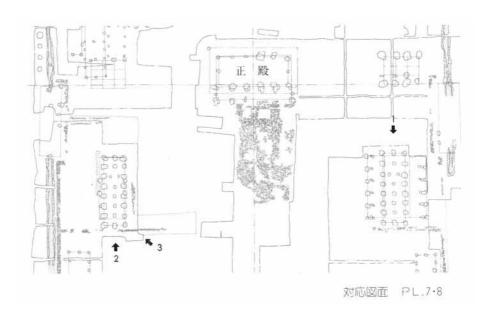


- I. 東脇殿 S BI27全景 北より
- 2. 西脇殿 S BI72全景 北より
- 3. SBI72全景と築地 SFI76 東より



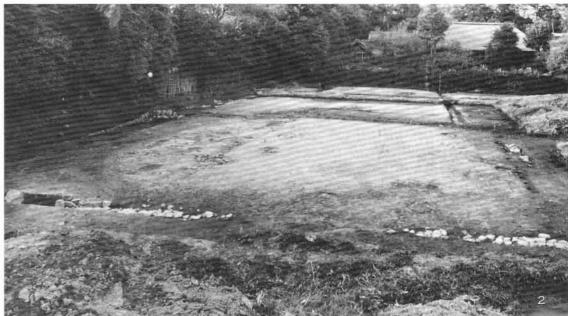




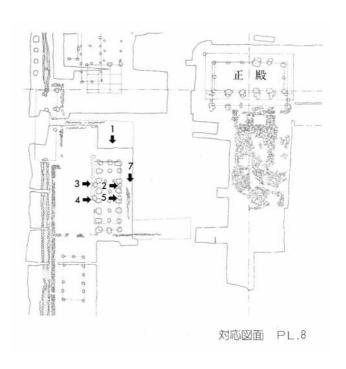


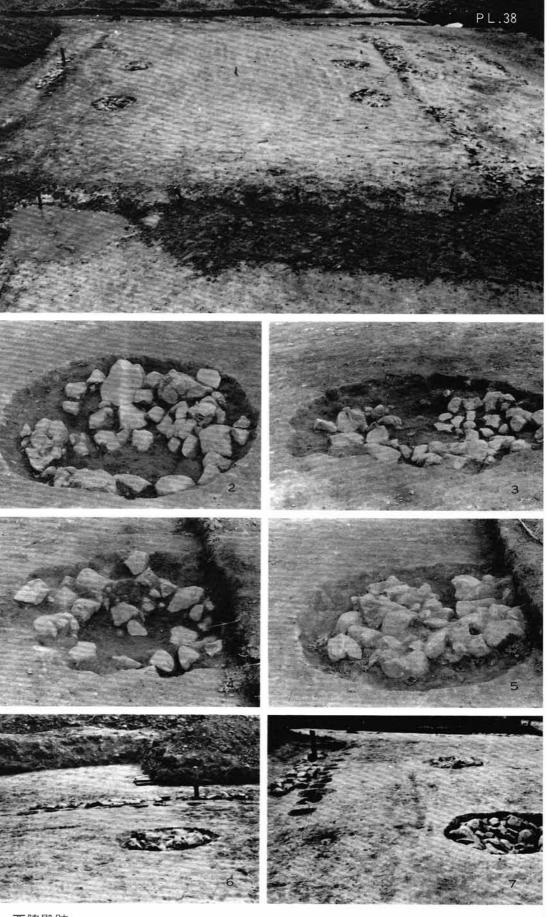
- 1. 東脇殿 S BII50全景 北より
- 2. 西脇殿 S BII51全景 南より
- 3. SBII5I全景 東南より
 - 2 · 3 伊東信雄氏撮影







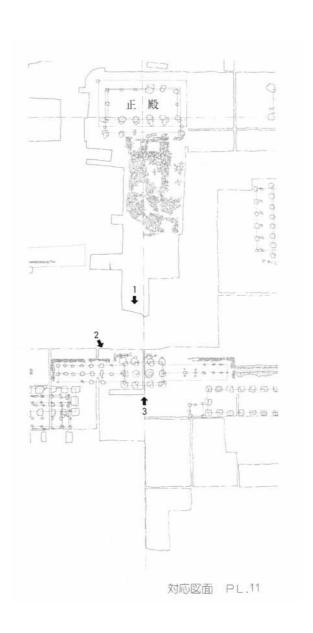




西脇殿跡

- SBII5I全景 北より
- 2. SBII5I根石 西より
- 3. 同上
- 4. 同上

- 5. 同上
- 6. SBII5I東側石組溝 西より
- 7. 同上 北より
 - 1~7 伊東信雄氏撮影



南門跡

- 1. 南門地区調査前全景 北より
- 2. SBIOI全景 北西より

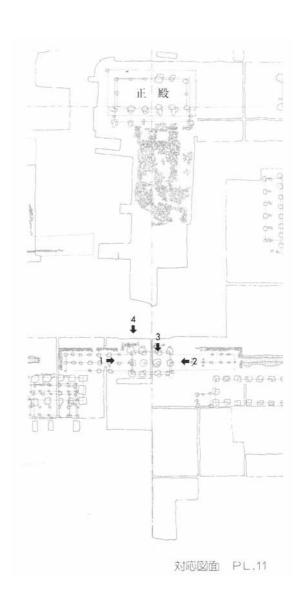
I・2 伊東信雄氏撮影

3. 同上 南より







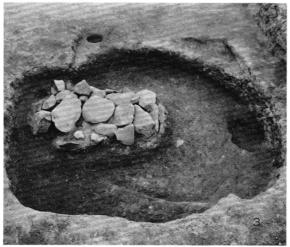


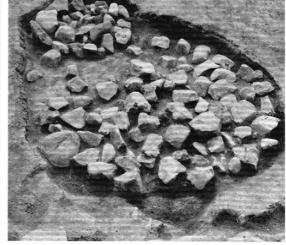
南門跡

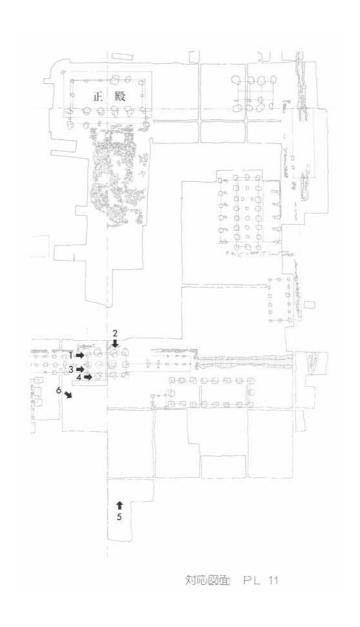
- I. SBIOI全景 西より
- 2. 同上 東より
- 3. SBIOIA 柱穴と SB IOIB 礎石地業およ び SBIOIC 根石の 重複状況 _{北より}
- 4. SBIOIA 柱抜き取り 穴とSBIOIB 礎石地 業およびSBIOIC 根 石の重複状況 _{北より}

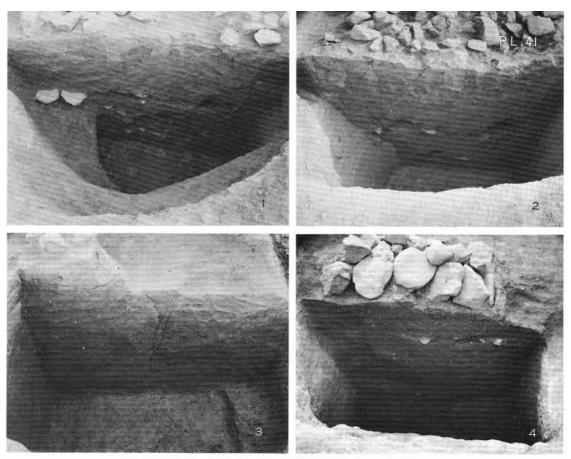










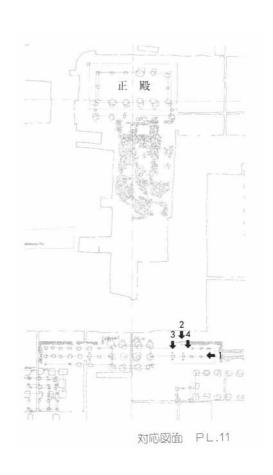


南門跡

- I ~ 4. SBIOIA 柱穴と SBIOIB 礎石地業お よび SBIOIC 根石の 重複状況
- 5. SBIOI南前方 南より
- 6. 同上 西北より







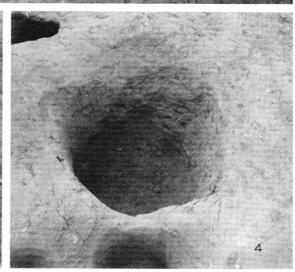
南門掖門跡

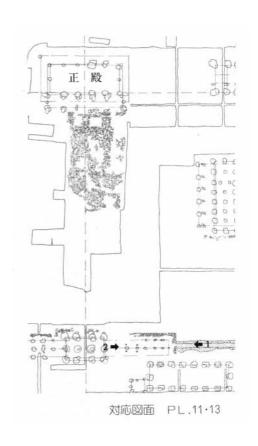
- 1. 東掖門跡 S B104 東より
- 2. SBI04 北より
- 3. SBI04西柱穴 _{北より}
- 4. 同上東柱穴 北より





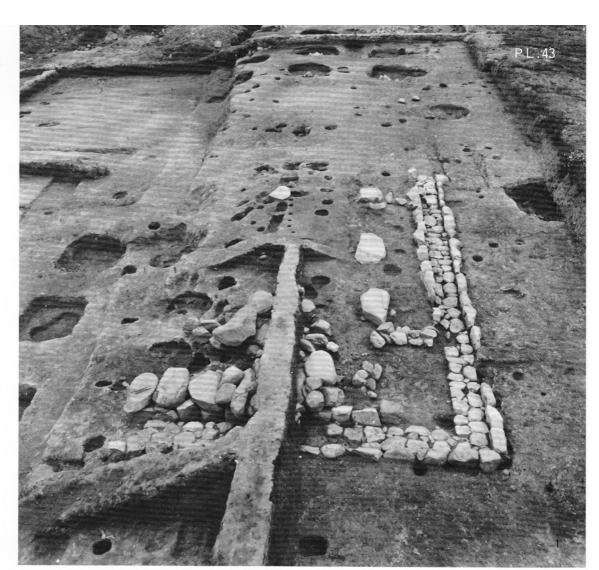


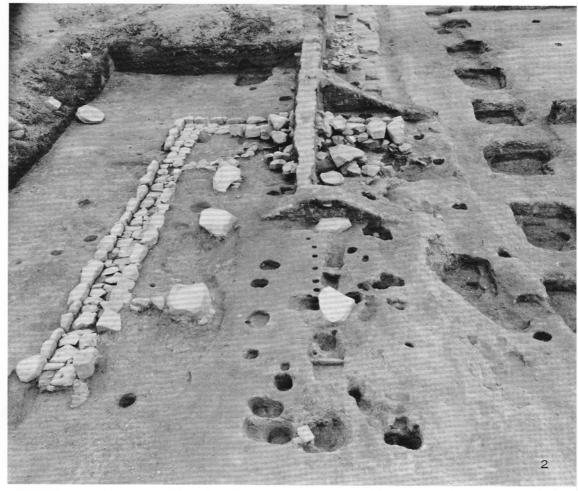


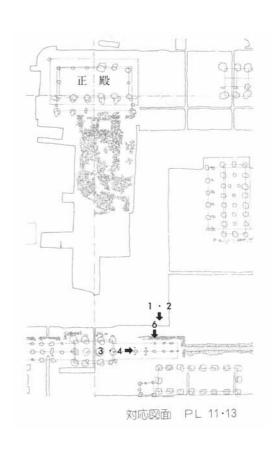


南門東翼廊跡

- I. SCI05全景 東より
- 2. 同上 西より





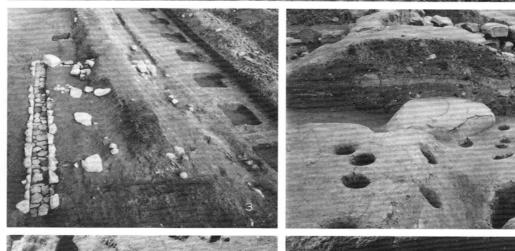


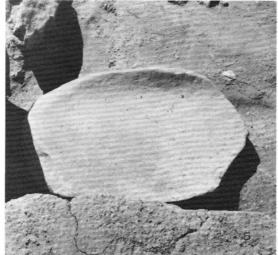
南門東翼廊跡

- I. SCI05東半部 _{北より}
- SCI05東半部とそれを覆う築地SFI03B・C 北より
- 3. 同上 西より
- 4. SCI05の礎石を覆う 築地 SFI03 B 西より
- 5 · 6 . SCI05礎石

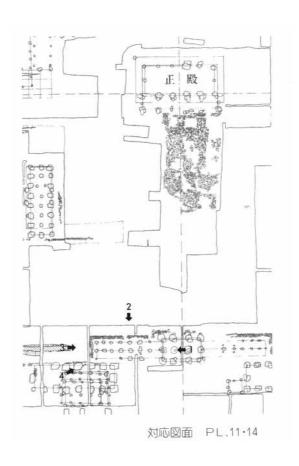












南門西翼廊跡

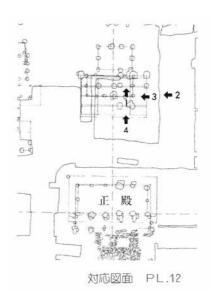
- I. SC109全景 東より
- 2. 同上 北より
- 3. 同上 西より
- 4. SCI09より西にのび る排水溝 _{南西より}
 - 3 · 4 伊東信雄氏撮影











後殿跡

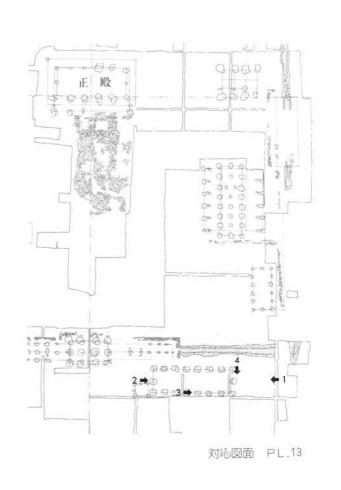
- 1. SBI7I全景 南より
- 2. SBI70 東より
- 3. 同上 東より
- 4. 同上 南より









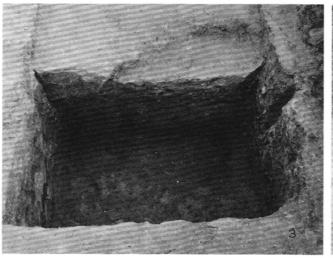


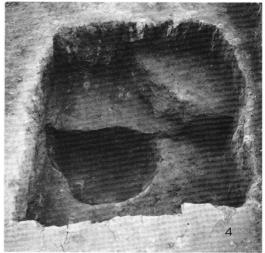
南門東前殿跡

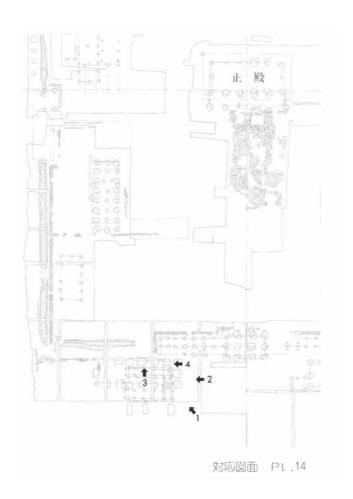
- I. SB023全景 東より
- 2. 同上 西より
- 3 · 4 . SB023柱穴











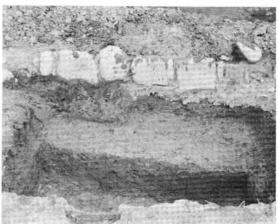
南門西前殿跡

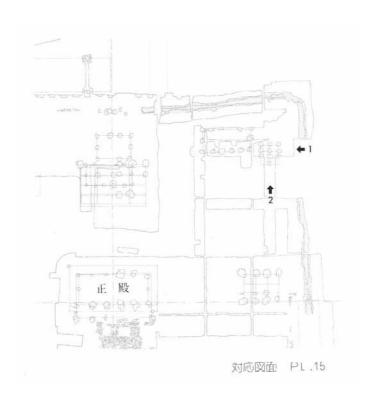
- 1. SBI87全景 東南より
- 2. 同上 東より
- 3. SBI87A 柱穴に重複 した西翼廊 SCI09石 組溝 南より
- 4. SBI87A 柱穴と抜き 取り穴 東より





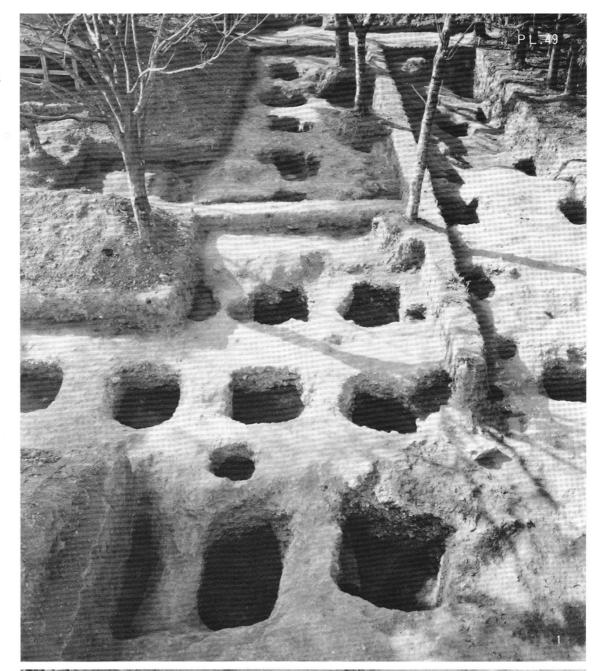




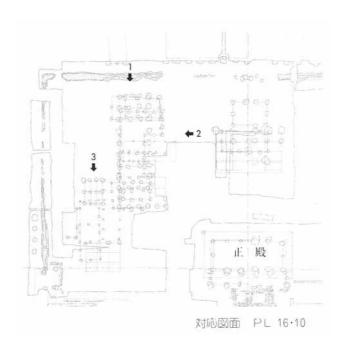


北東地区建物跡

- I. SBI6IとSBI60(手前) 東より
- 2. SBI60全景 南より







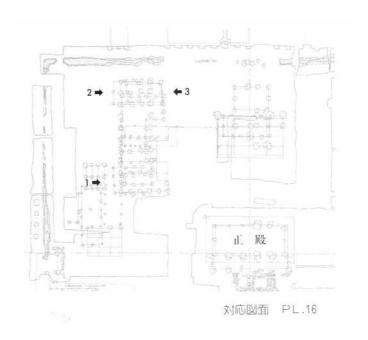
北西地区建物跡

- 1. SB575·SBII46·SB 593ほか 北より
- 2. 同上 東より
- 3. SB564(手前)・SB37 3(中)とSBII49(左 側) _{北より}









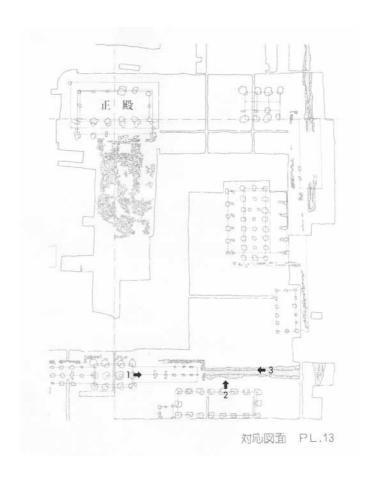
北西地区建物跡

- I. SB567·SBII44 西より
- 2. SBII46・SB593とS B575・SB591の北半 部 西より
- 3. 同上 東より



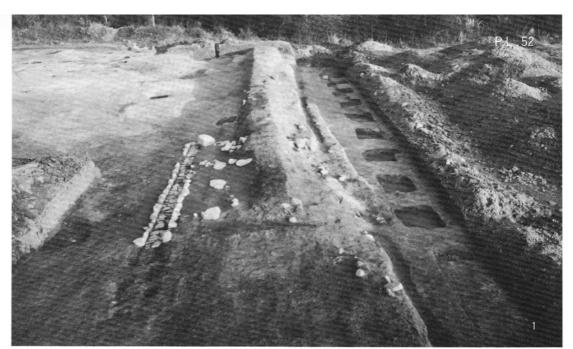






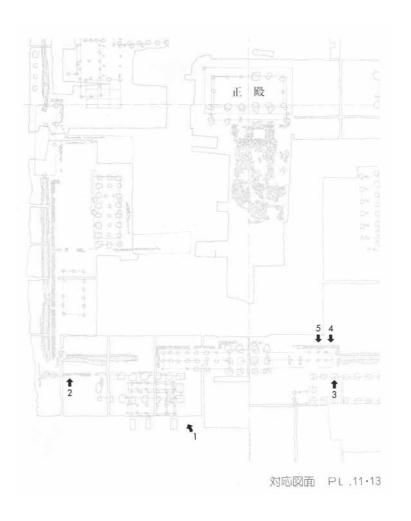
南辺築地跡東半部

- SFI03 手前は南門 東翼廊跡 西より
- 2. SFI03縦断面 ^{南より}
- 3. SF103C 基底面敷瓦 東より











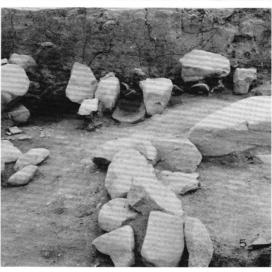
南辺築地跡西半部および暗渠跡

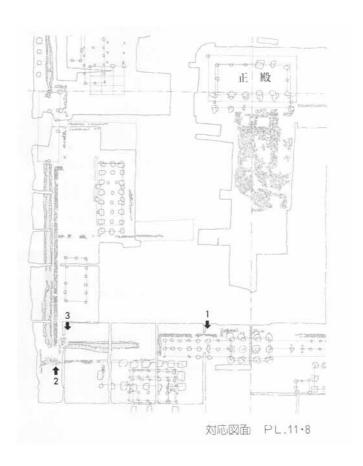
- I. SFI08 右は南門西 翼廊跡 _{東南より}
- 2. SFI08縦断面 _{南より}
- 3. SFI03に伴う暗渠跡 _{南より}
- 4. 同上SDIII _{北より}
- 5. 同上SDII2 _{北より}







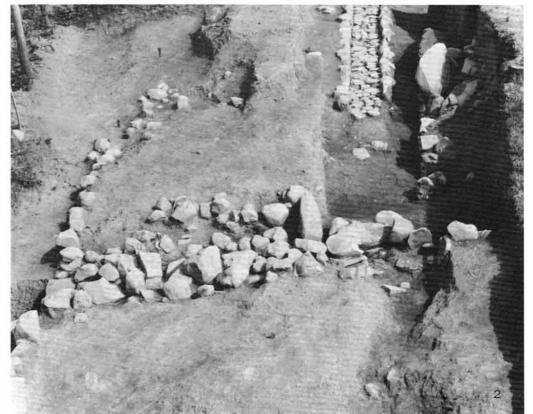




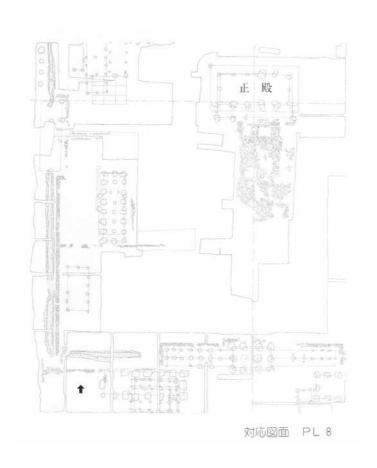
南辺築地暗渠跡

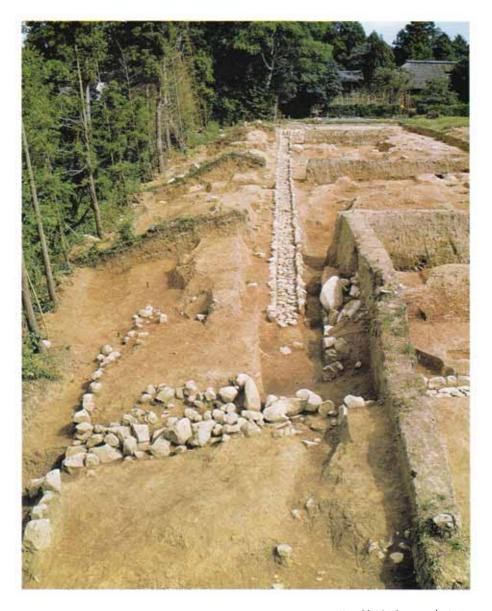
- 南門西翼廊跡 S C I 0 9 に重複する暗渠跡 S D I I 3 北より
- 2. 南西隅暗渠跡 南より
- 3. 同上 右SDII4 左 SDII5 北より



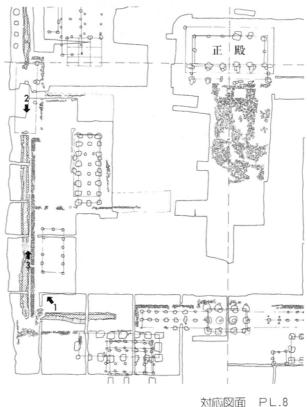








西辺築地跡 南より



対応図面 PL.8

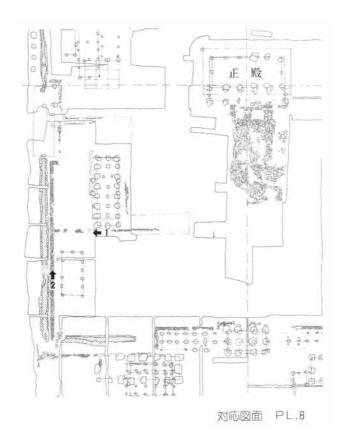




西辺築地跡南半部

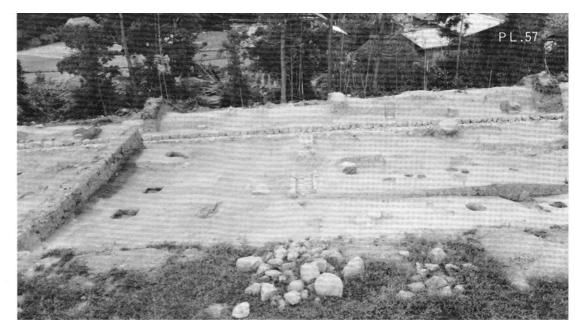
- SFI76南半部 東南より
- 2. 同上 北より
- 3. 同上断面 南より
 - I · 3 伊東信雄氏撮影

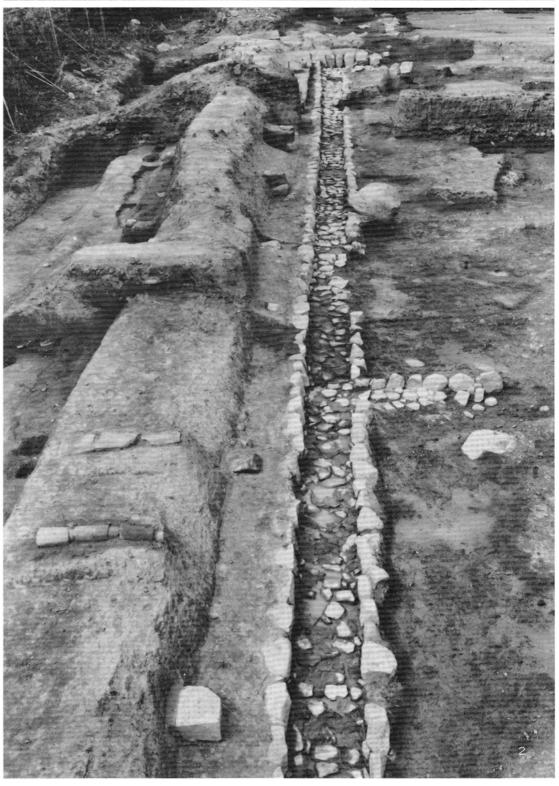


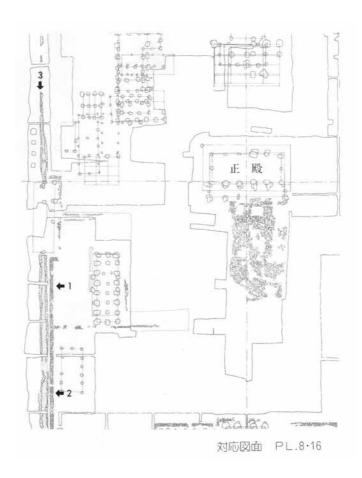


西辺築地跡南半部

- I. SFI76 東より
- 2. 同上 南より



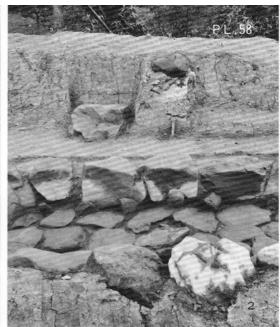




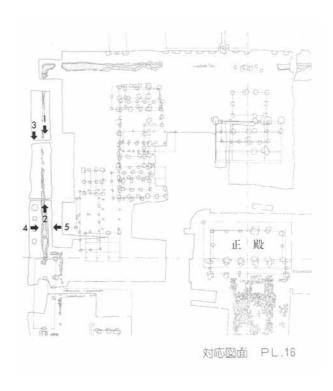
西辺築地跡

- I・2. SFI76B・C 寄 柱礎石の重複状況 _{東より}
- 3. SFI79南半部 _{北より}



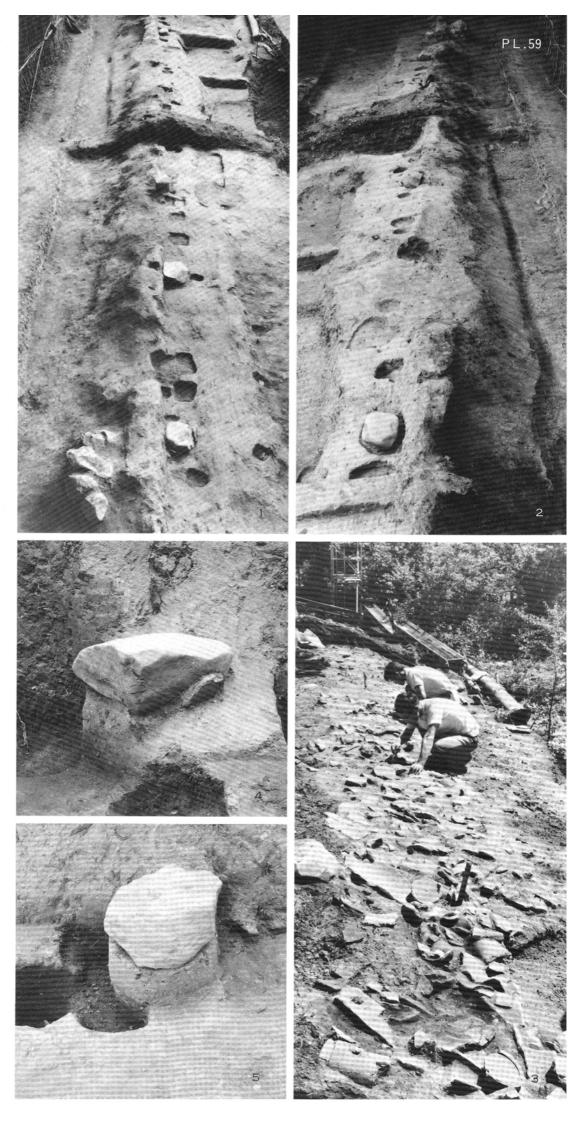


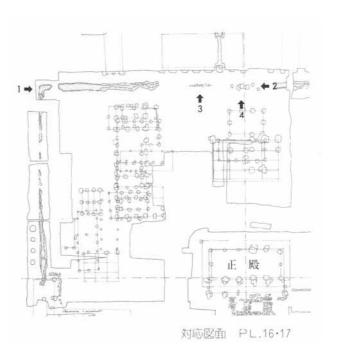




西辺築地跡

- I. SFI79 北より
- 2. 同上 南より
- 3. SFI79西犬走り上の 瓦出土状況 _{北より}
- 4 · 5 . SFI79寄柱礎石





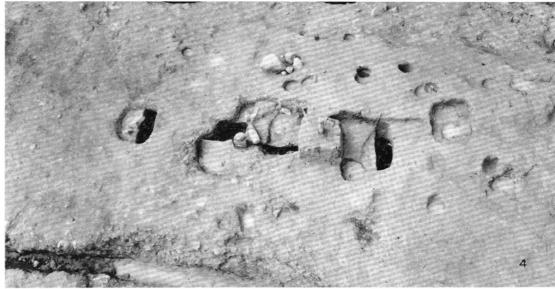
北辺築地跡西半部および門跡ほか

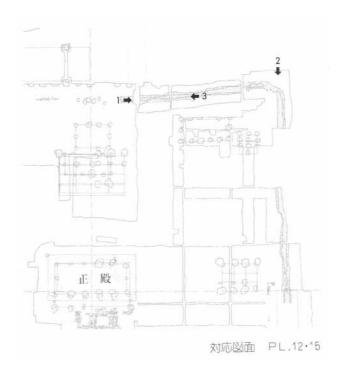
- I. SFI67西半部 西より
- 2. 同上 東より
- 3. SB550 南より
- 4. 門跡 S B365 南より











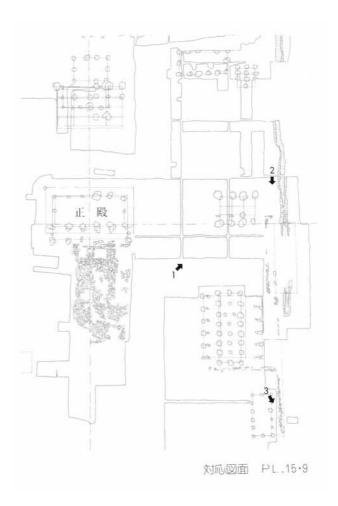
北辺築地跡東半部お よび門跡

- I. SFI67東半部 西より
- 2. 北東隅築地跡 SF I67·SFI2I 北より
- 3. 門跡 S B370 東より











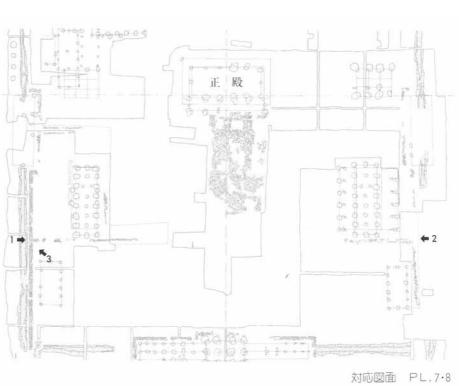
東辺築地跡

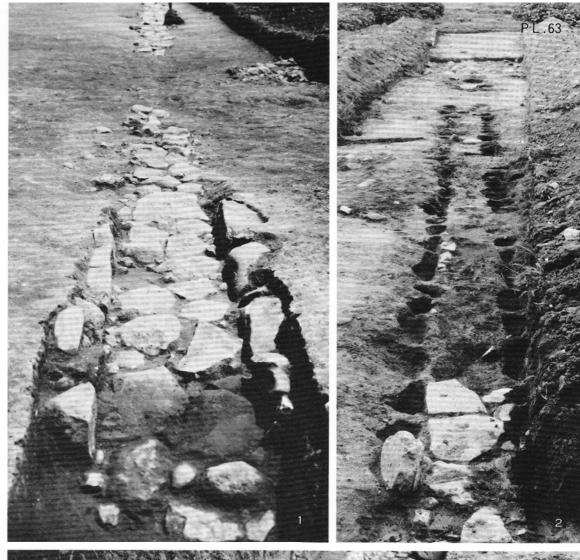
- I. SFI2I北半部 西より
- 2. 同上 北より
- 3. SFI2I南端部 _{北西より}

伊東信雄氏撮影









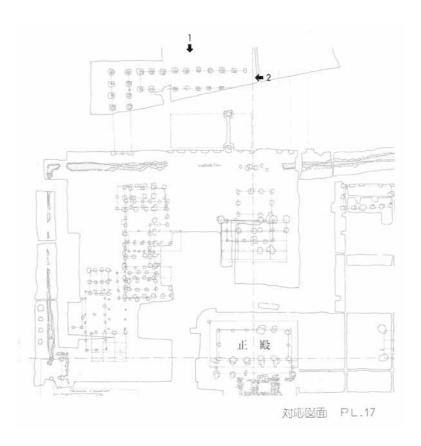


政庁地区排水溝

1. 東西溝西半部 西より

林謙作氏撮影 2. 東西溝東半部 東より

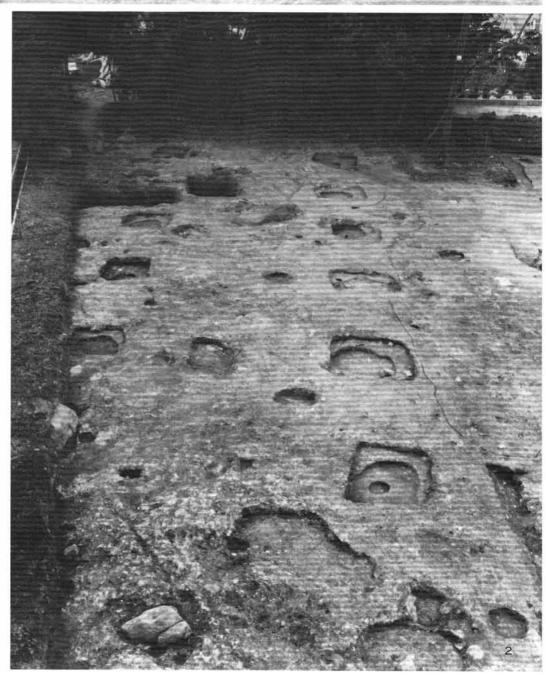
3. 溝合流部 東南より 2・3 伊東信雄氏撮影

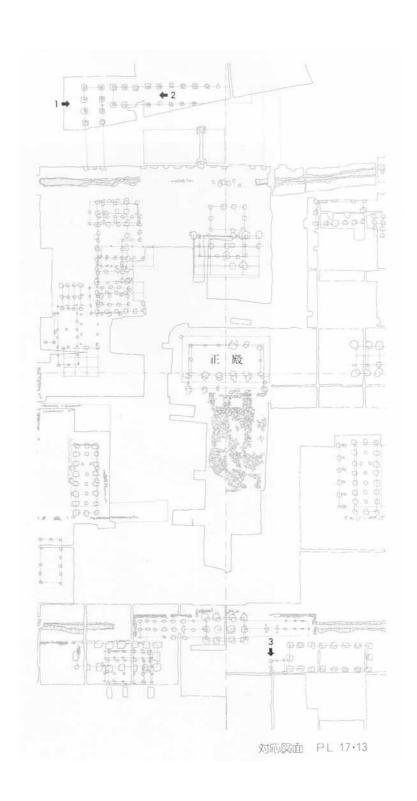


政庁北方地区建物跡

- 1. SB1013 北より
- 2. 同上 東より







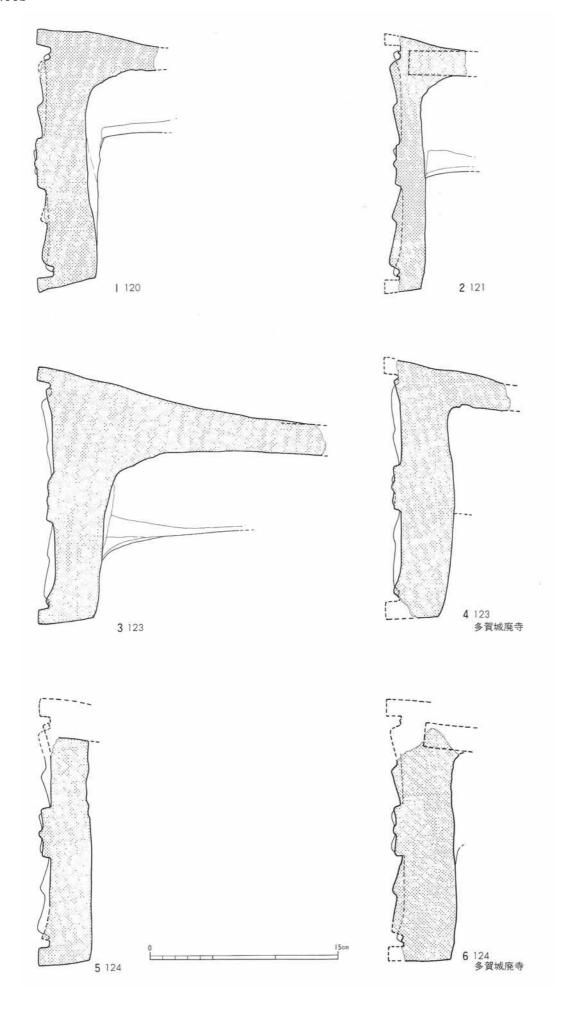
政庁北方地区建物跡 および南門前方建物 跡

- I. SB553とSB1013 西より
- 2. 同上 東より
- 3. SB05I 北より

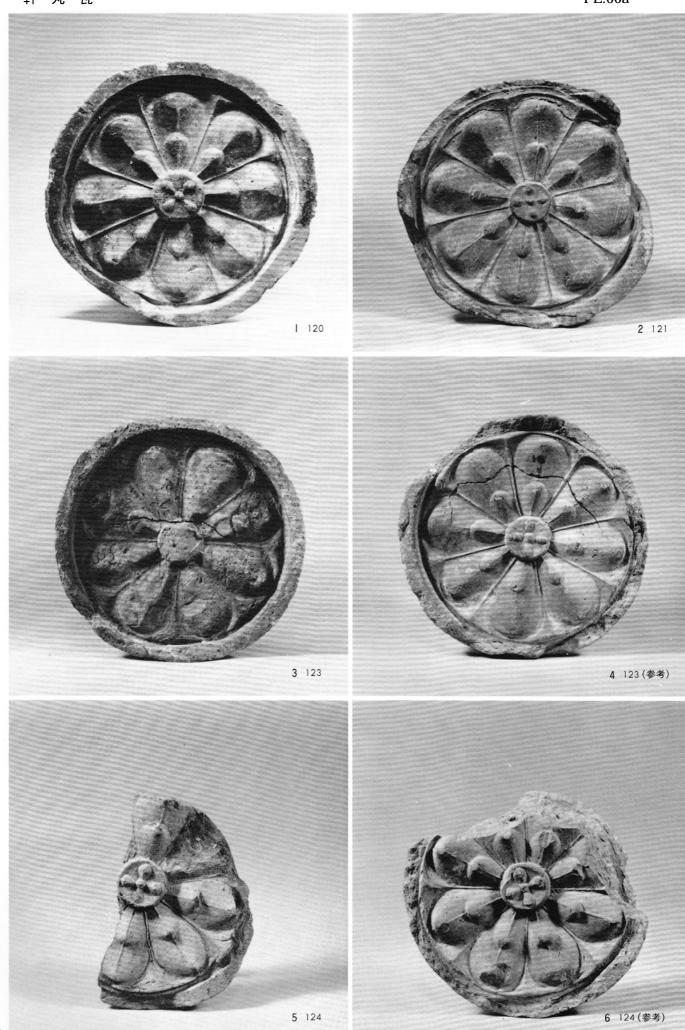


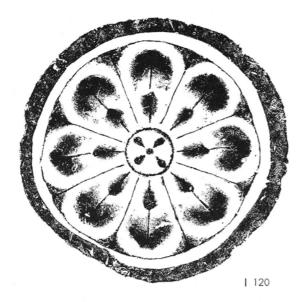


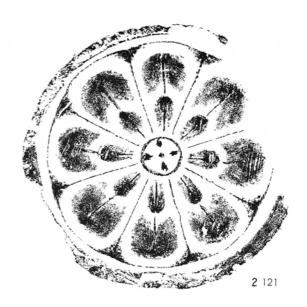


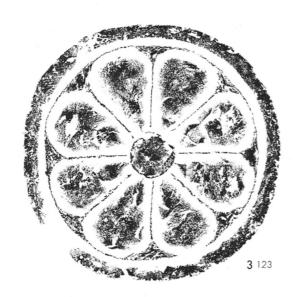


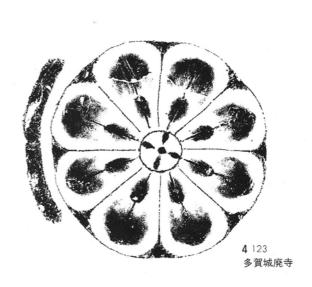
軒 丸 瓦 PL.66a

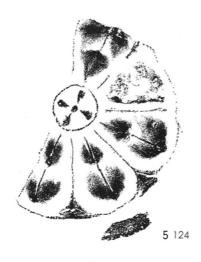


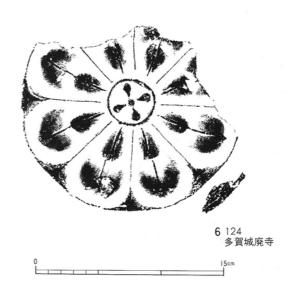


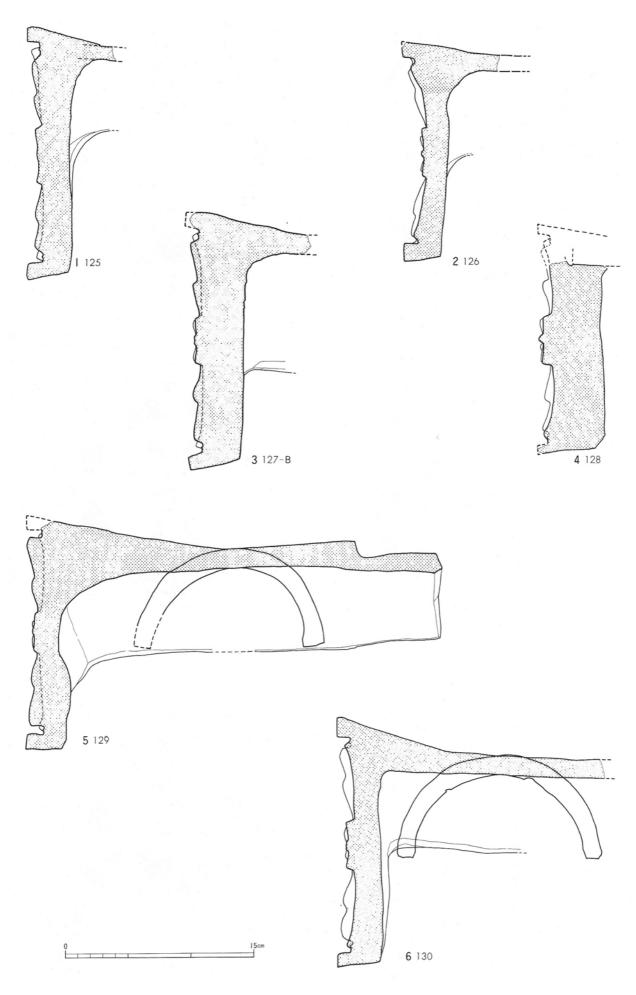












軒 丸 瓦 PL.67a



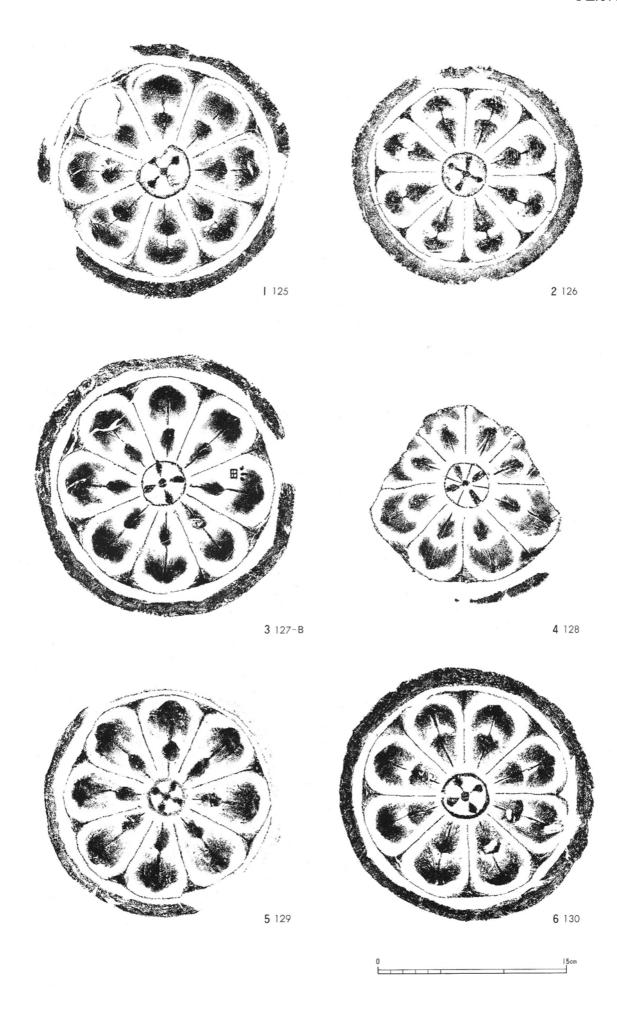


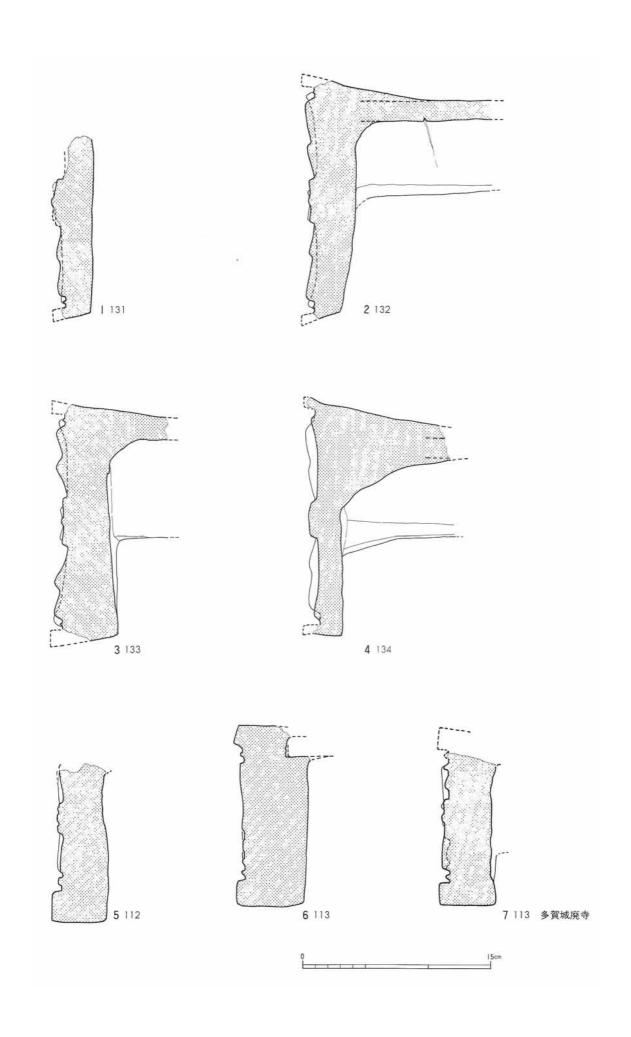




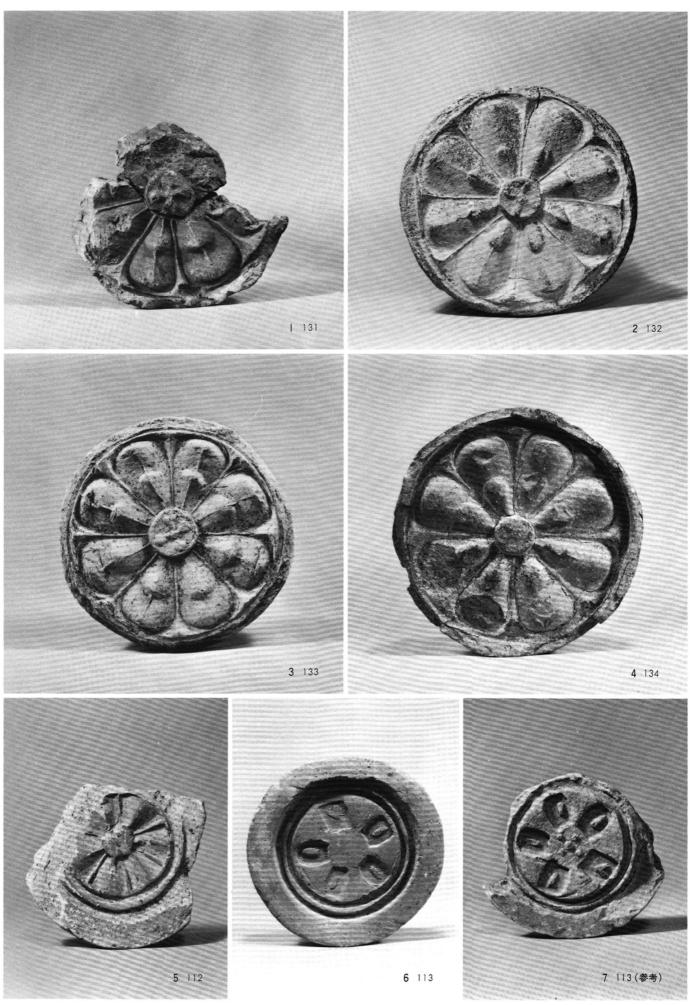


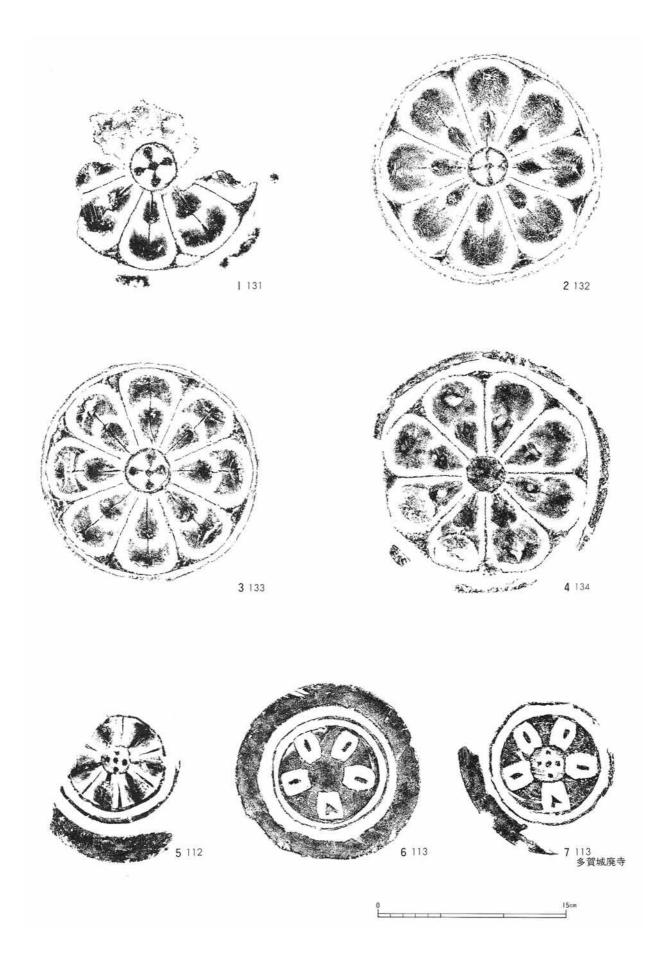


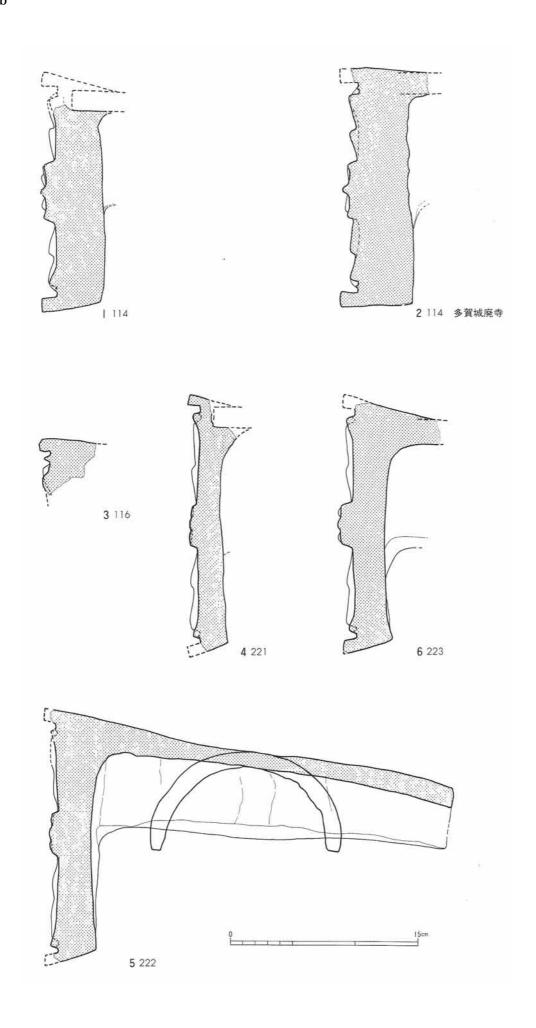




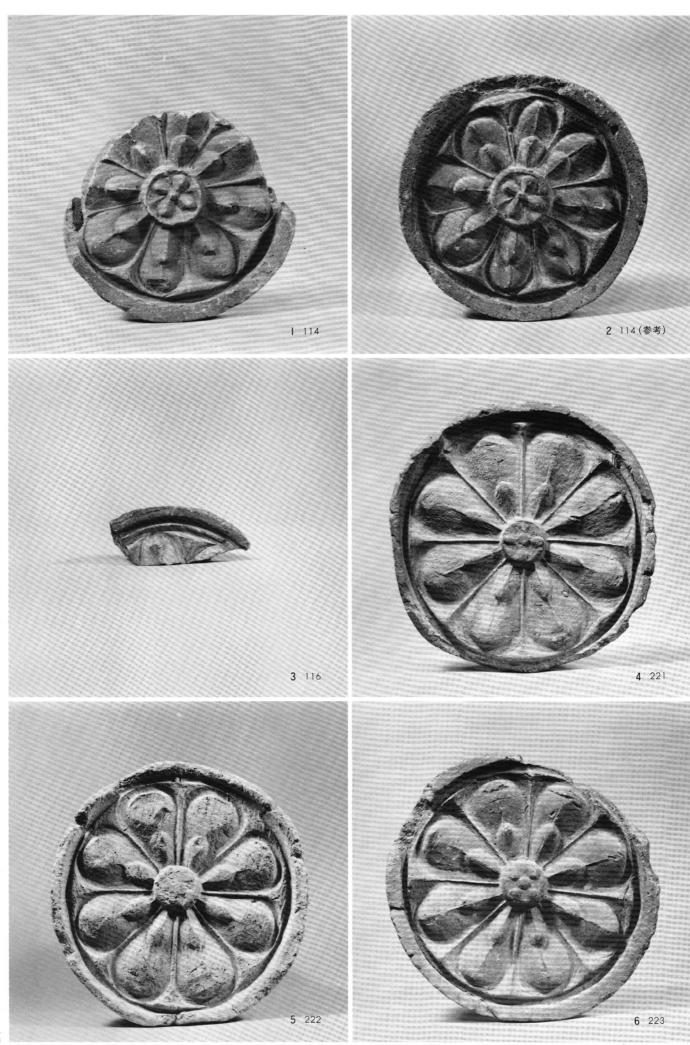
軒 丸 瓦 PL.68a



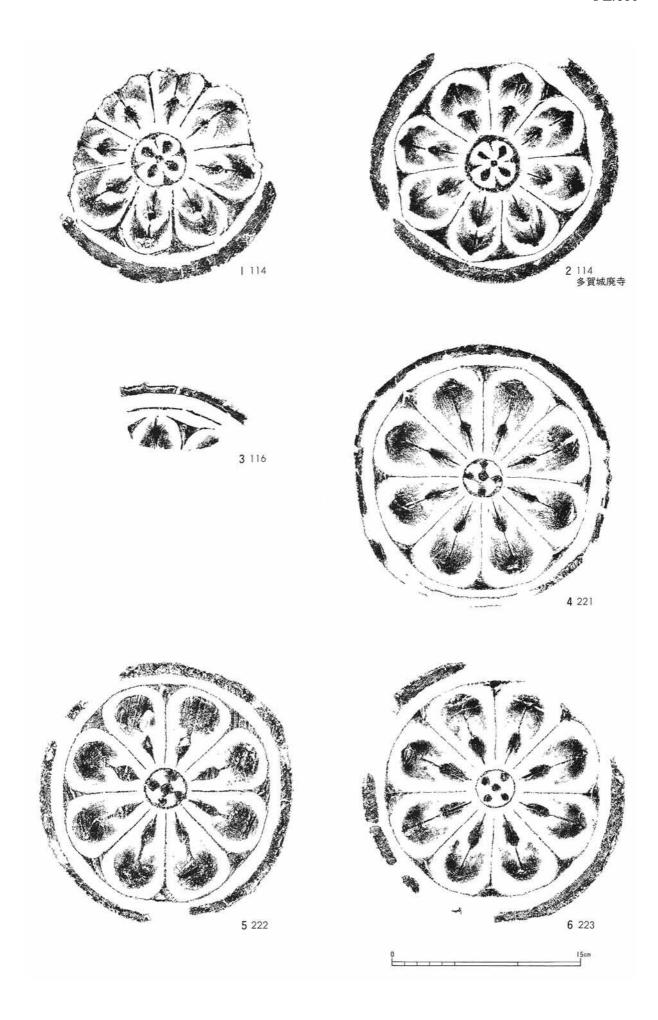


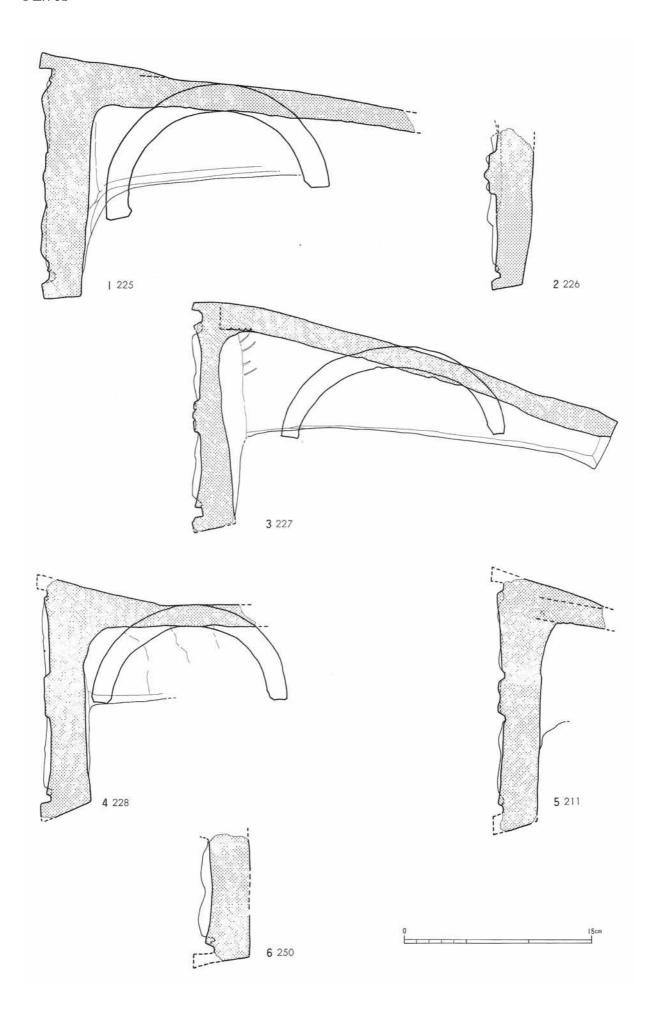


軒 丸 瓦 PL.69a

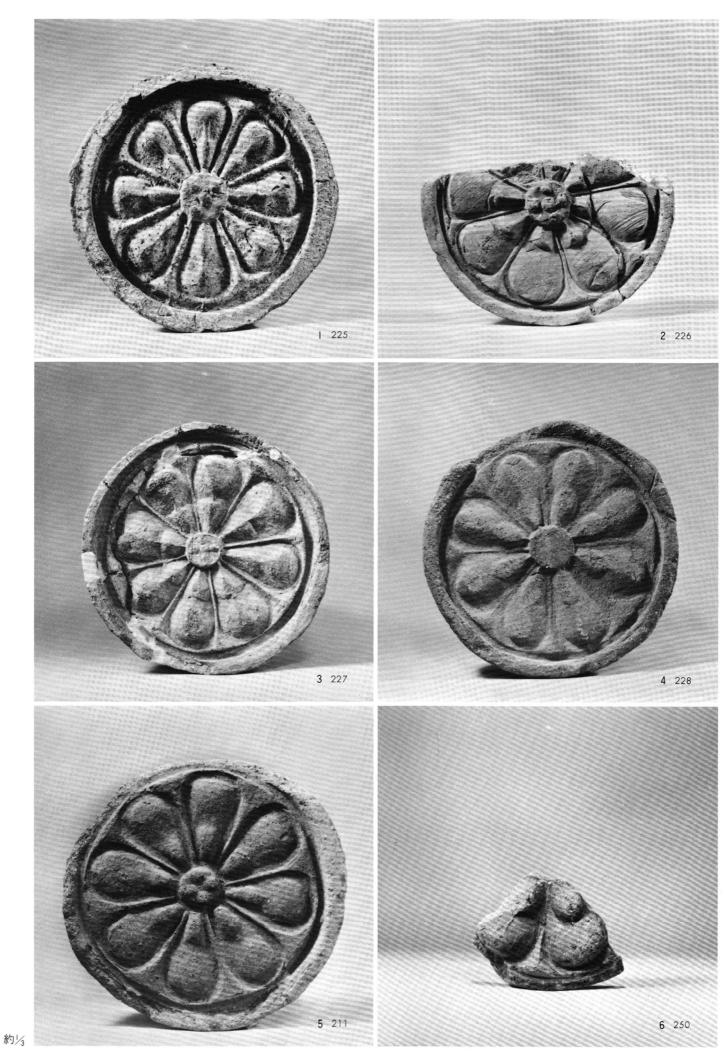


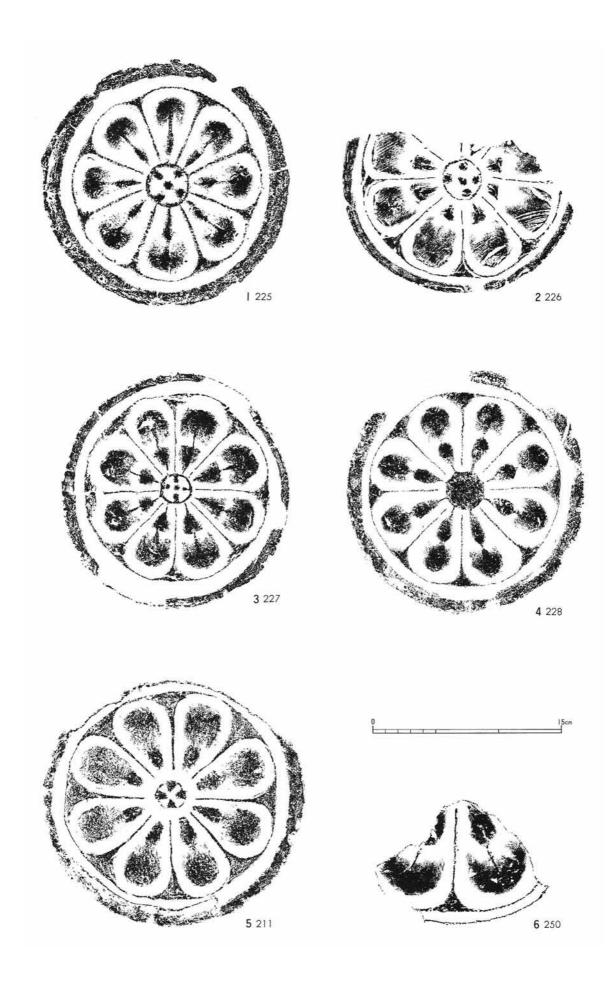
約%

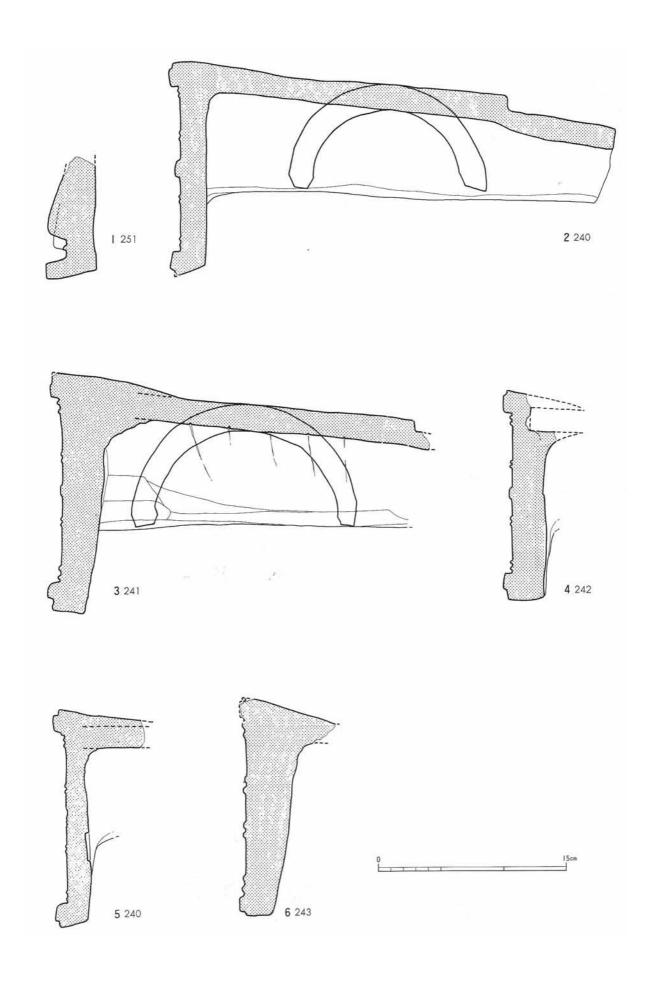




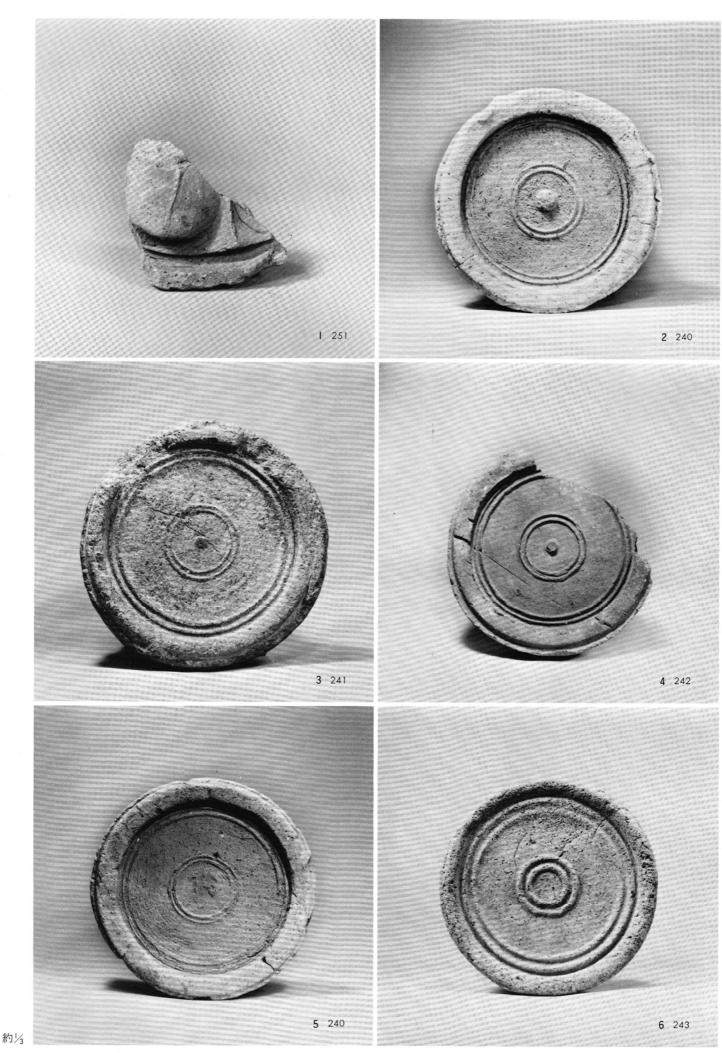
軒 丸 瓦 PL.70a

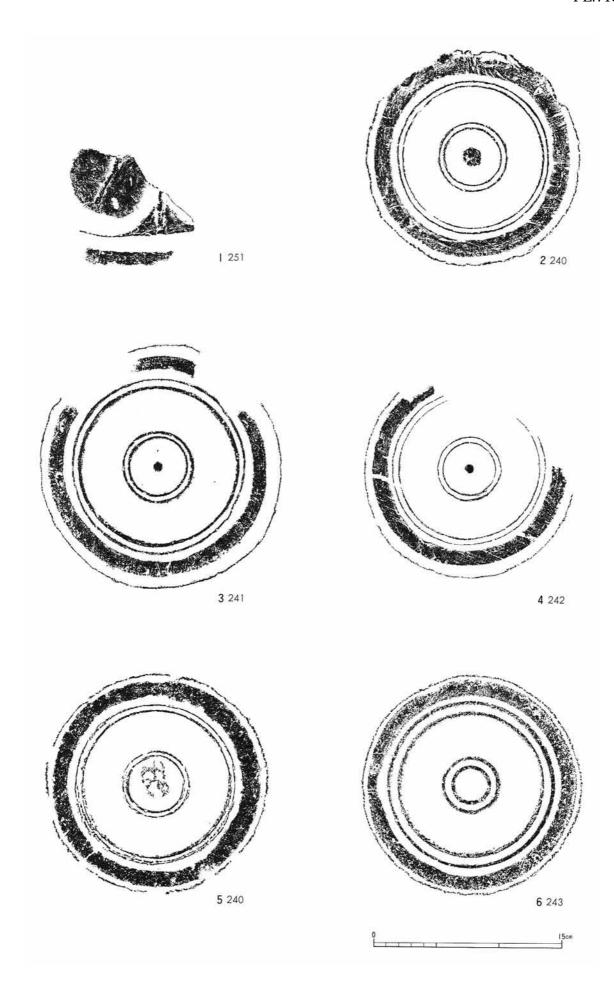


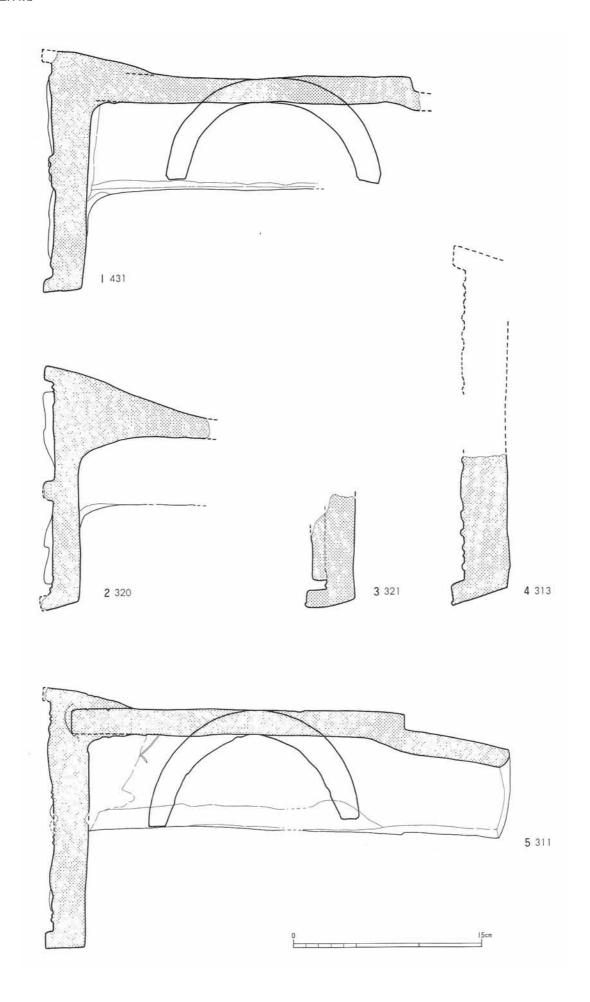




軒 丸 瓦 PL.71a







軒 丸 瓦 PL.72a

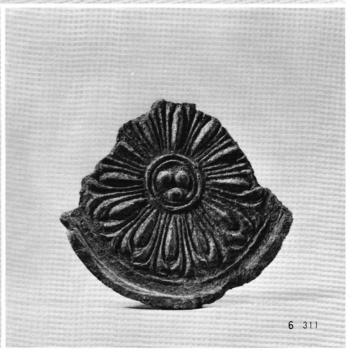


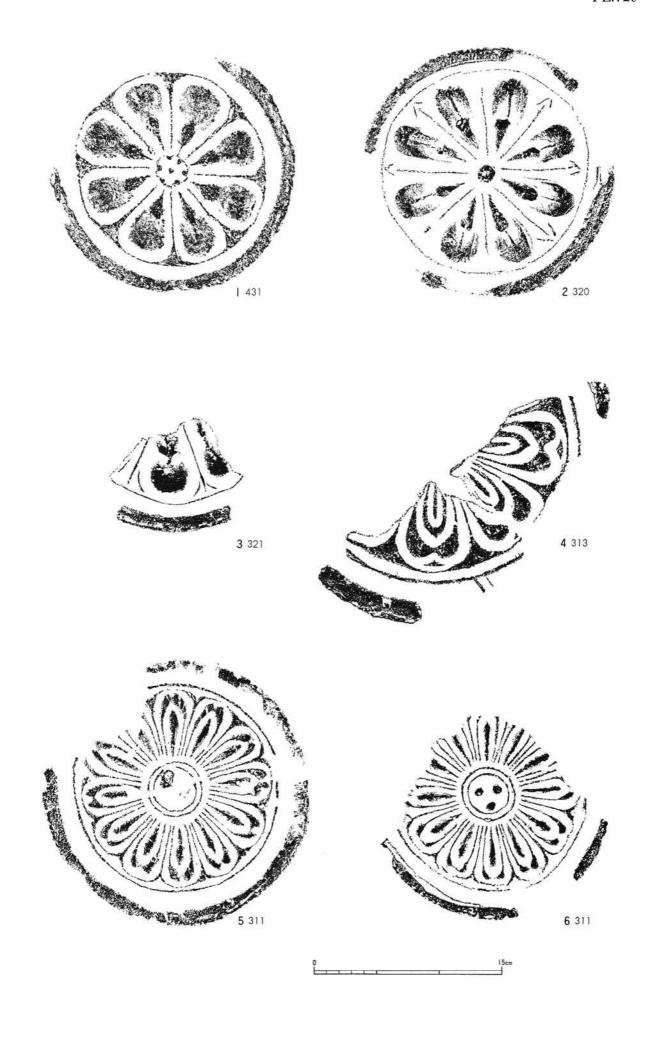


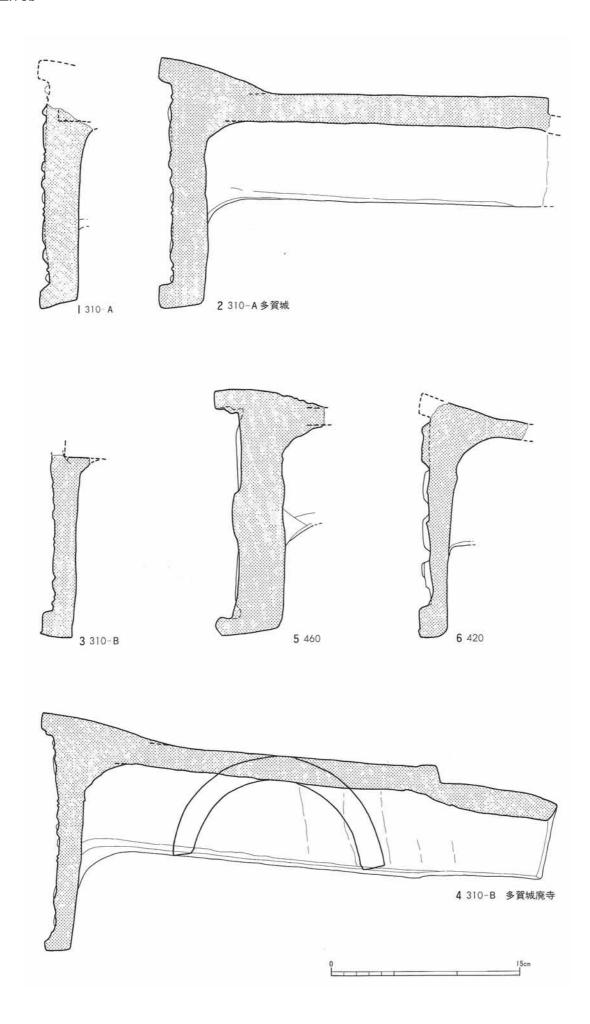




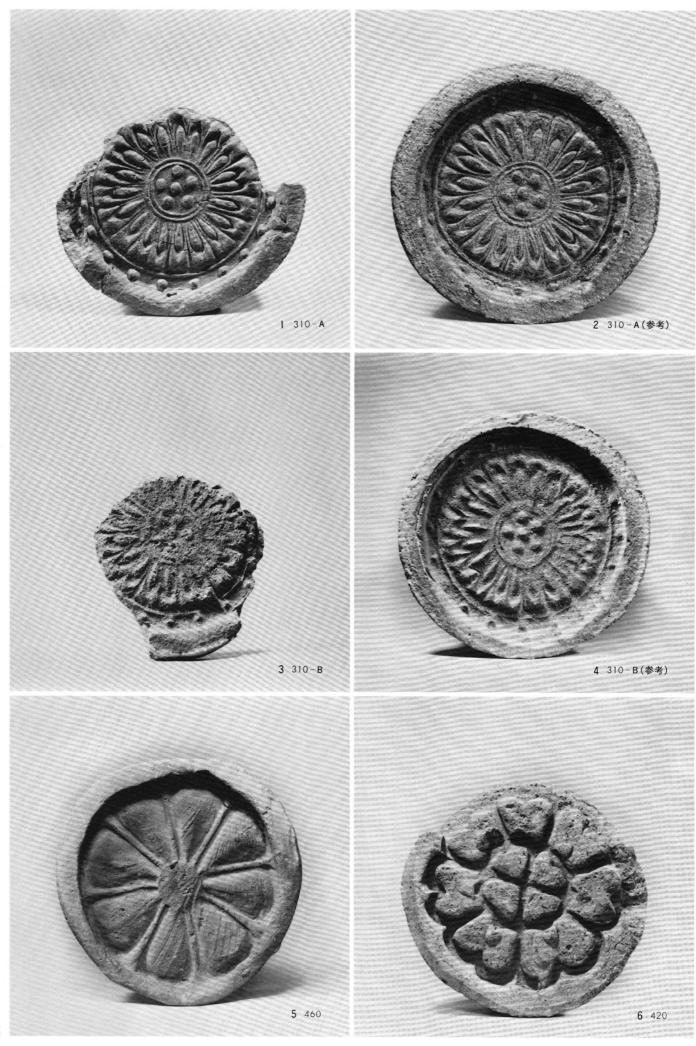




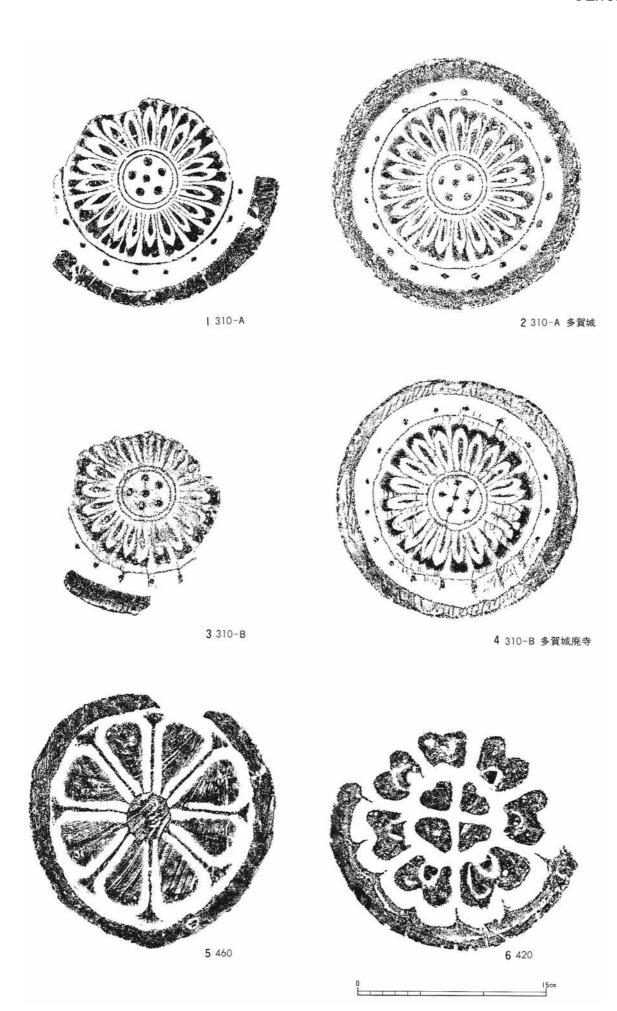


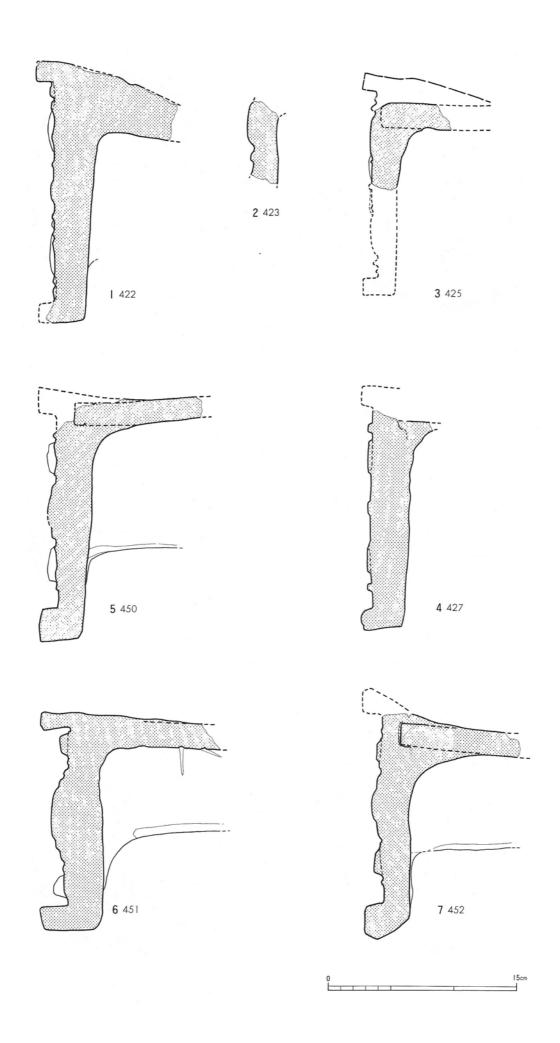


軒 丸 瓦 PL.73a



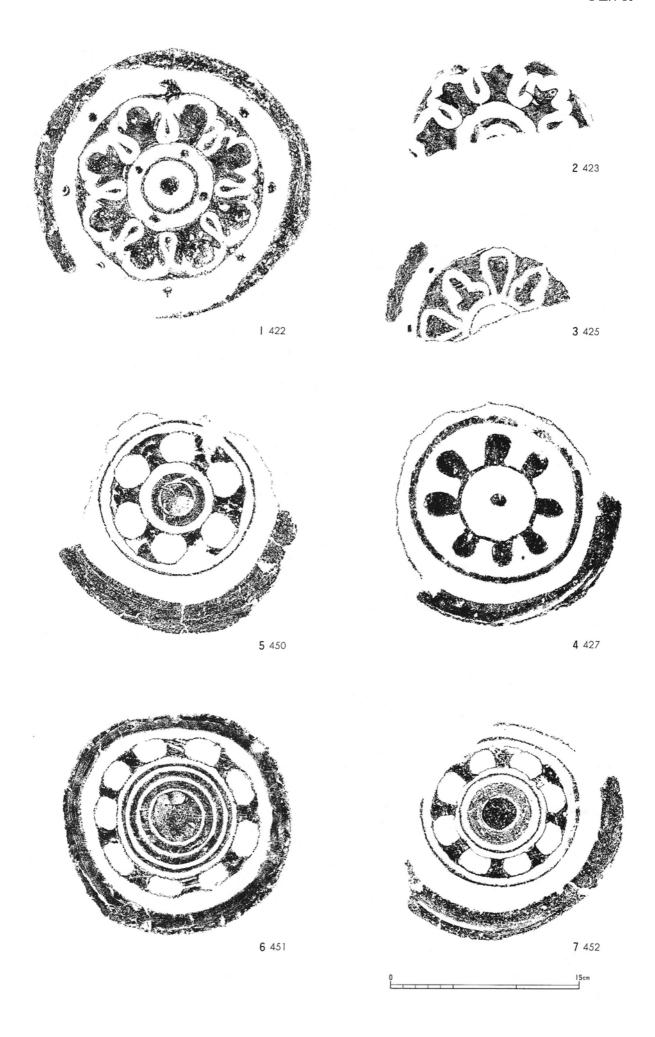
約%

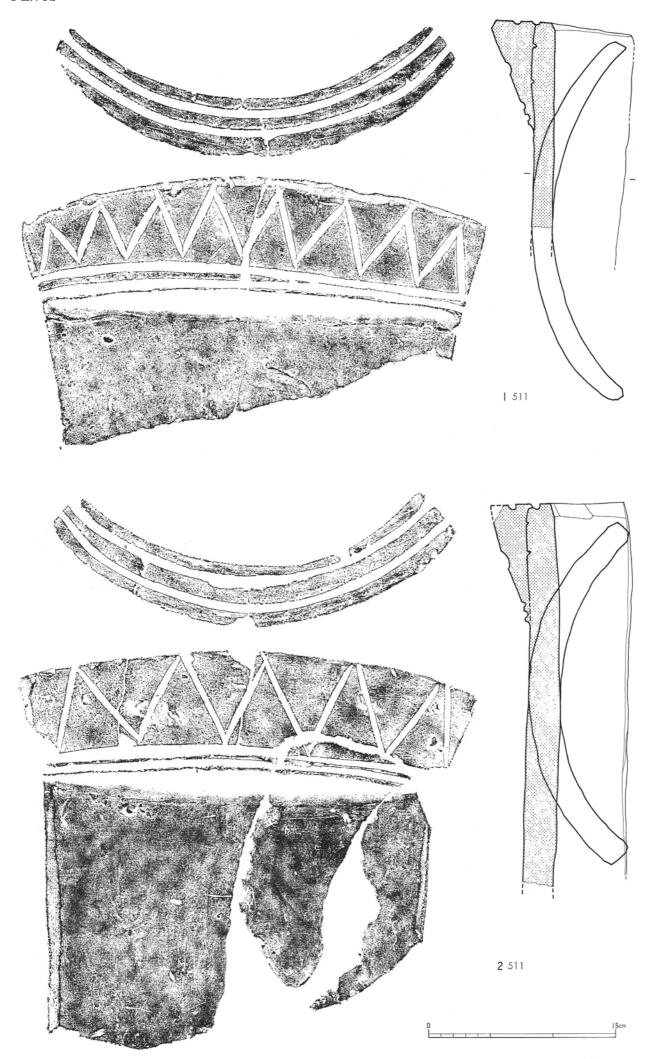




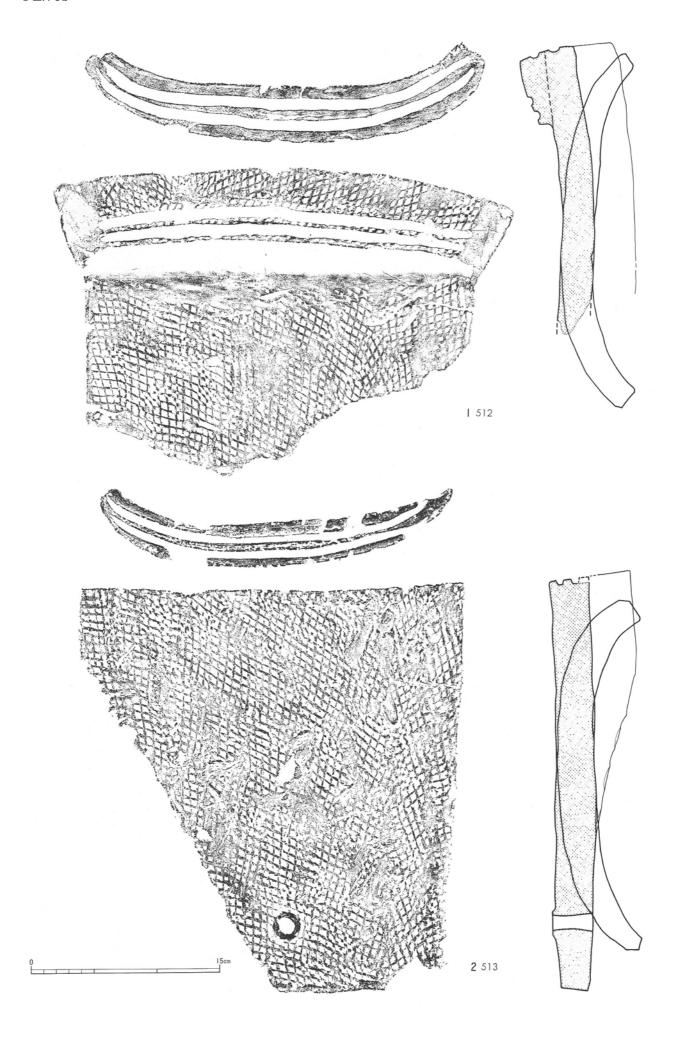
軒 丸 瓦 PL.74a

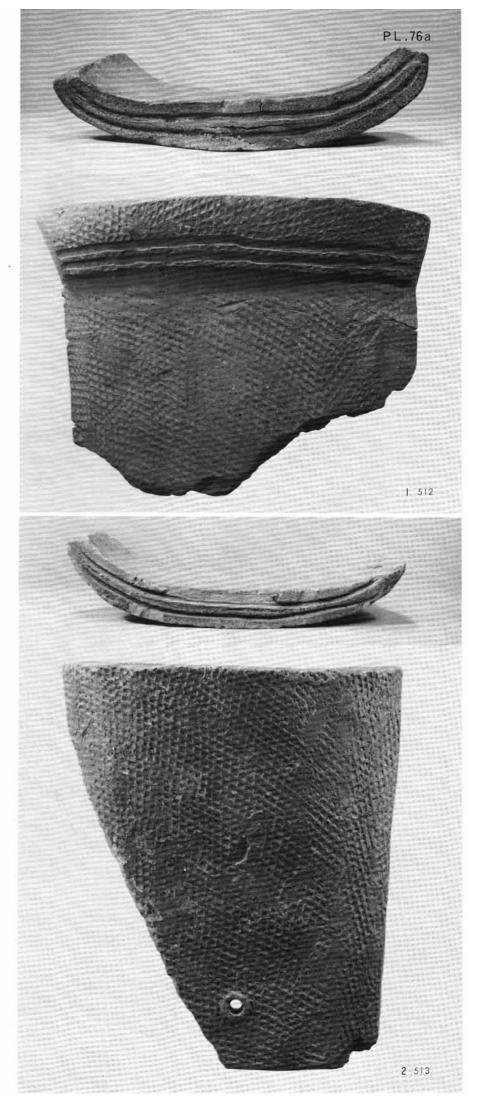


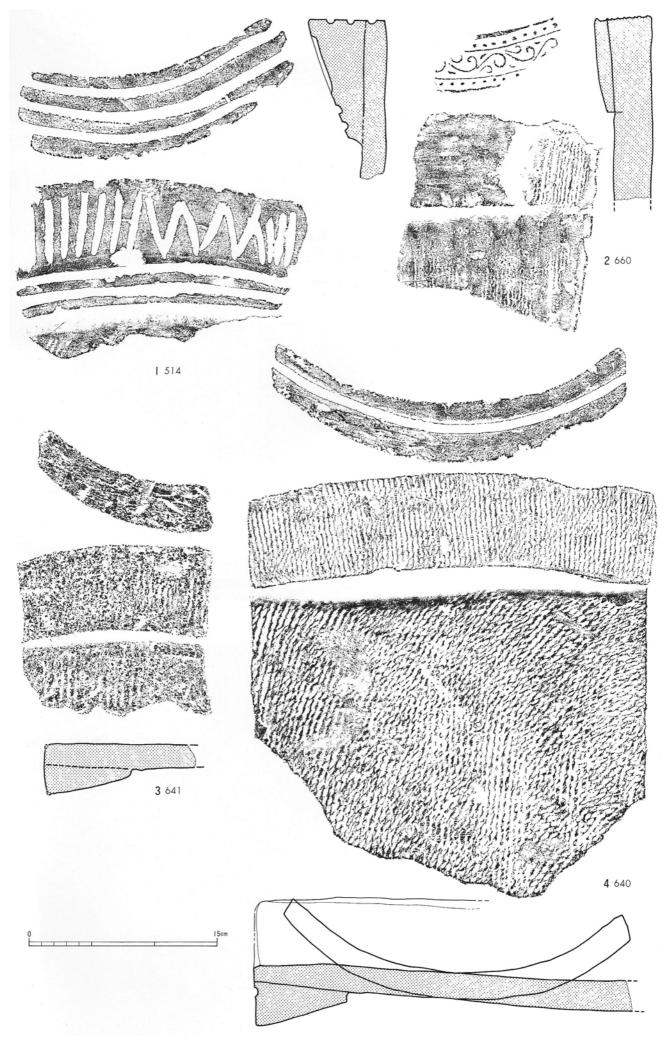


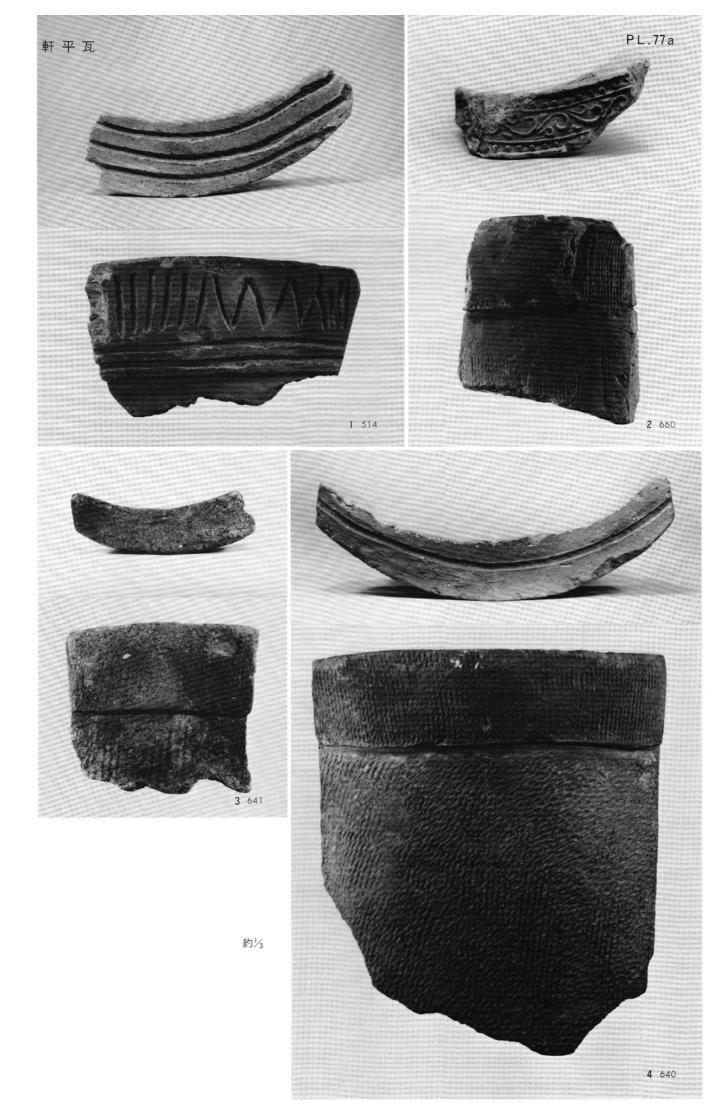


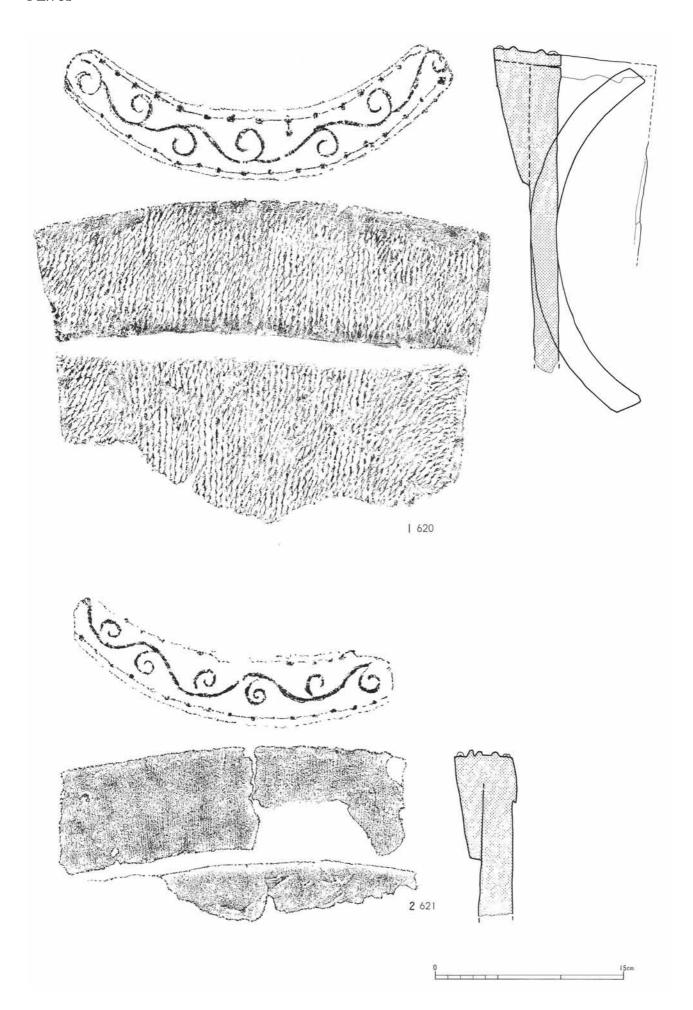


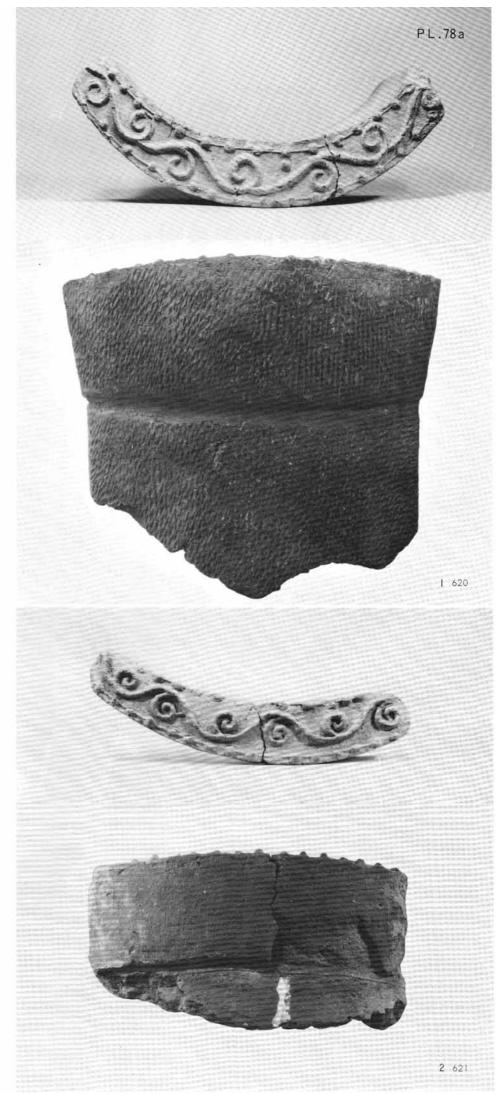


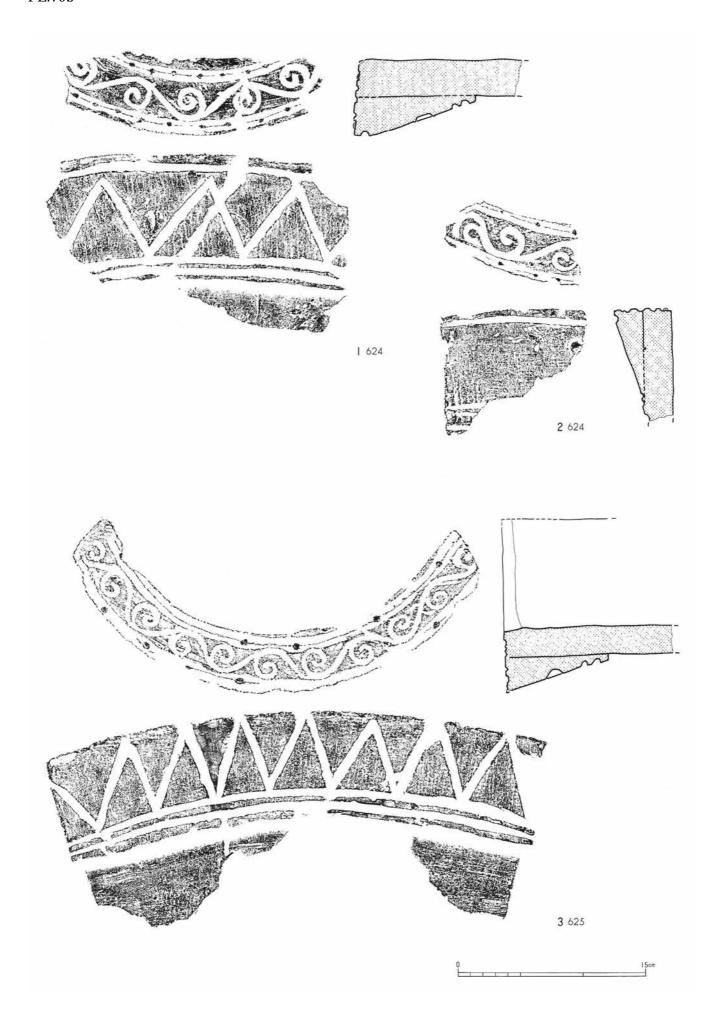


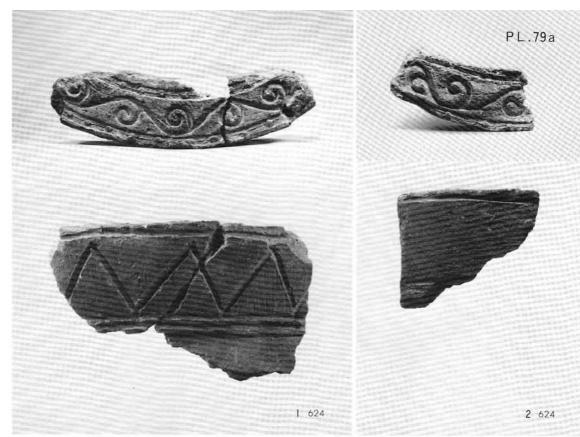




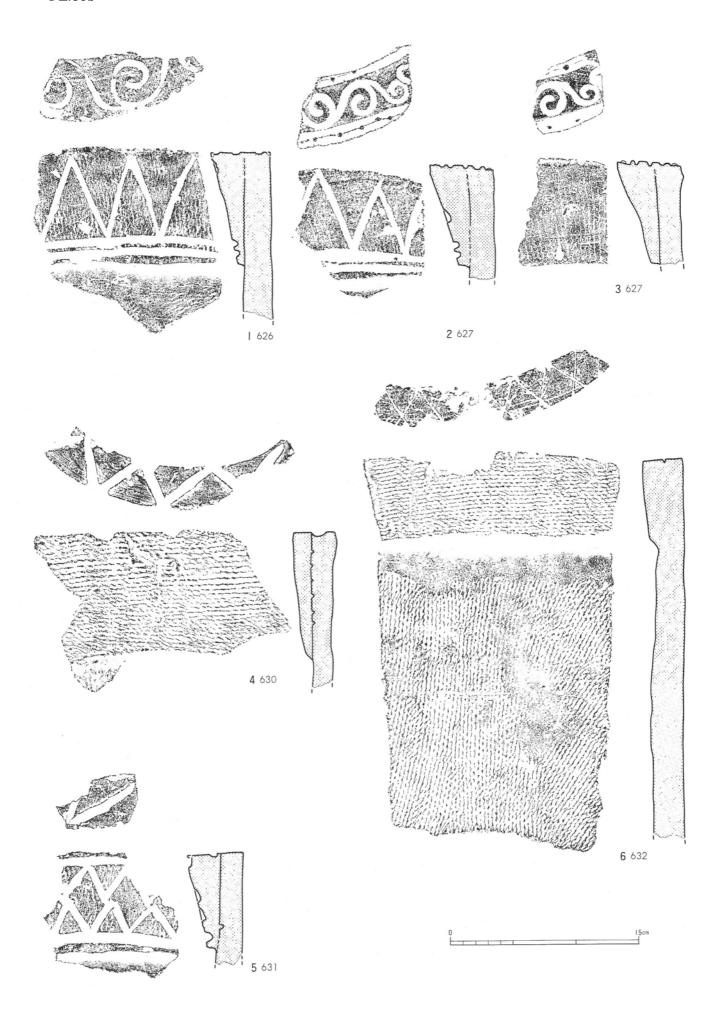


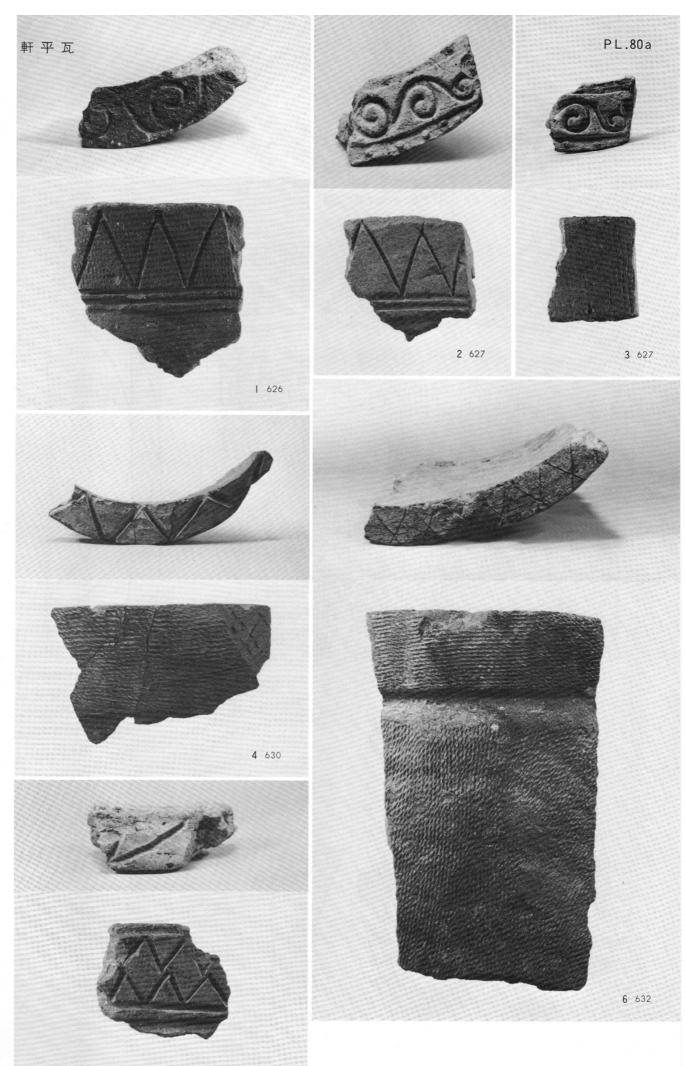




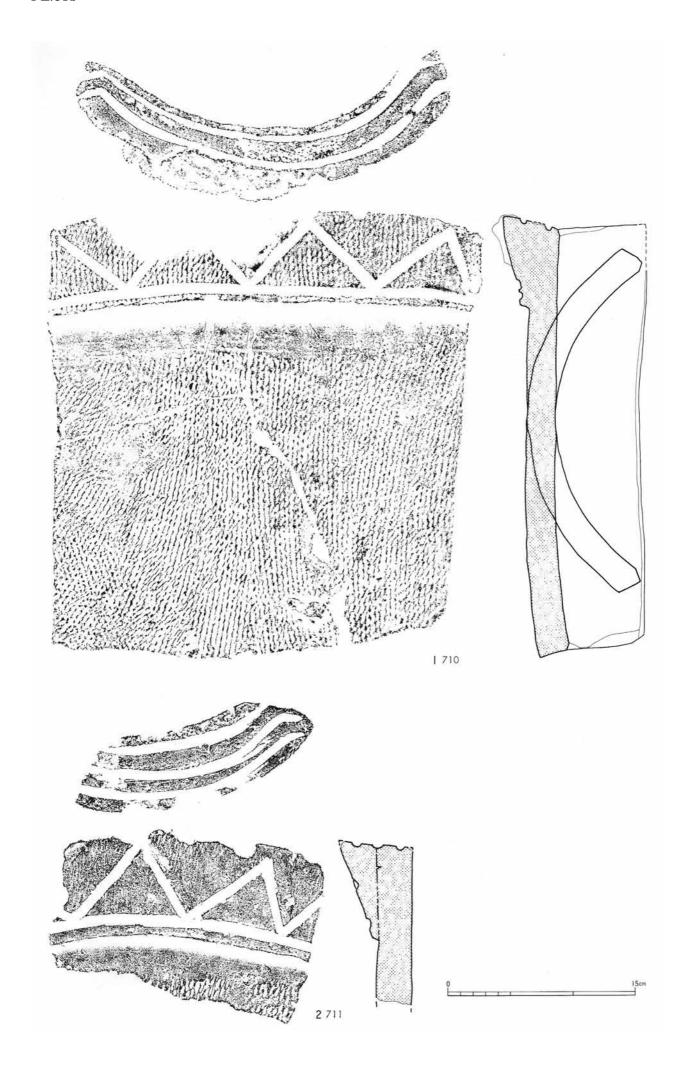




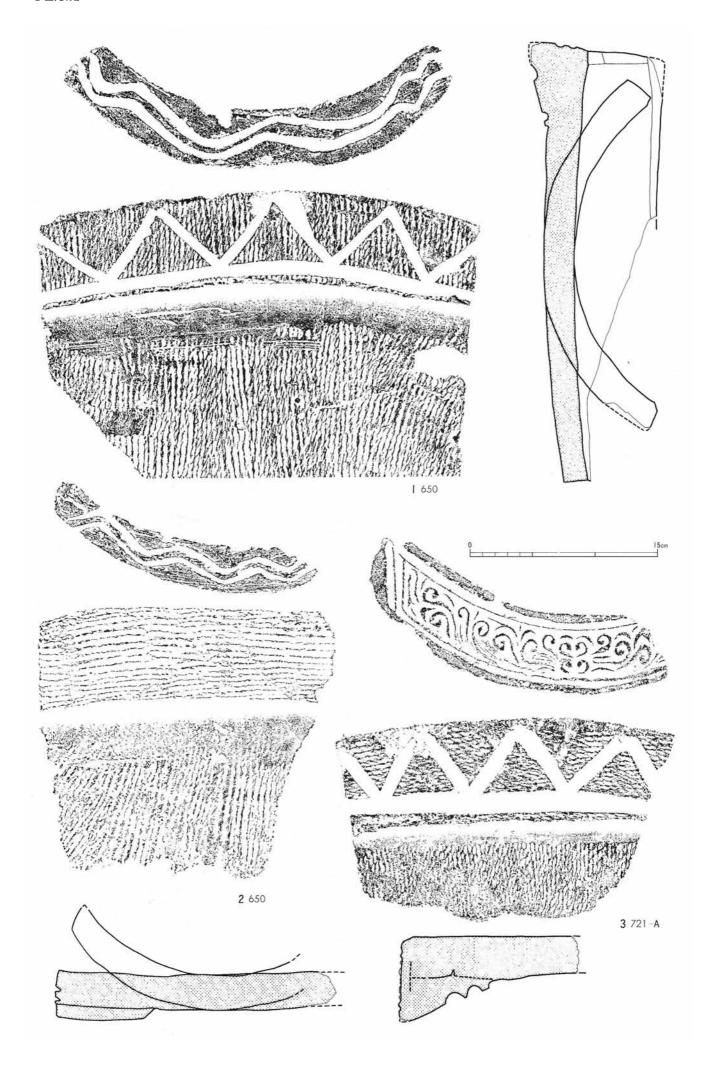




5 631



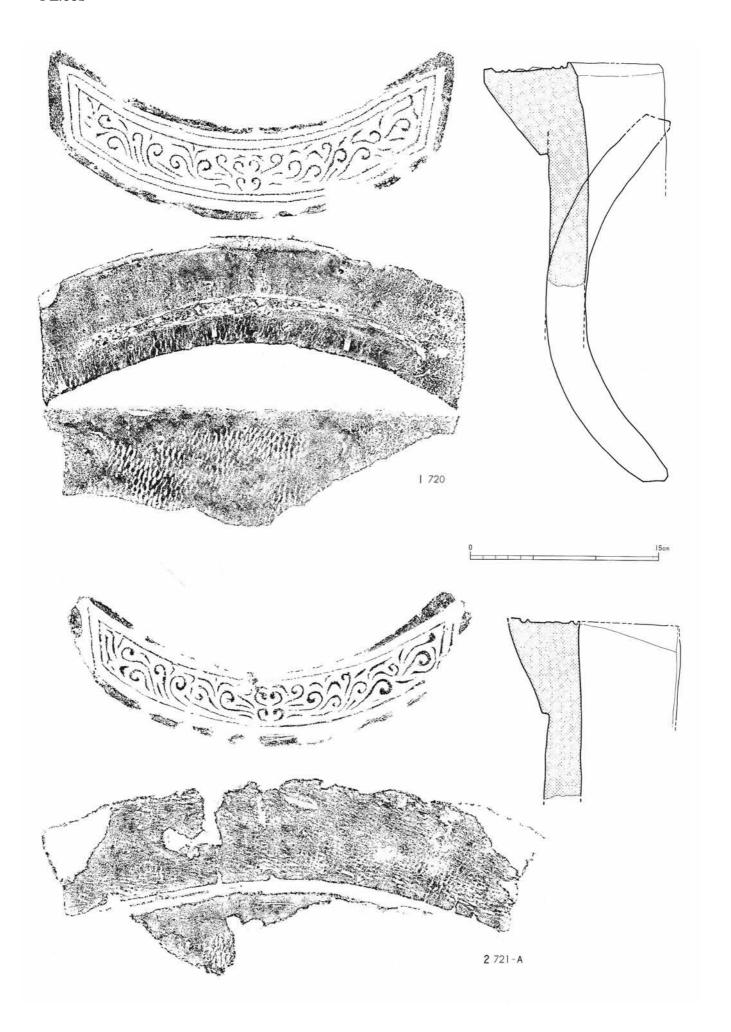




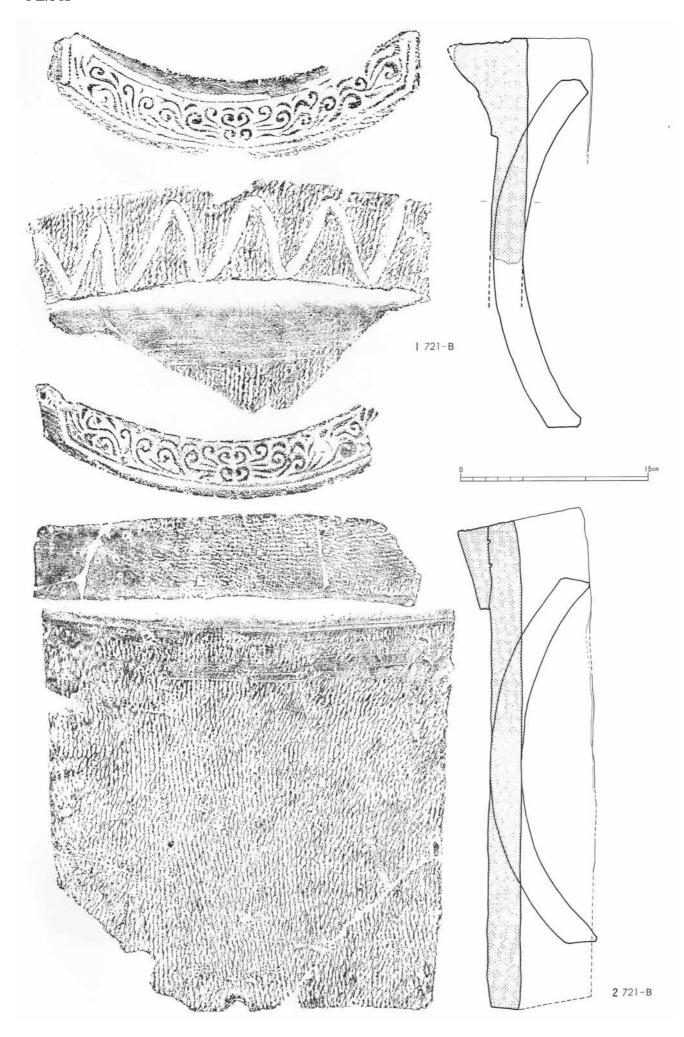




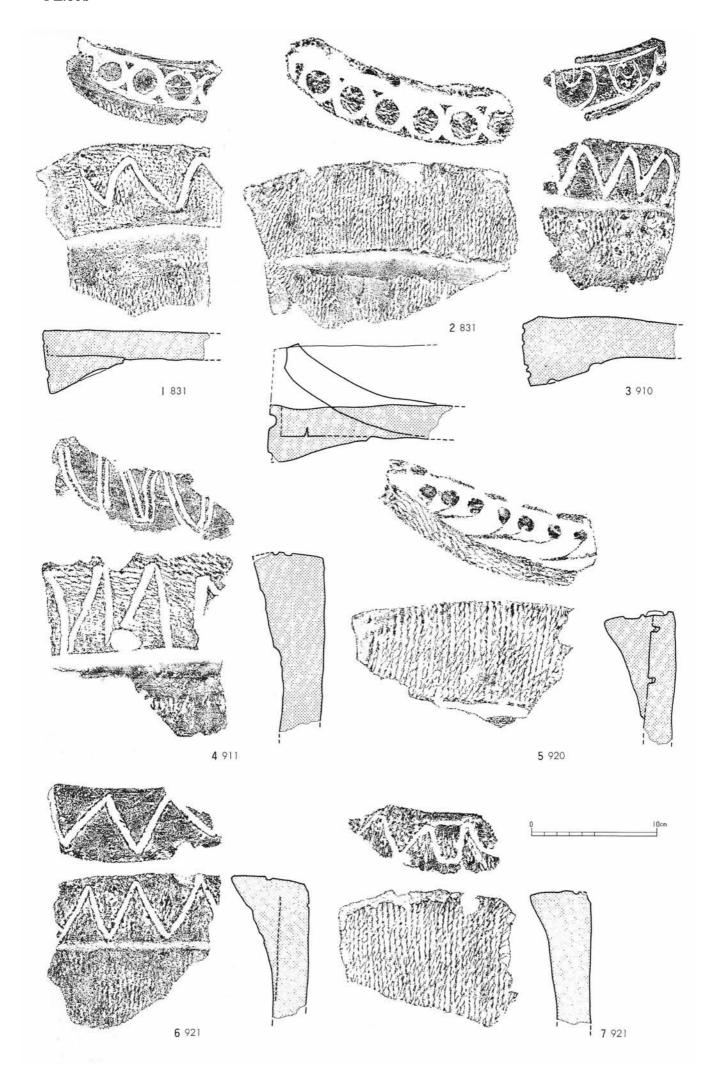


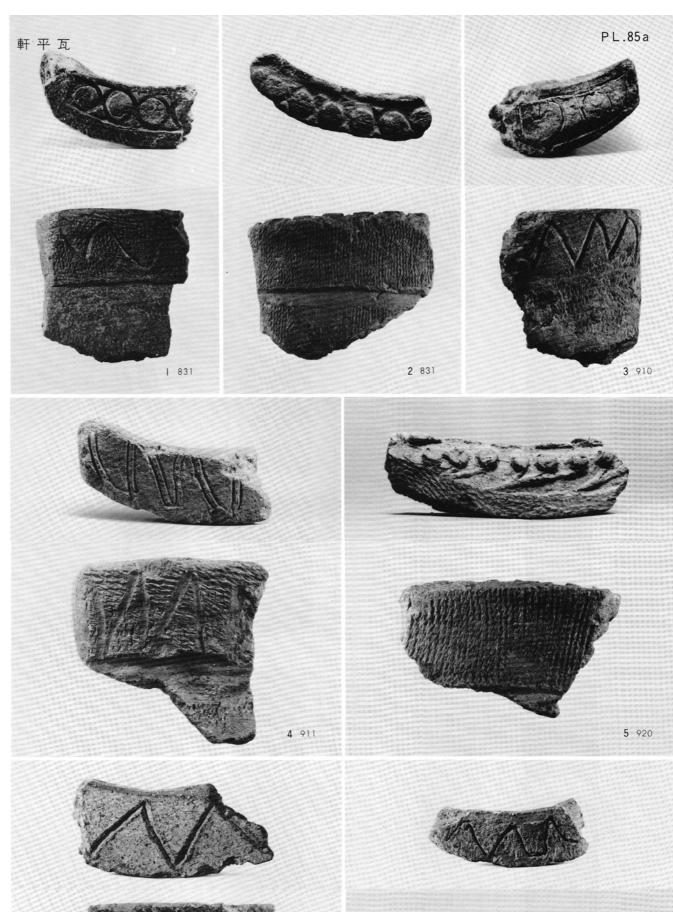






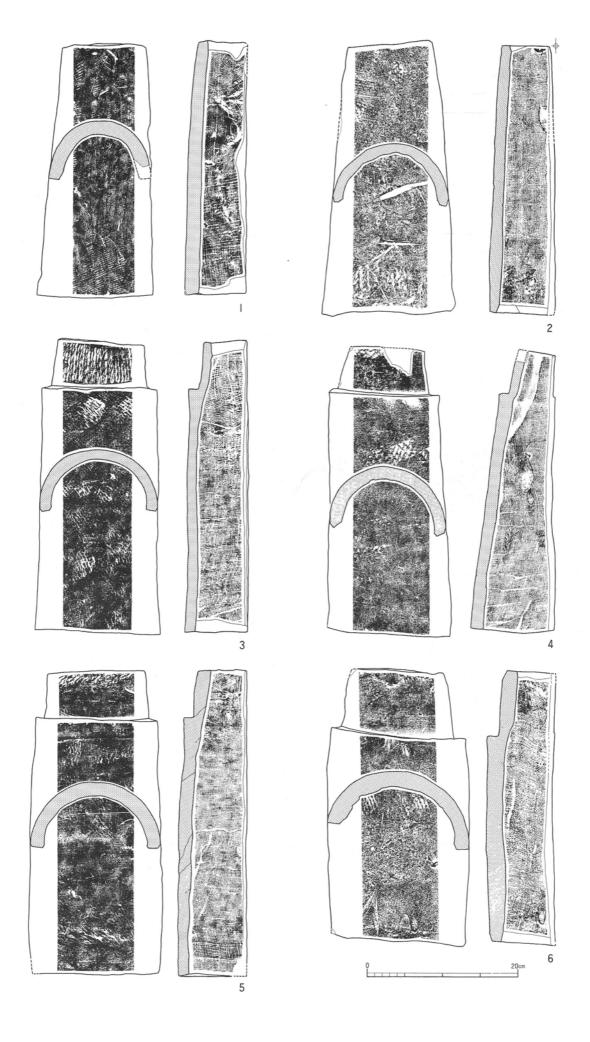


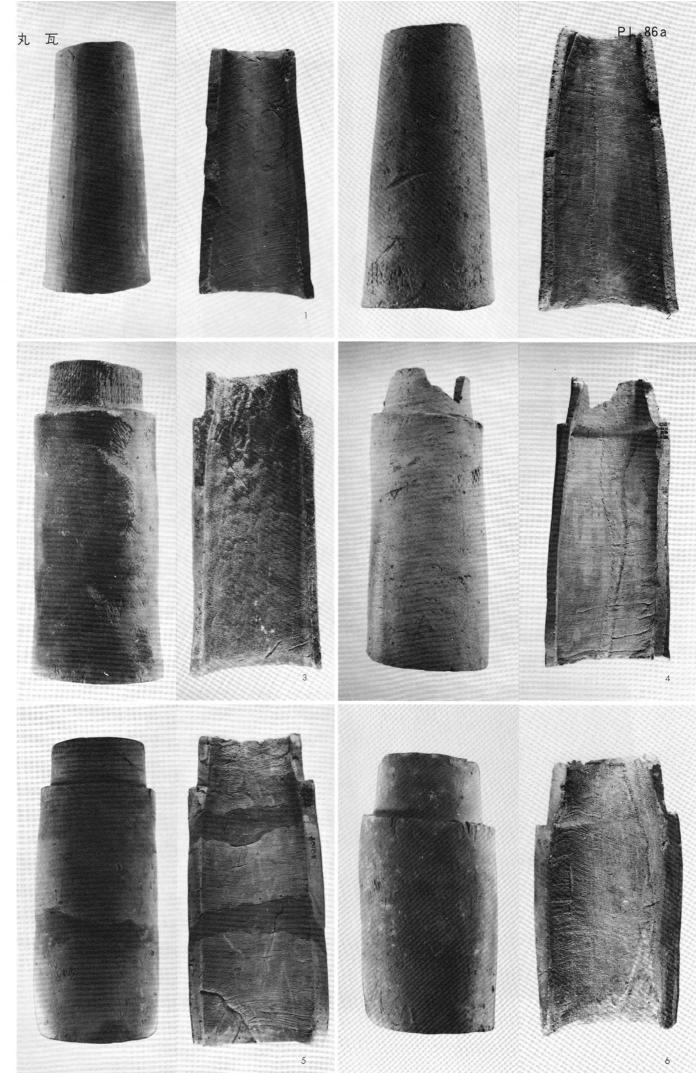


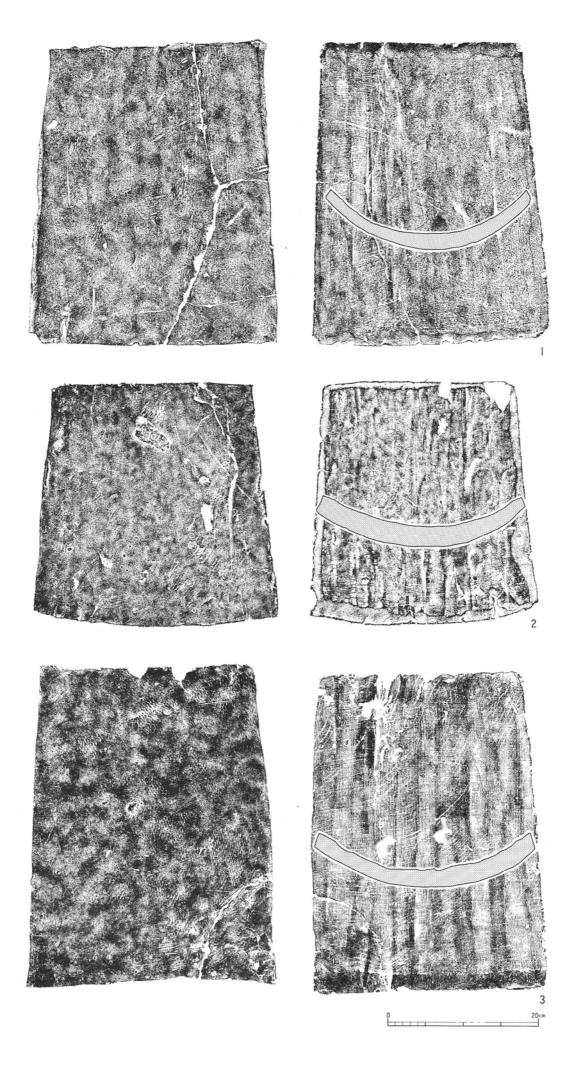


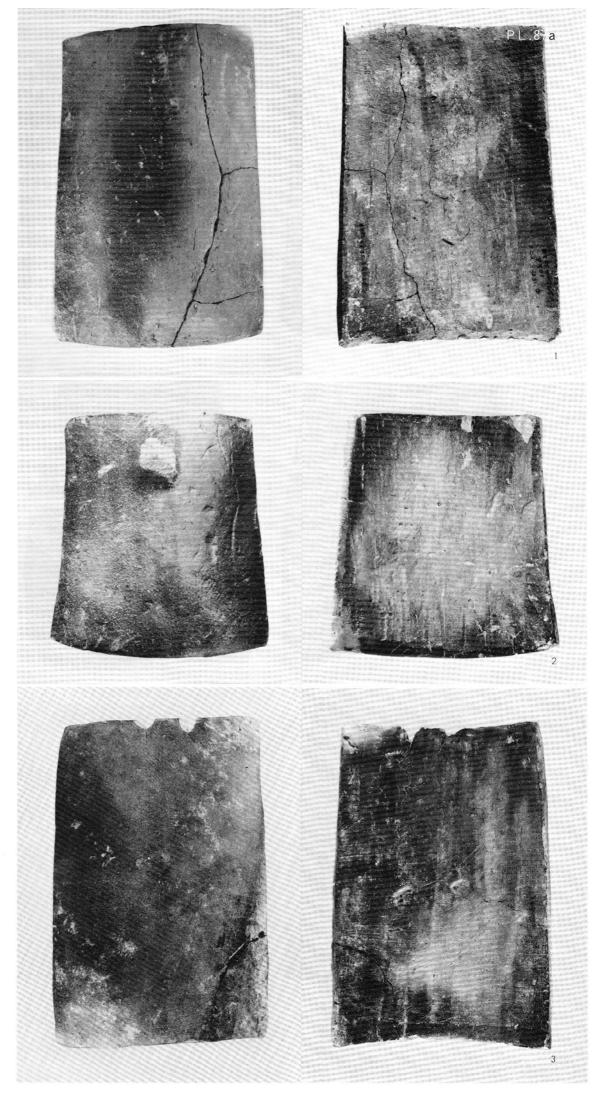


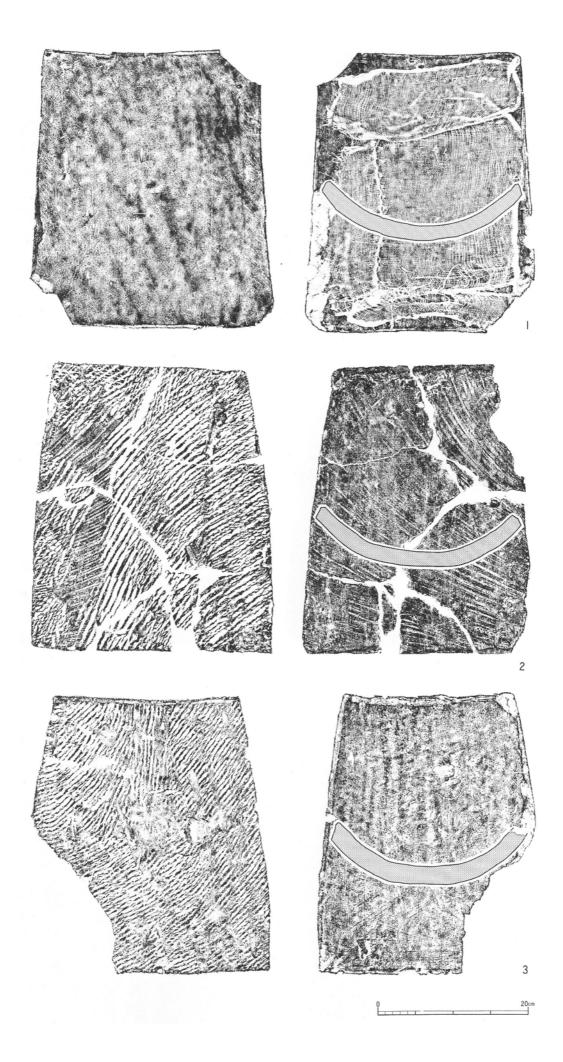


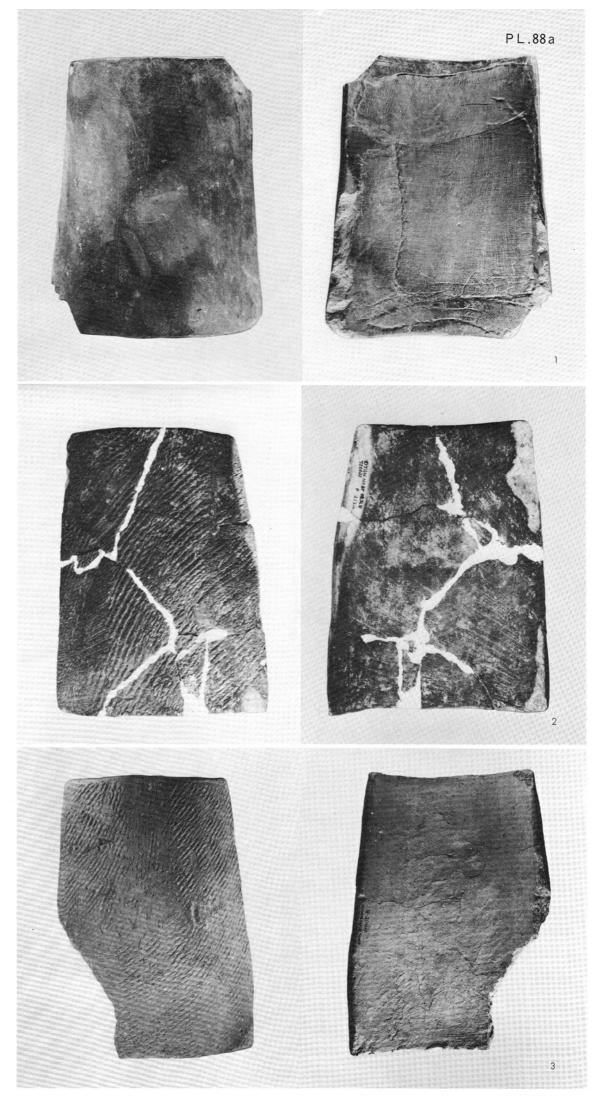


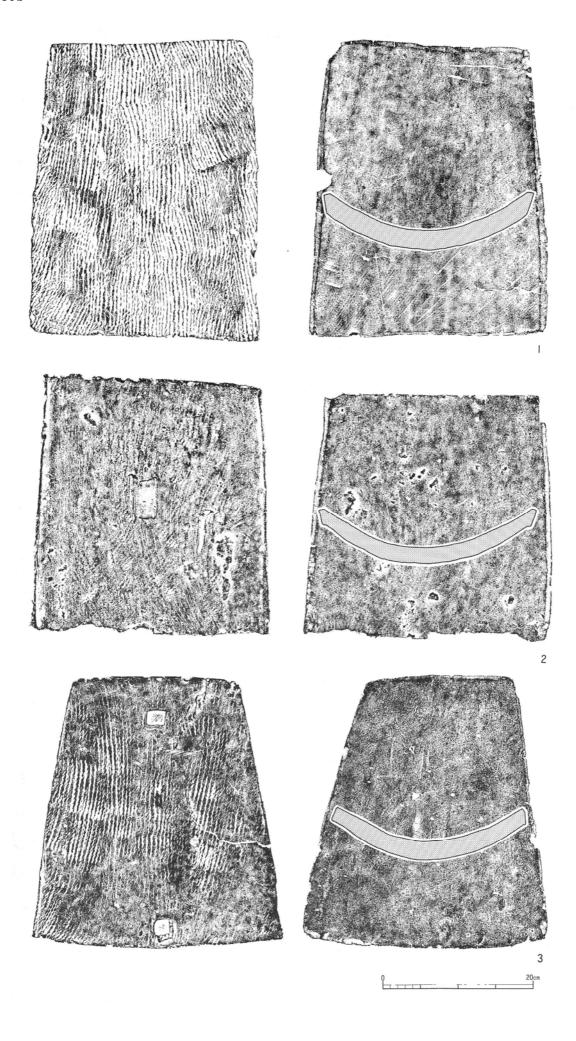












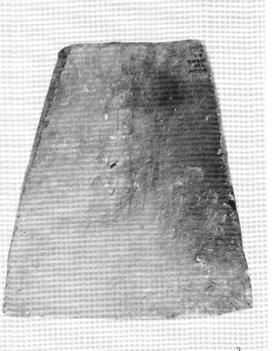


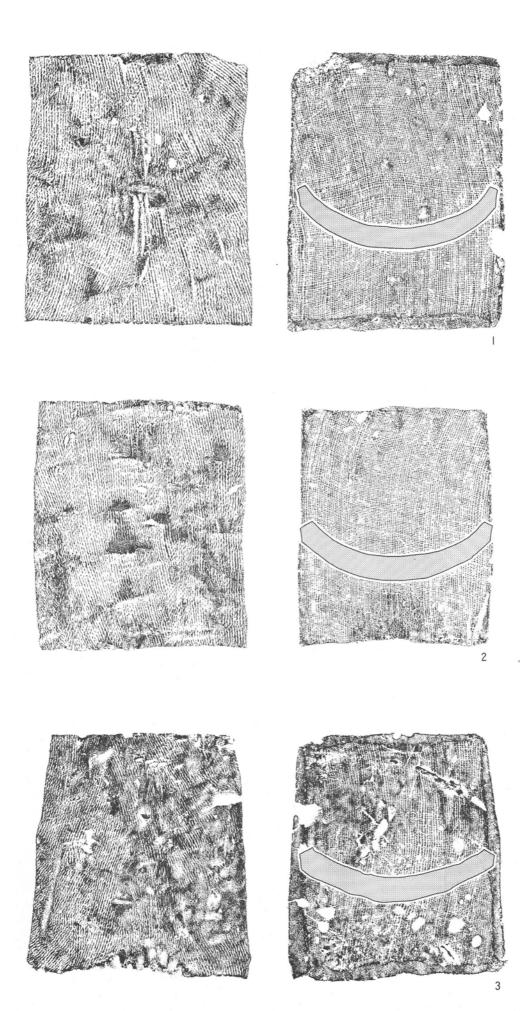




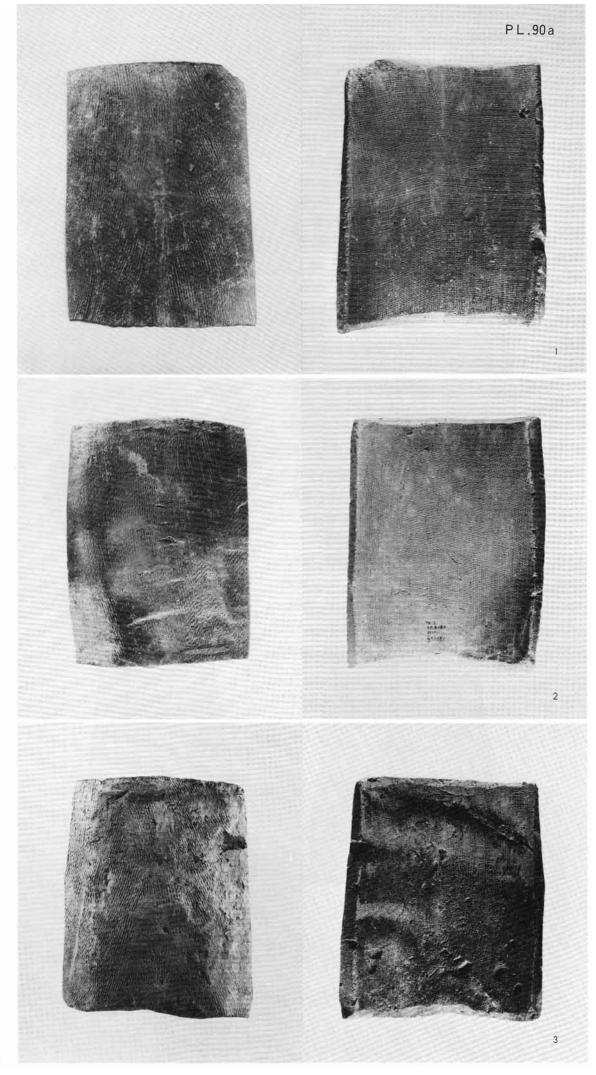


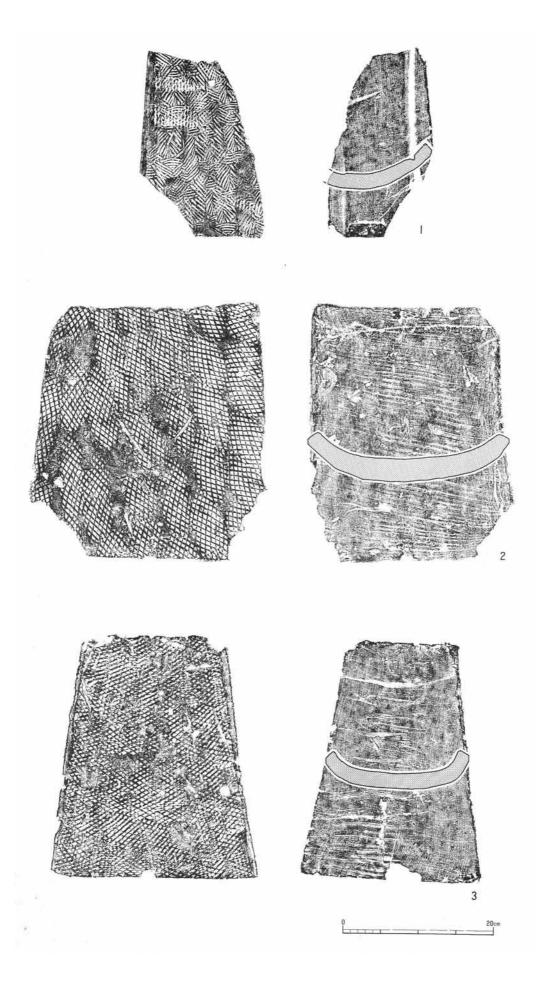


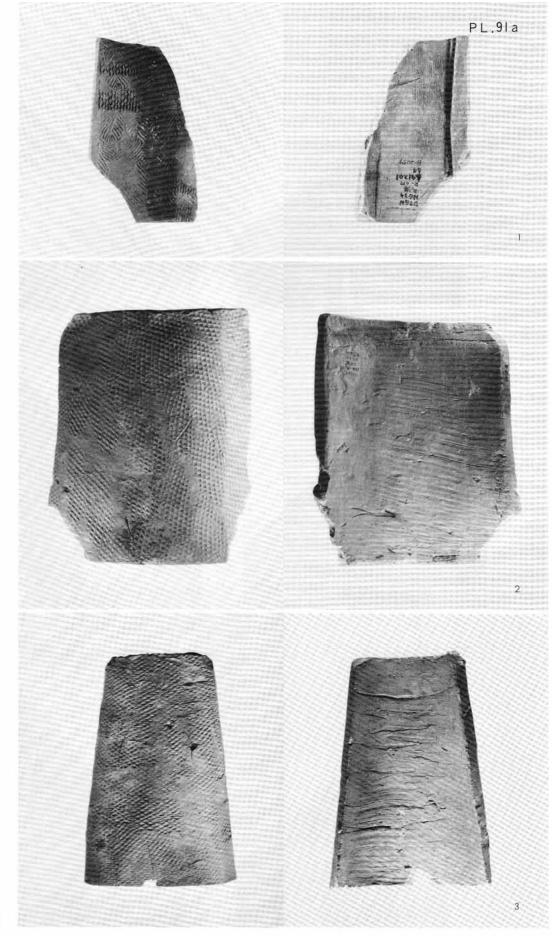




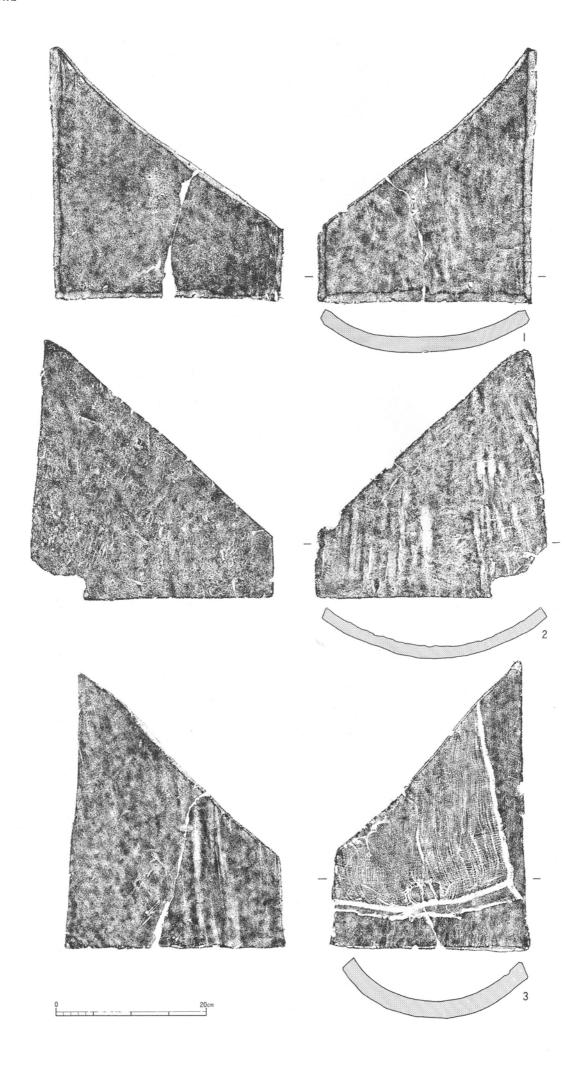
200

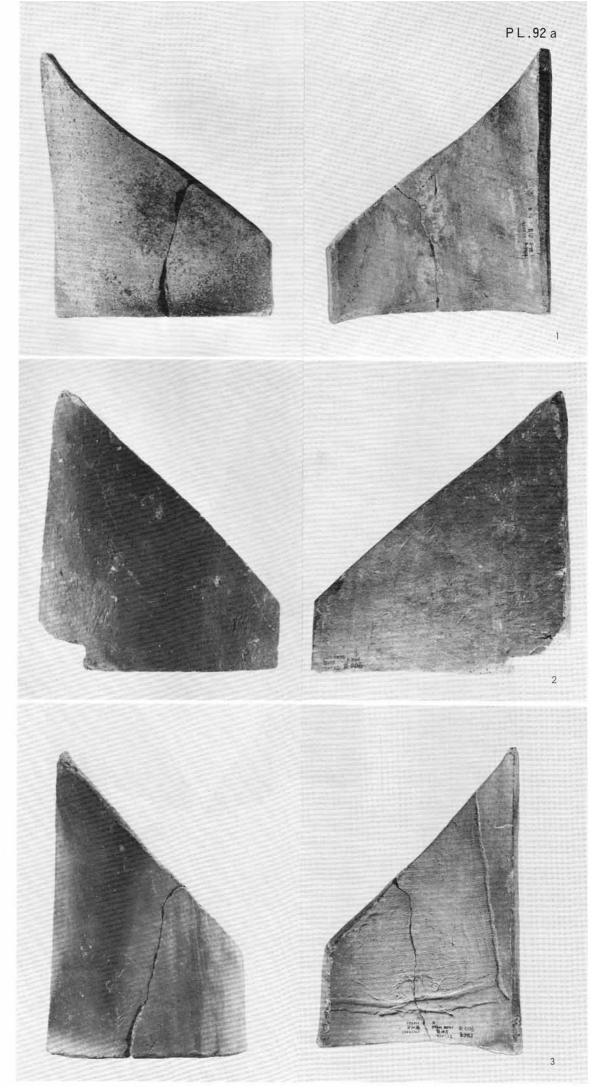


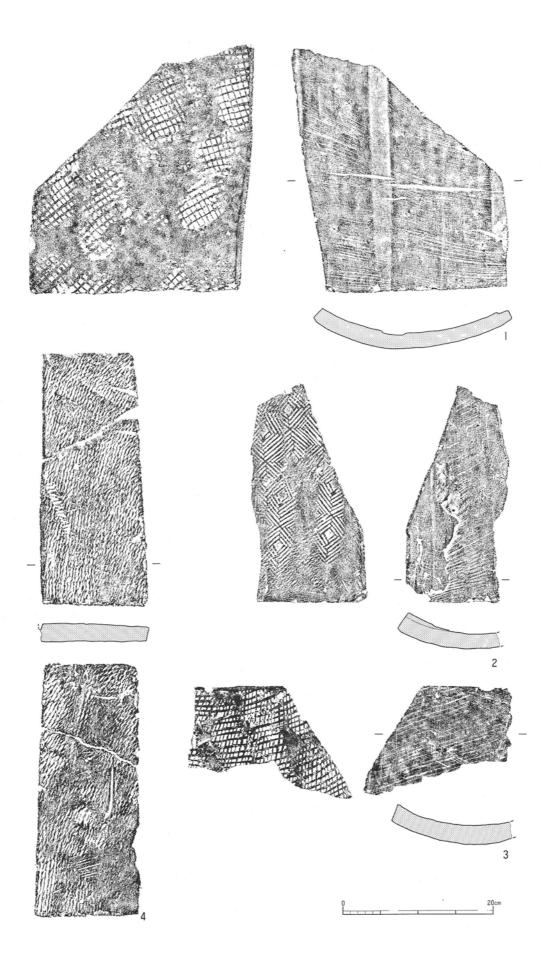




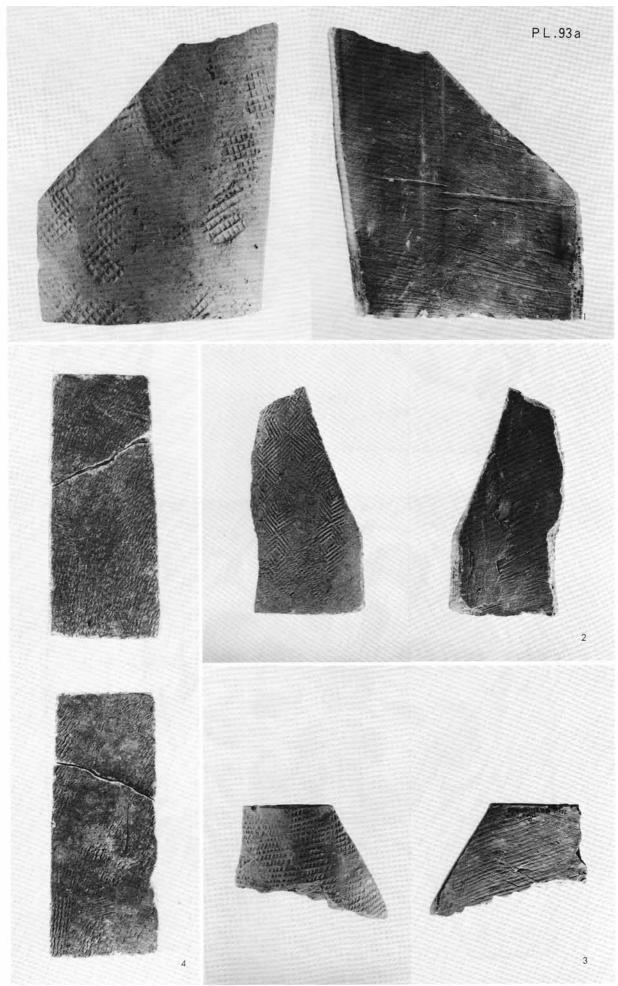
約%



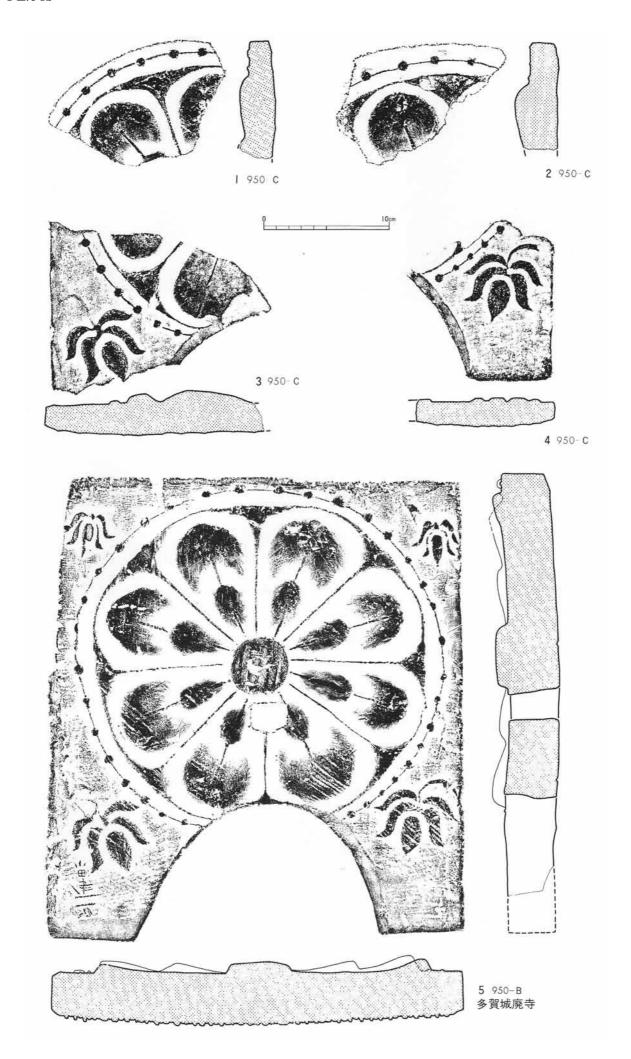


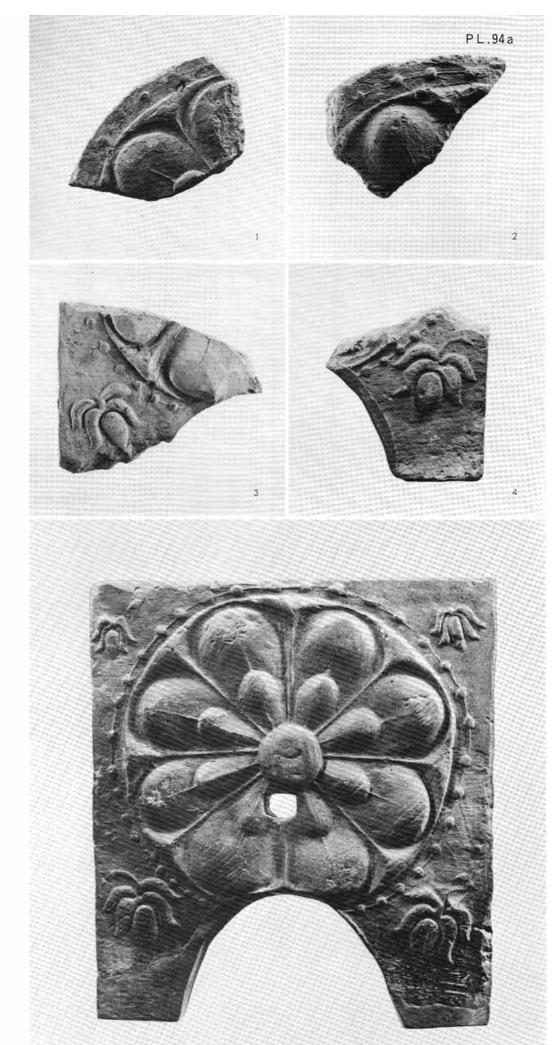


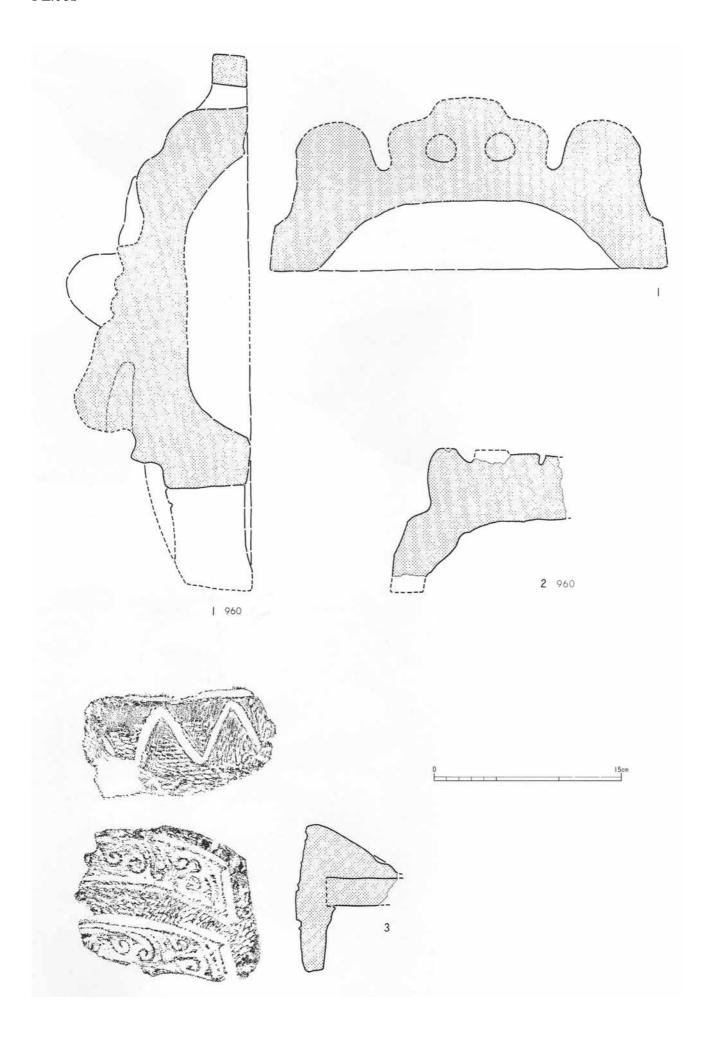
隅瓦 熨斗瓦

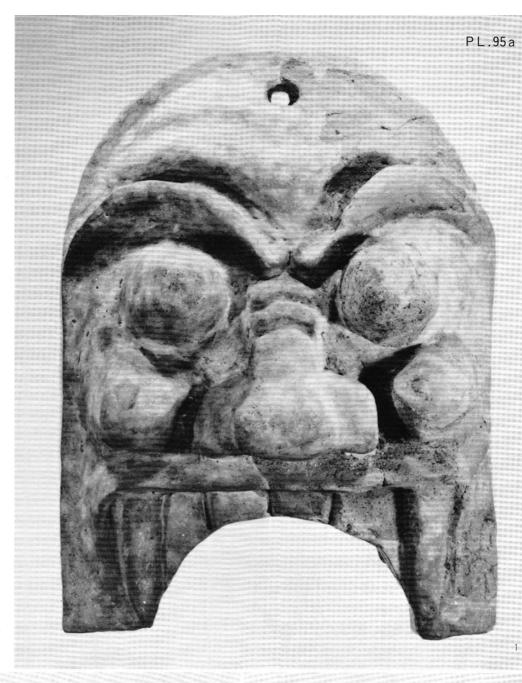


約%





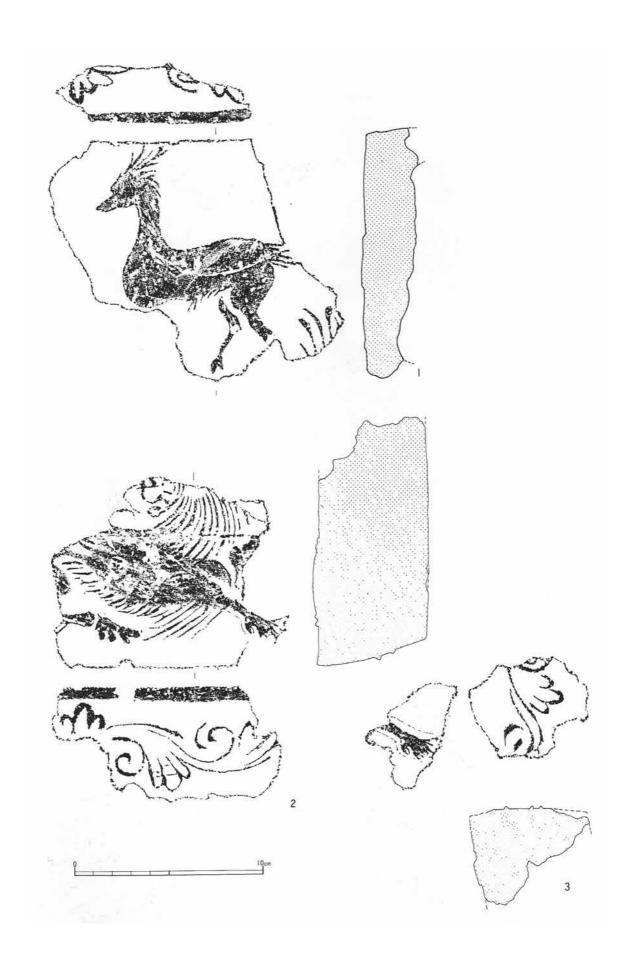


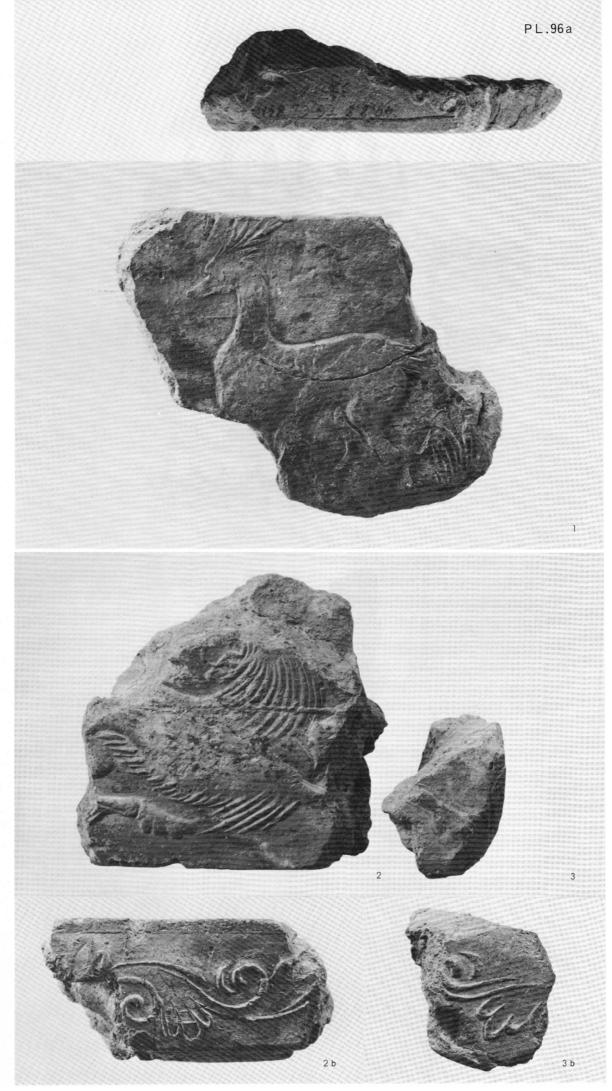


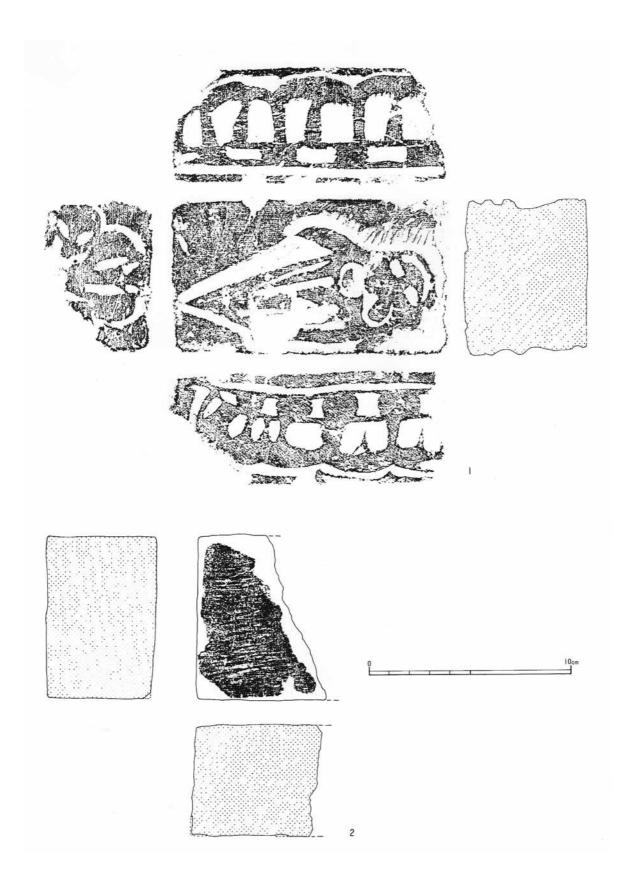












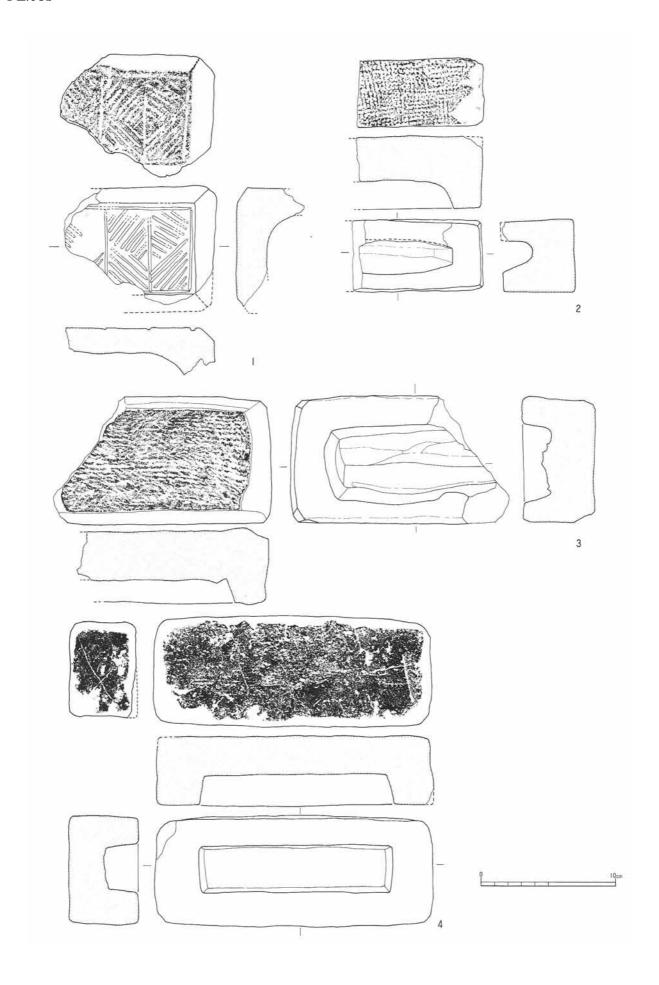


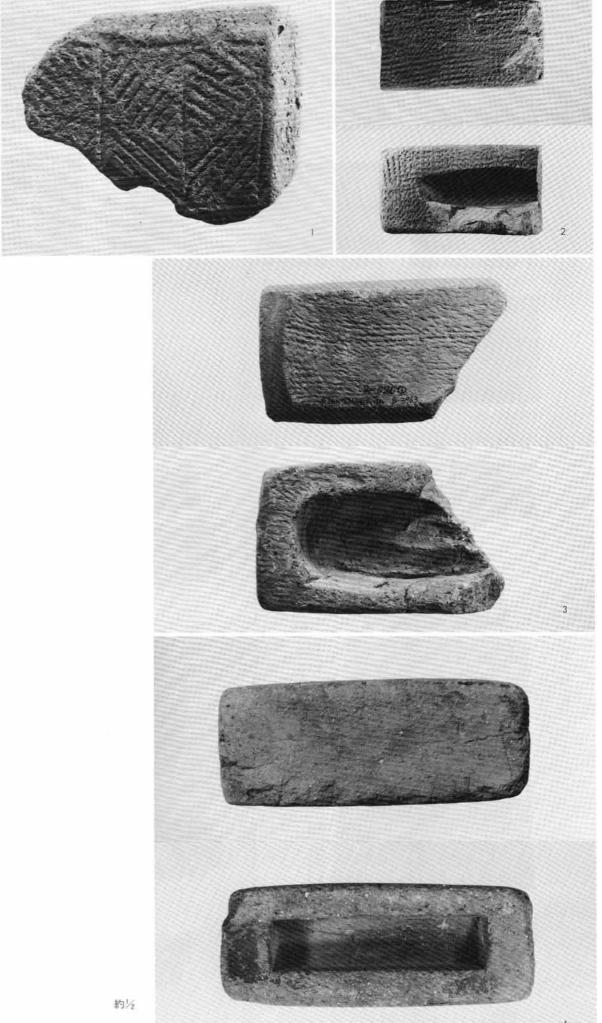




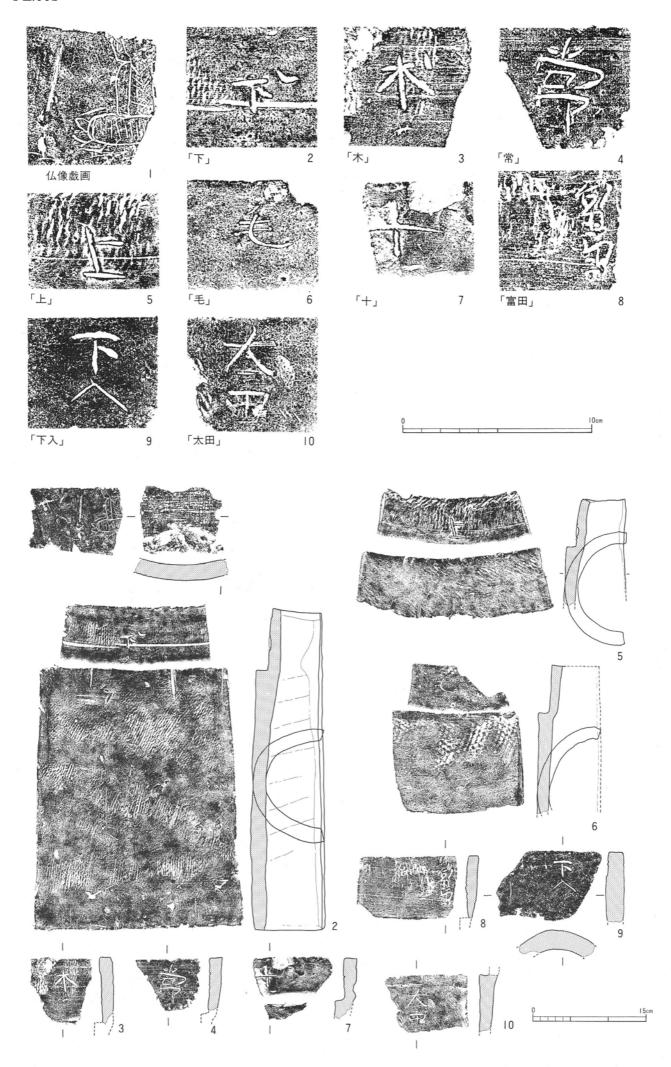




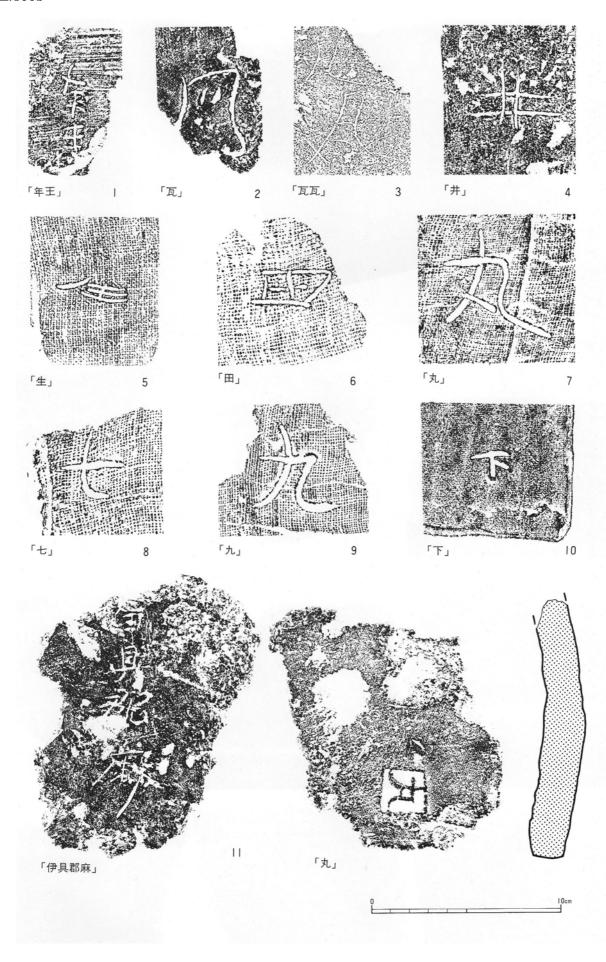


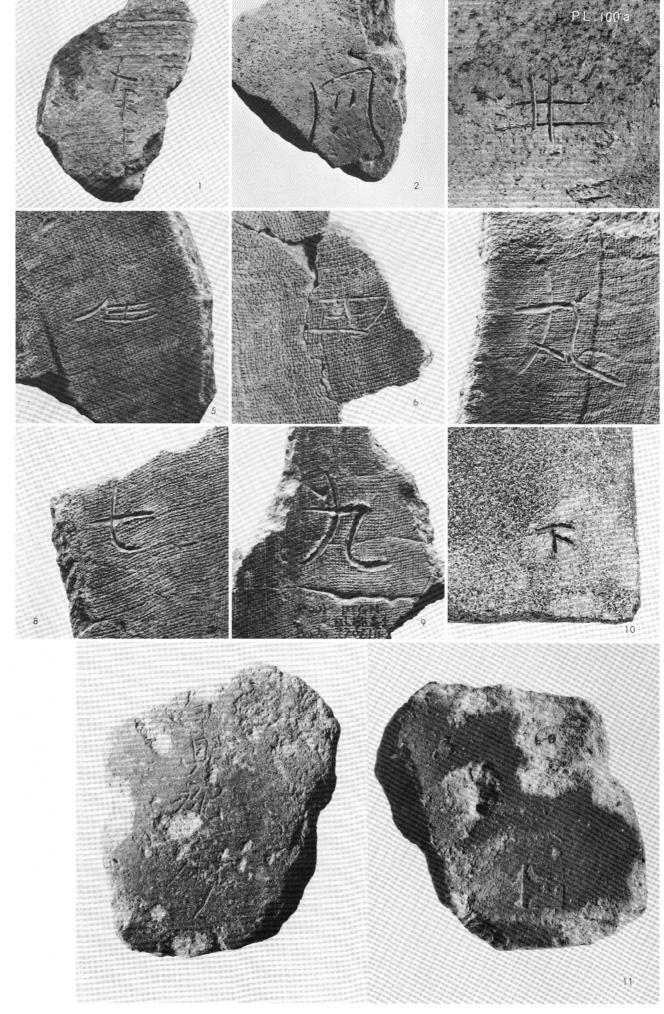


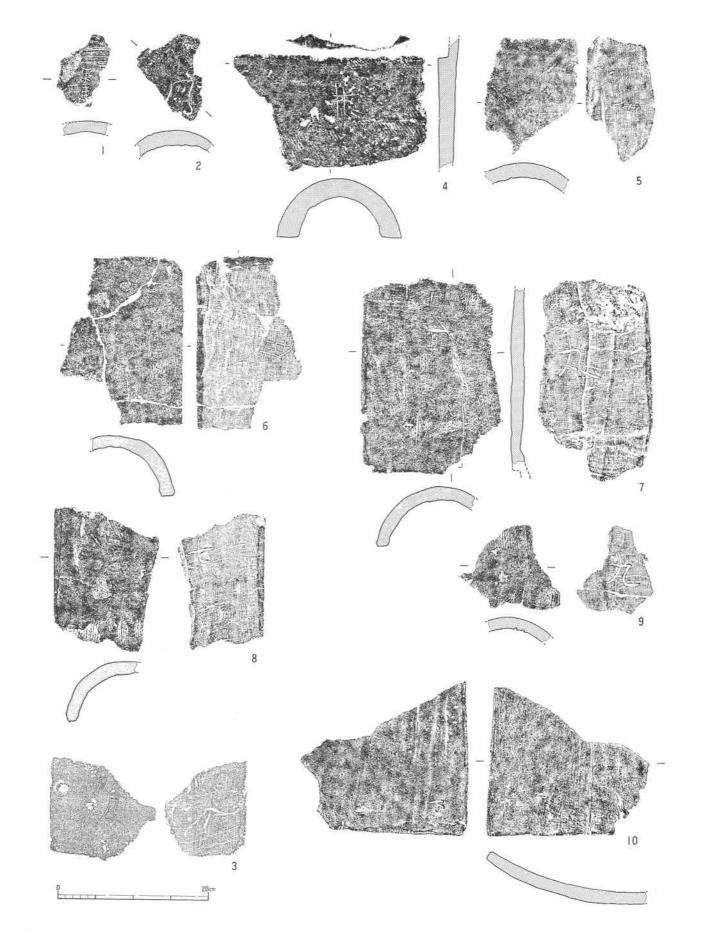
PL.98 a

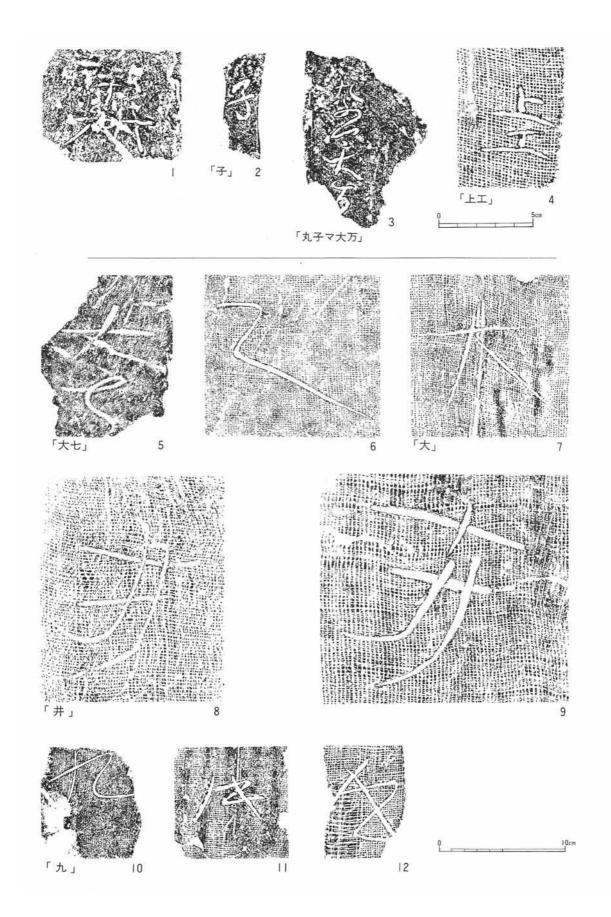


10

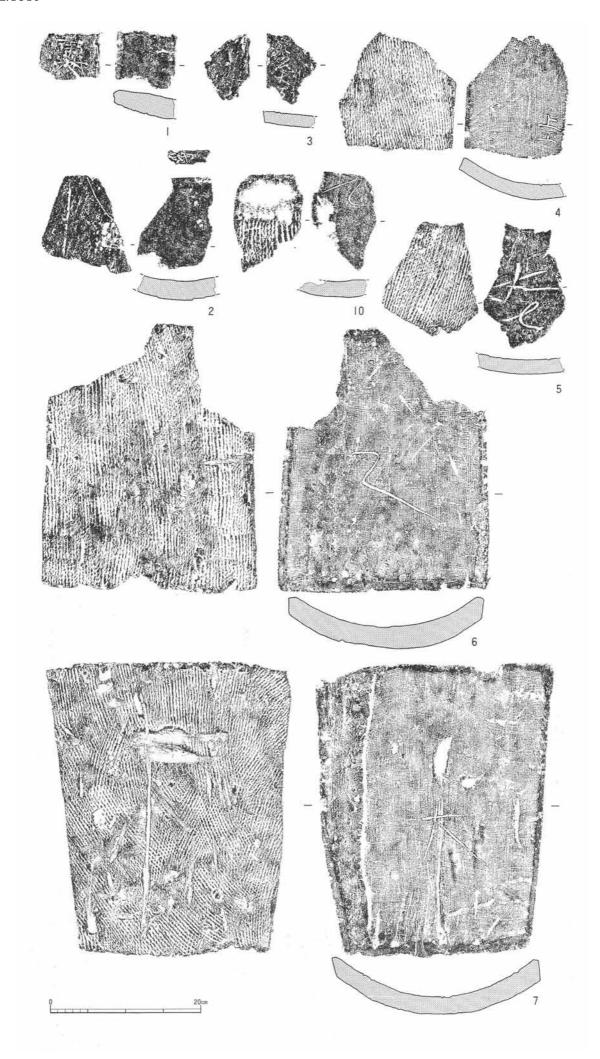




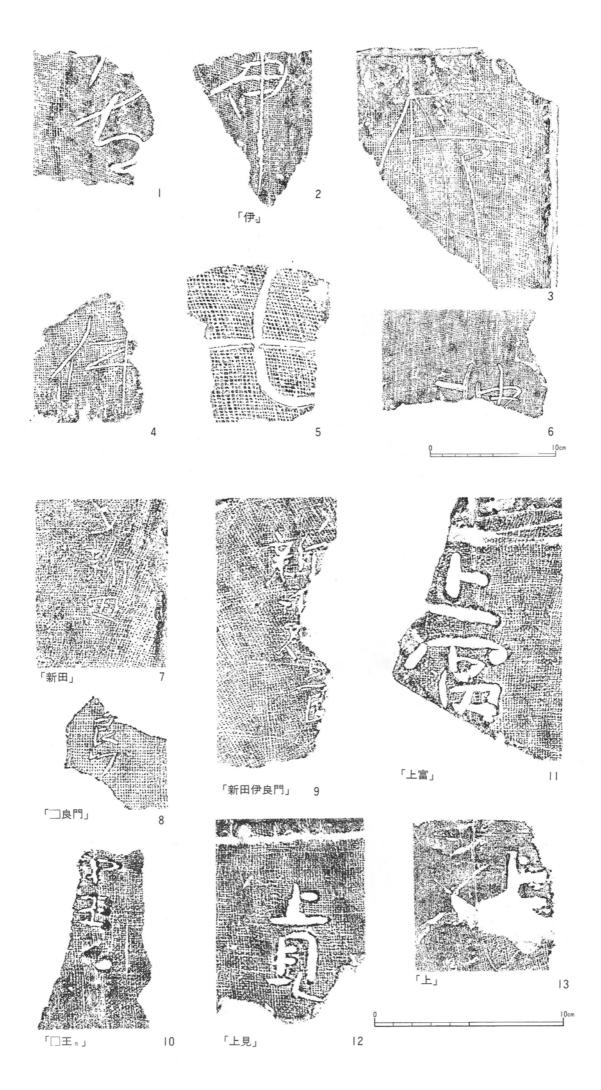


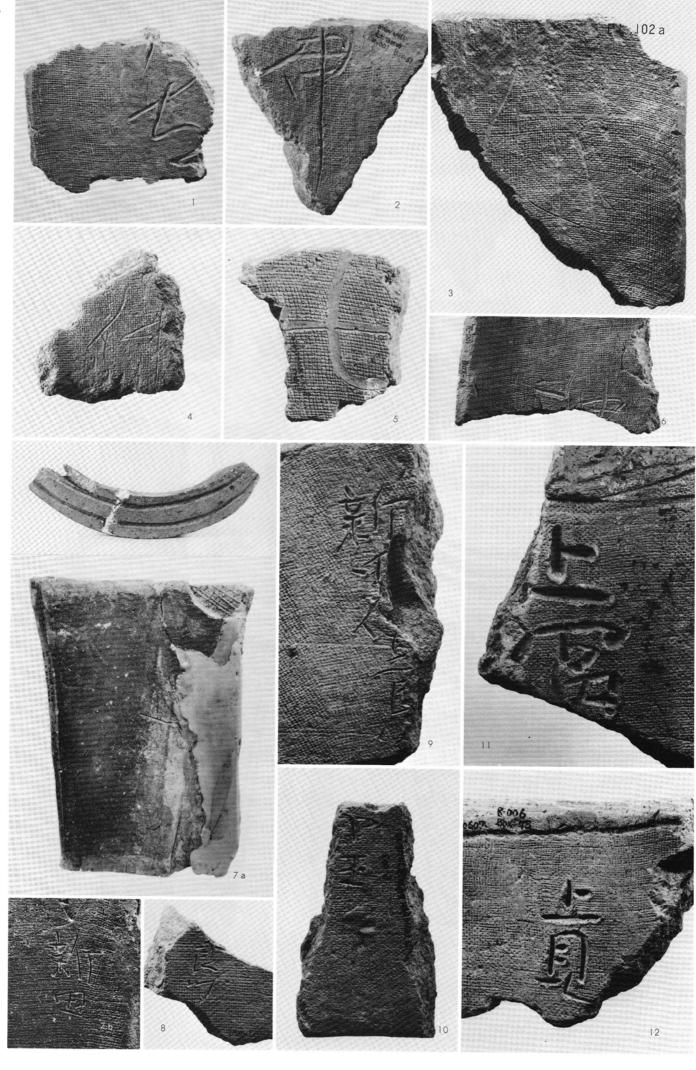


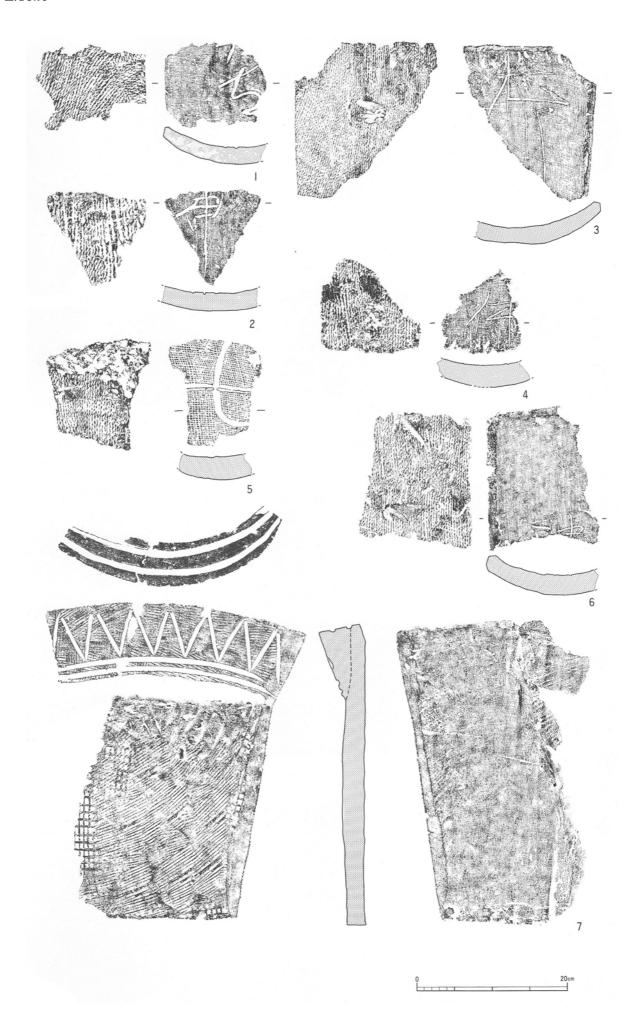


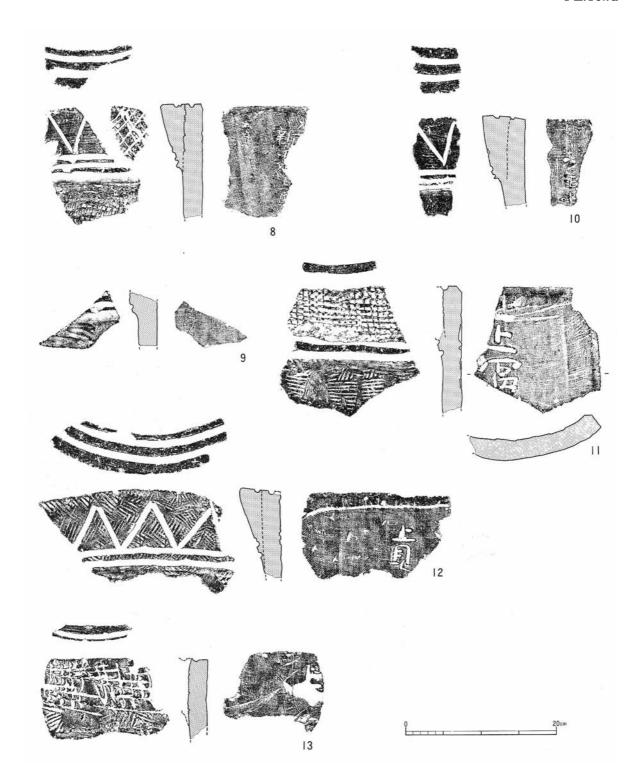


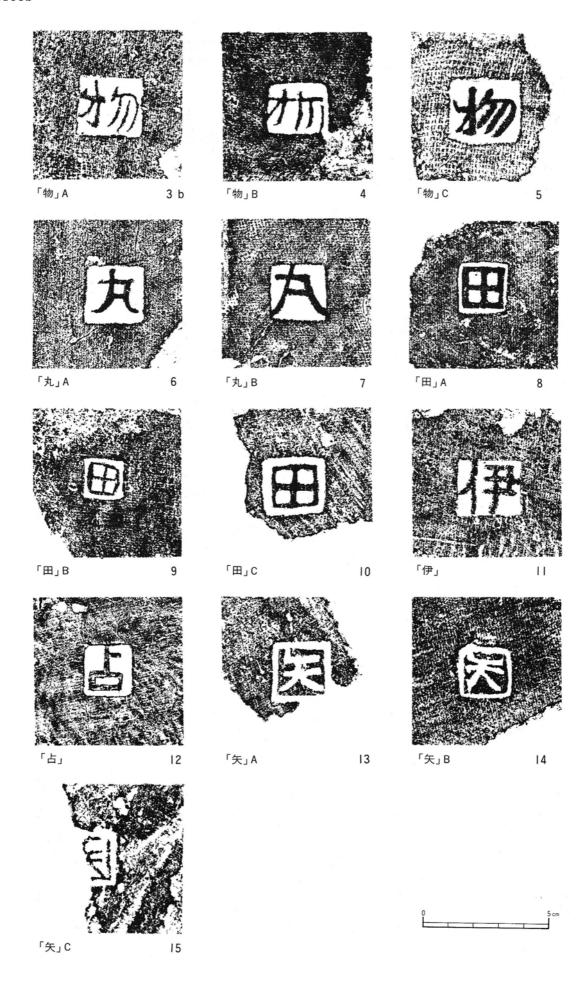


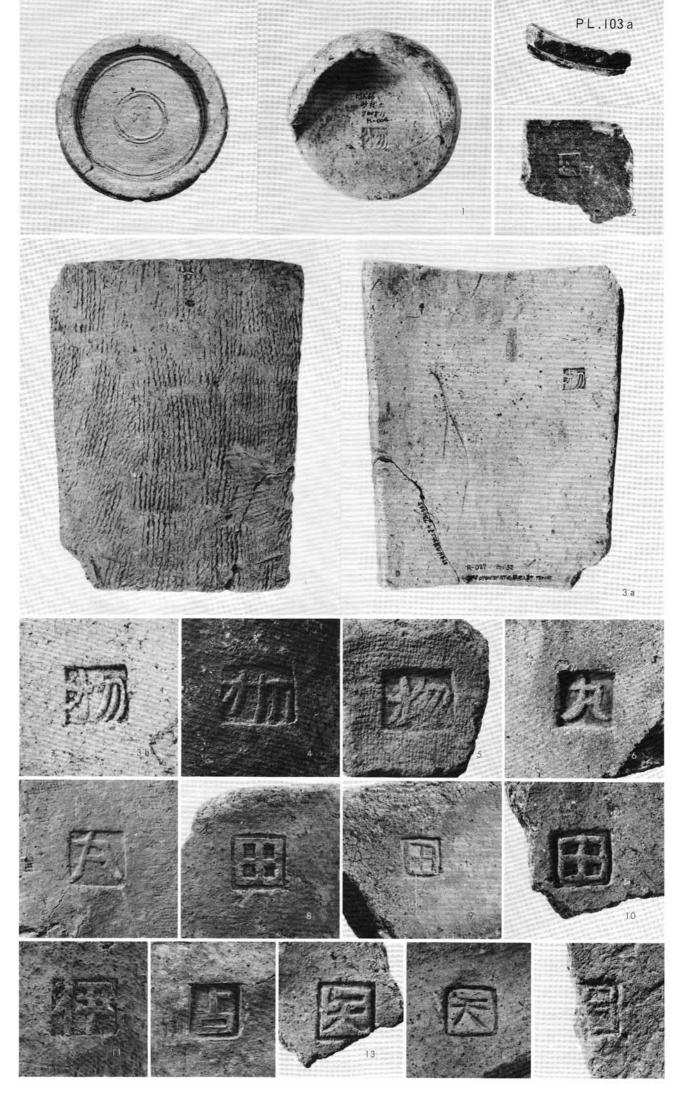


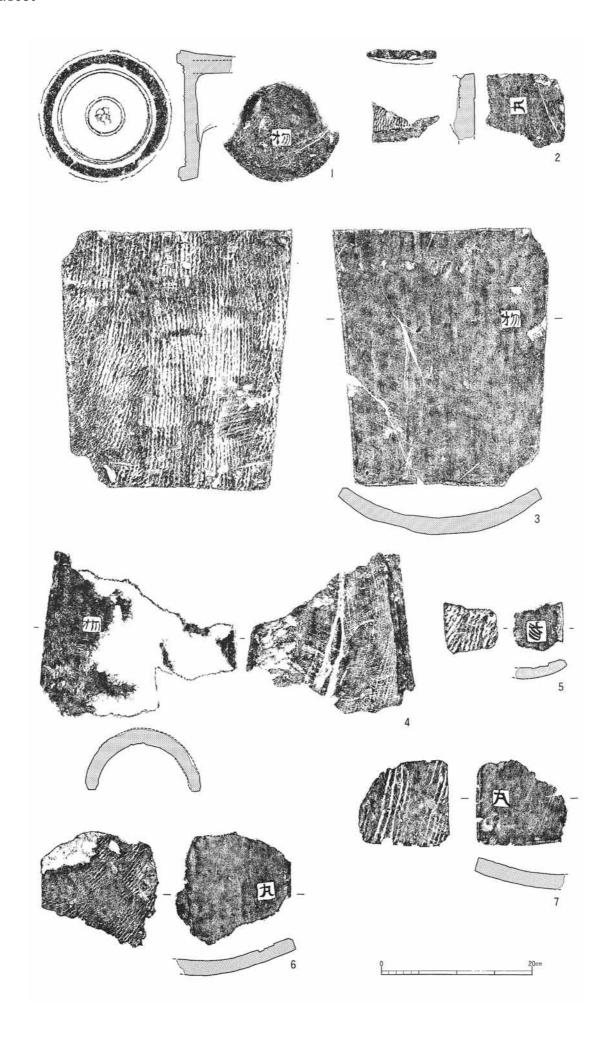


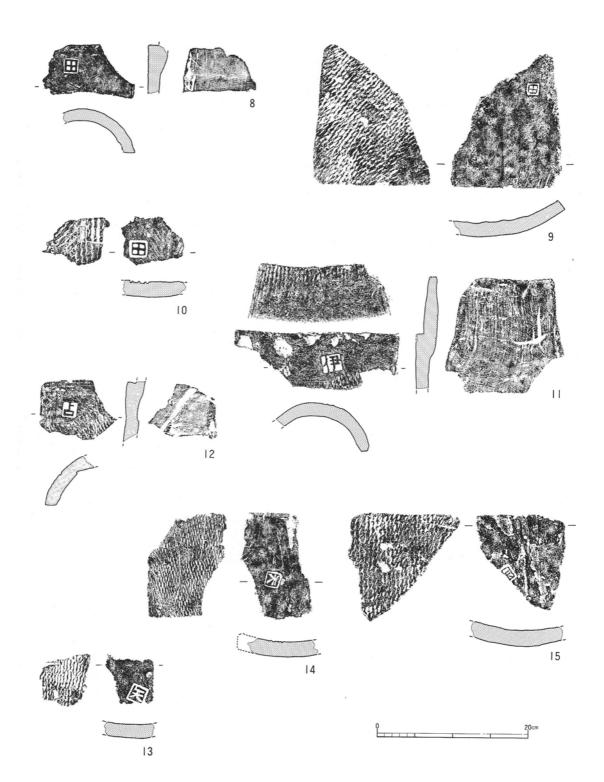


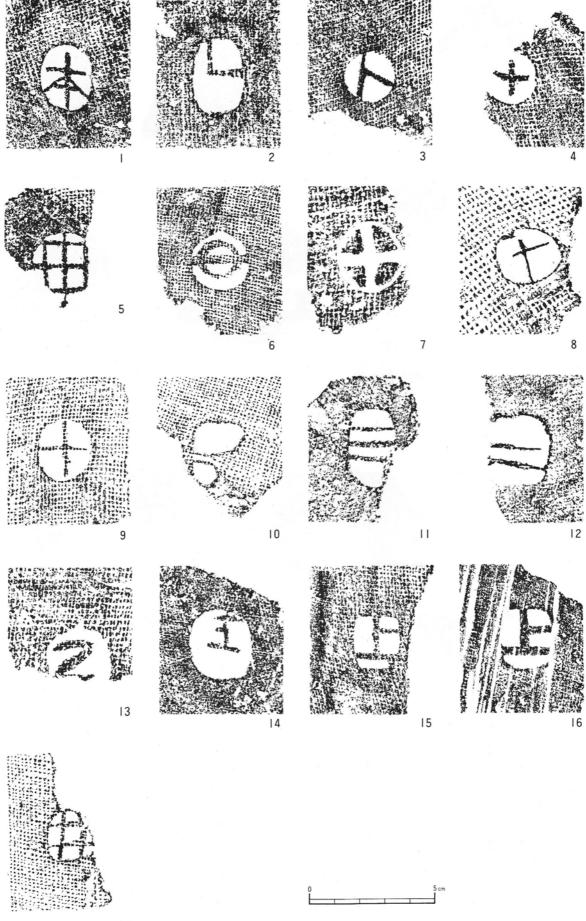




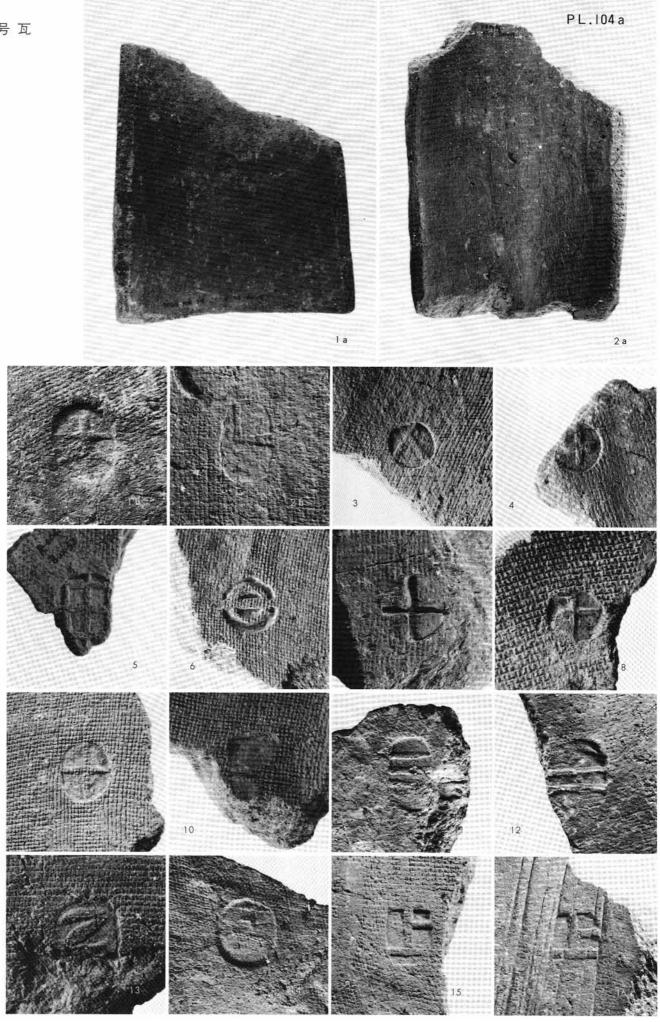


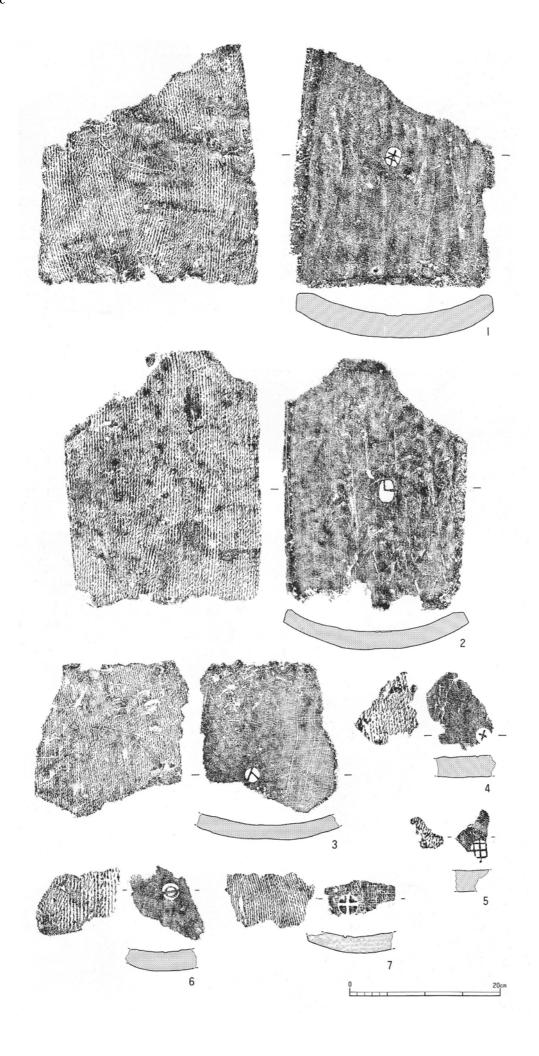


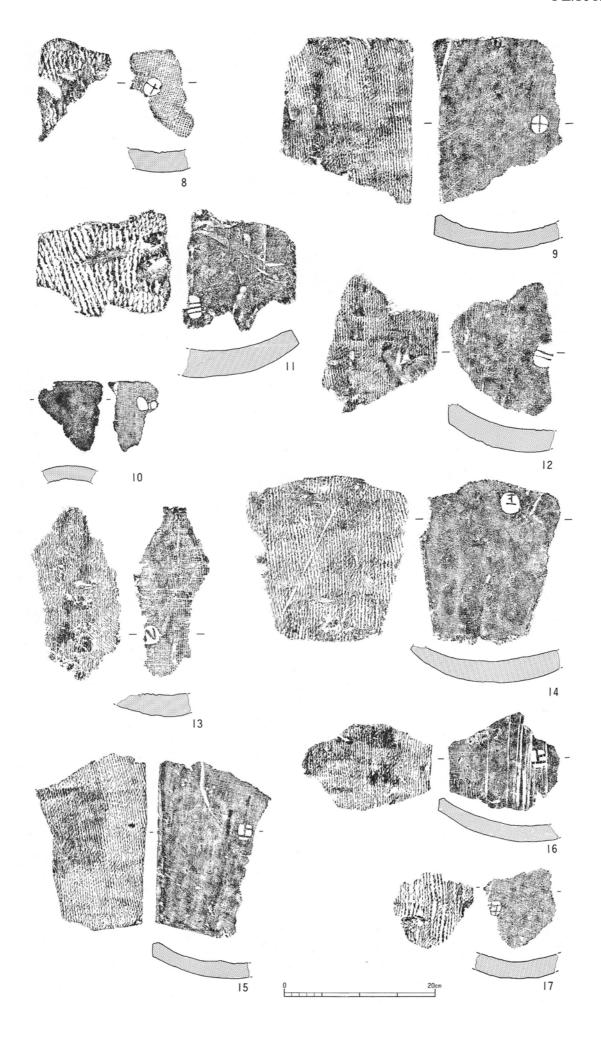


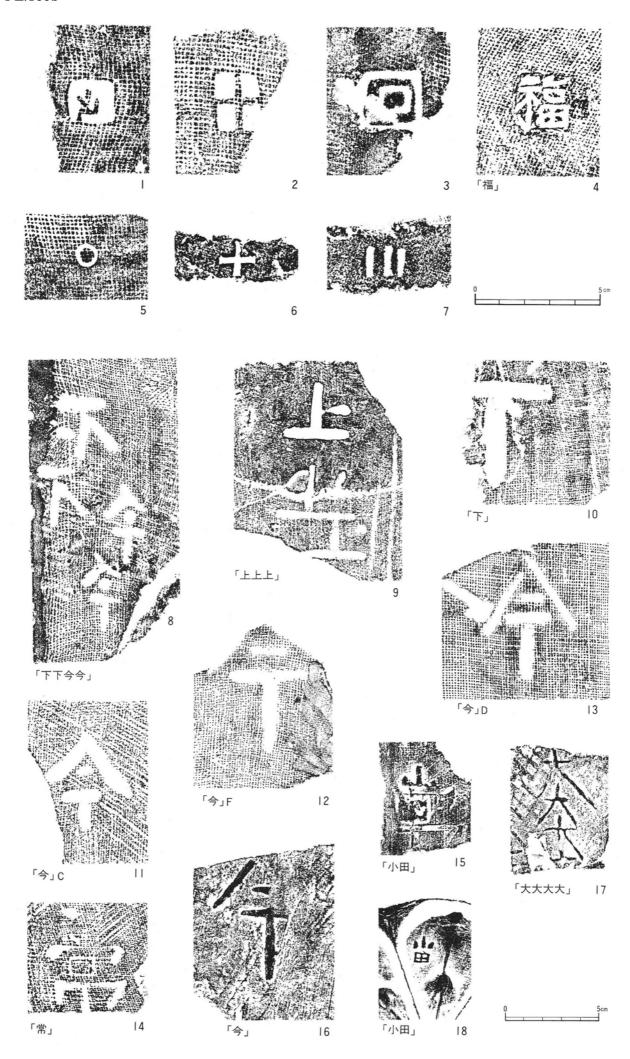


17



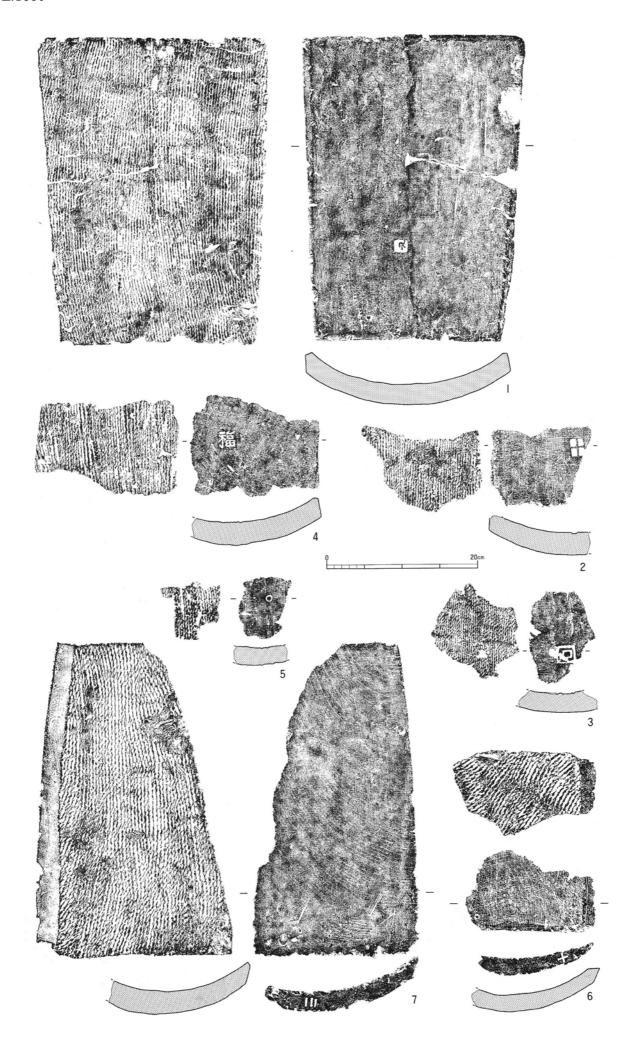


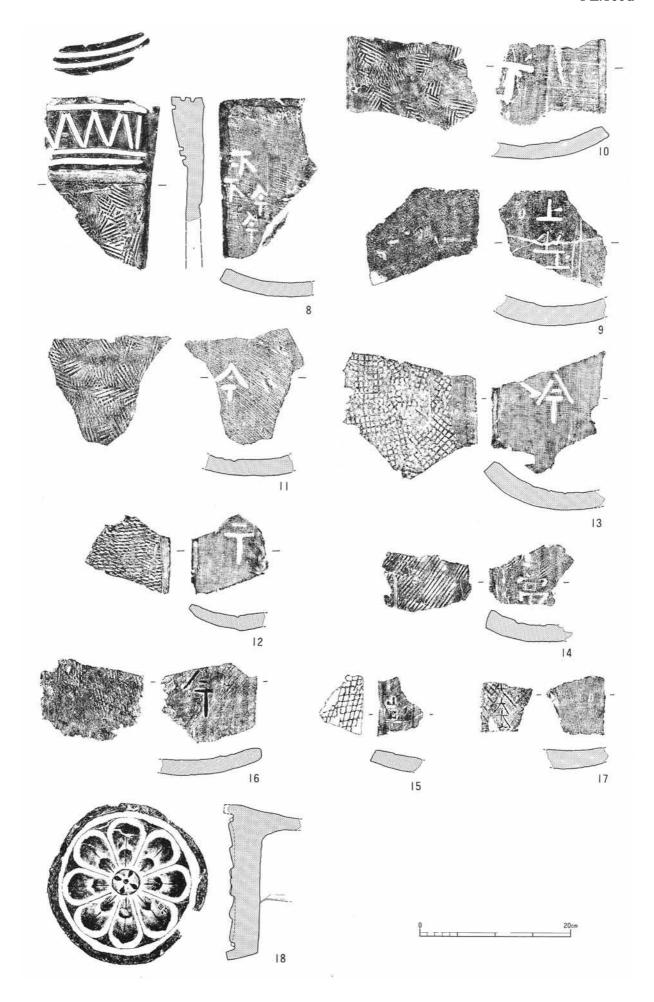




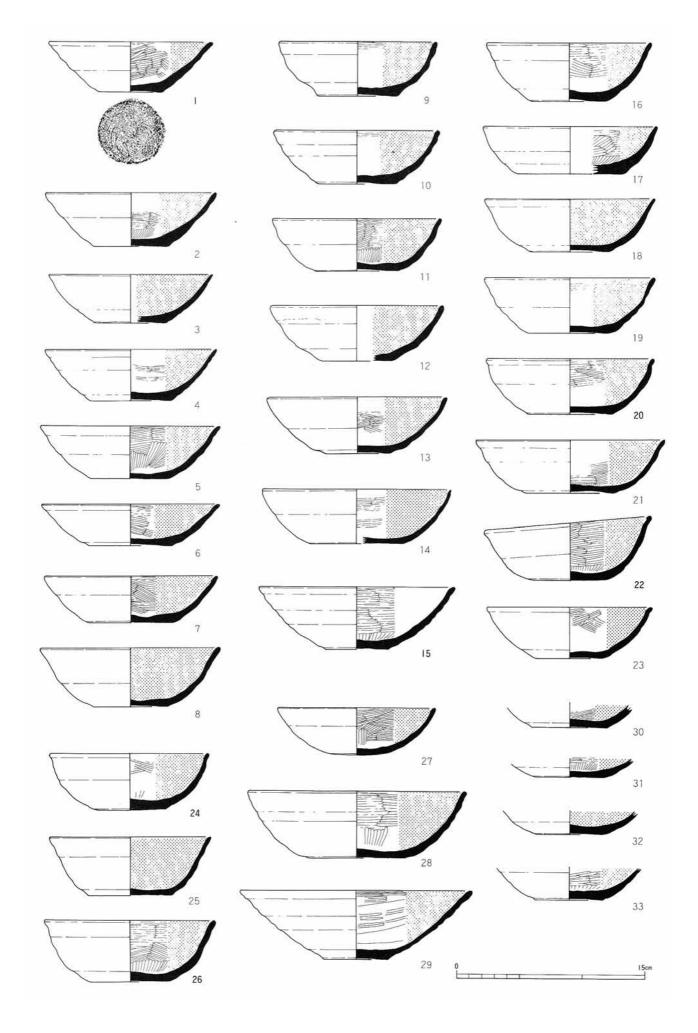
文字瓦 記号瓦

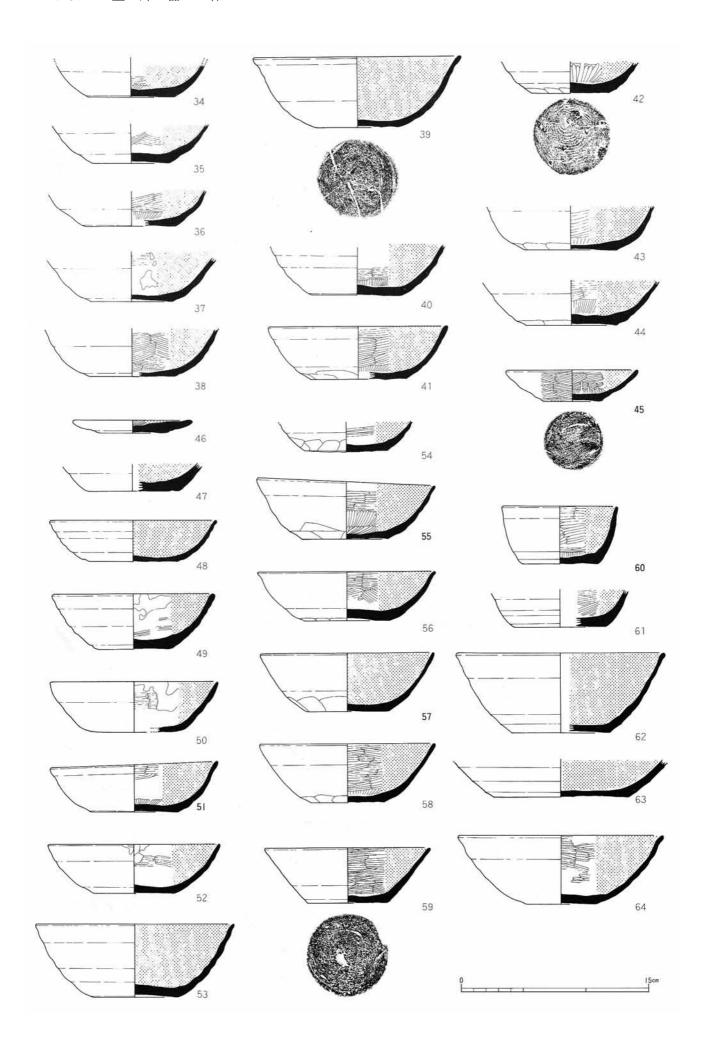


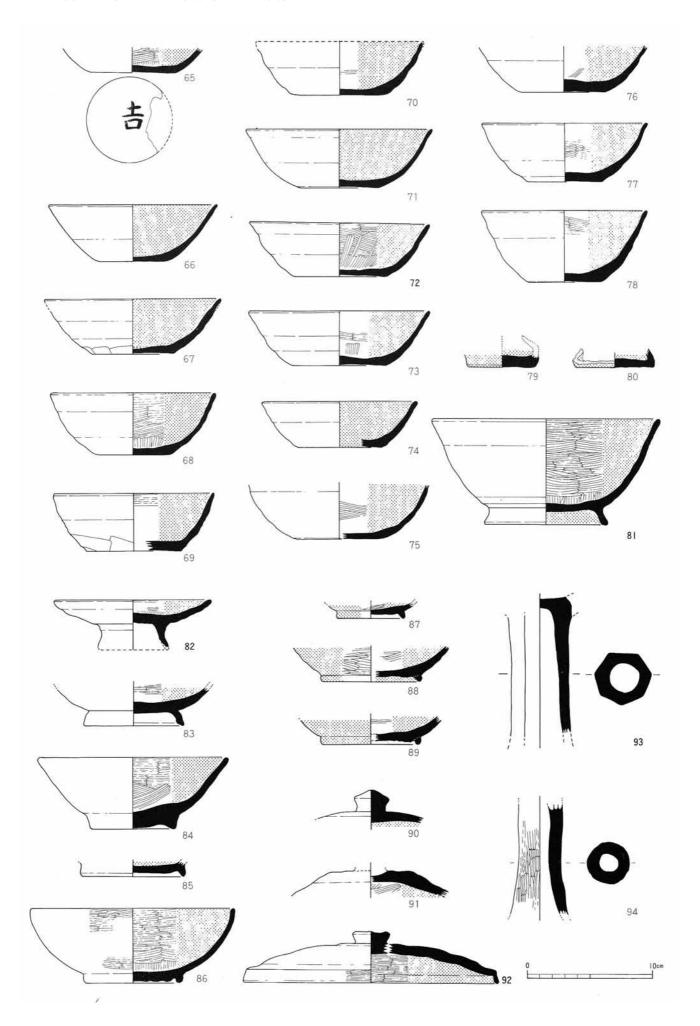


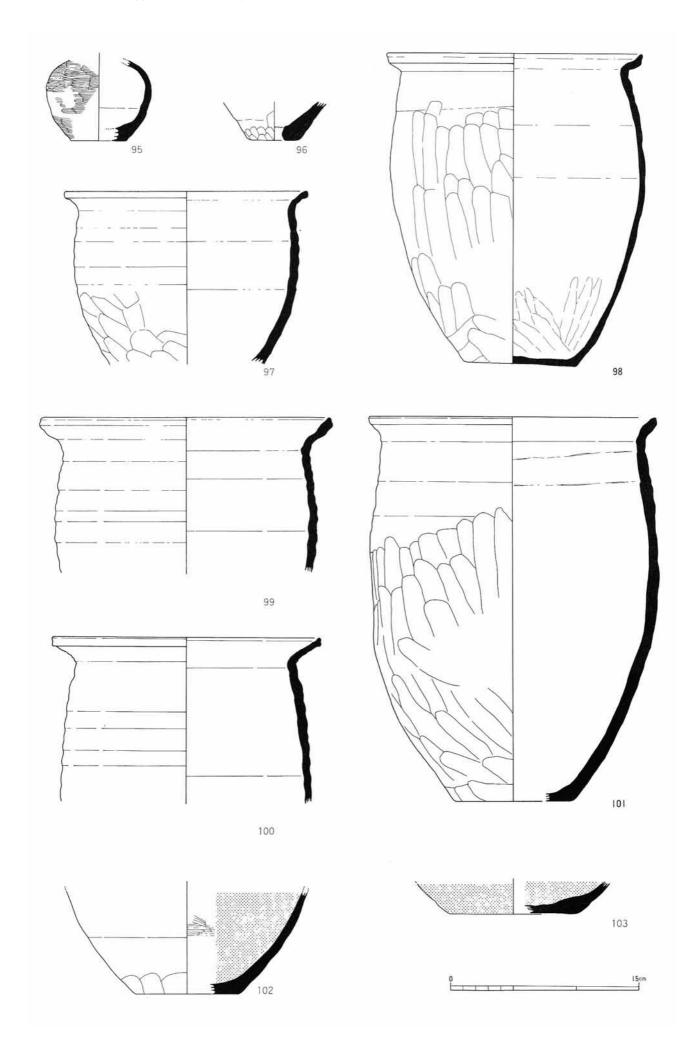


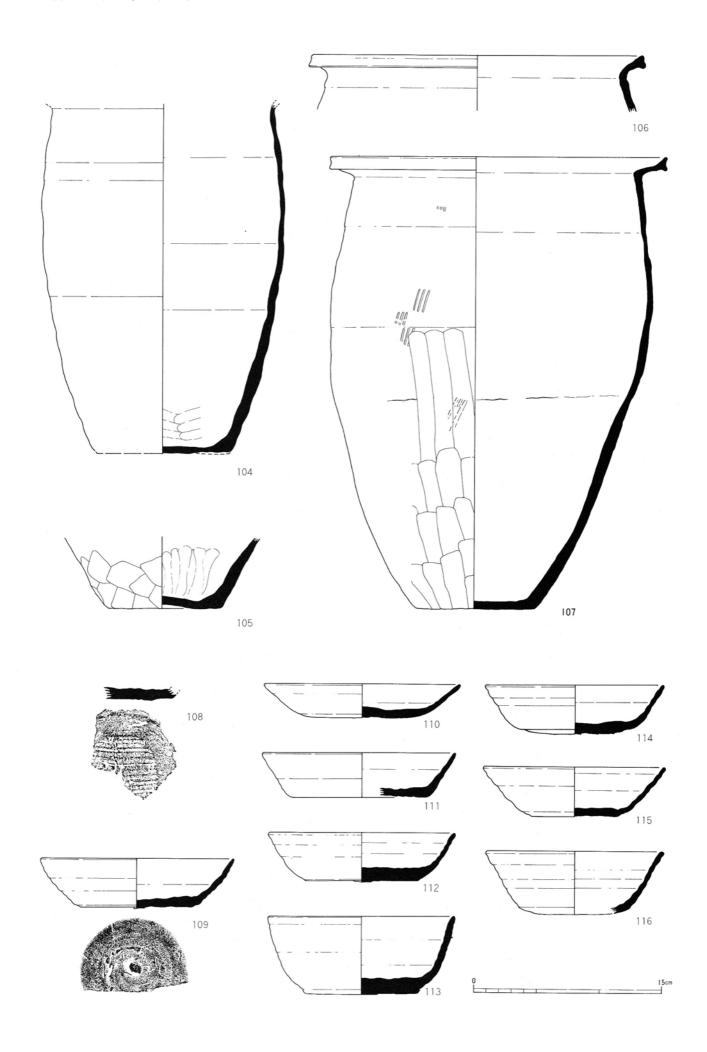
土 師 器 杯 PL.106

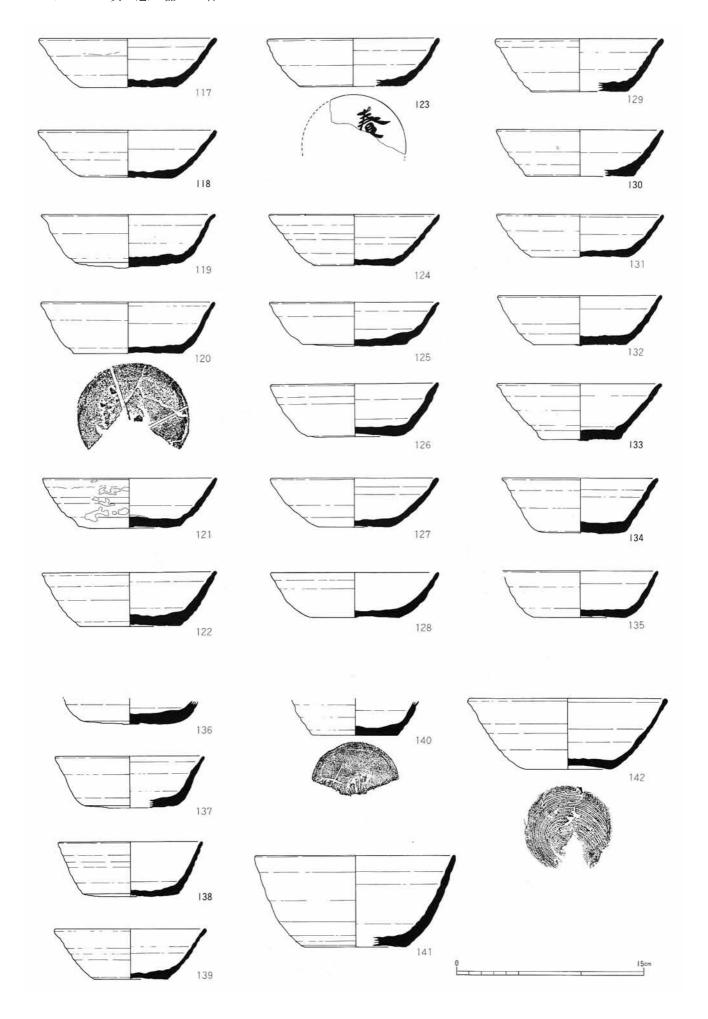


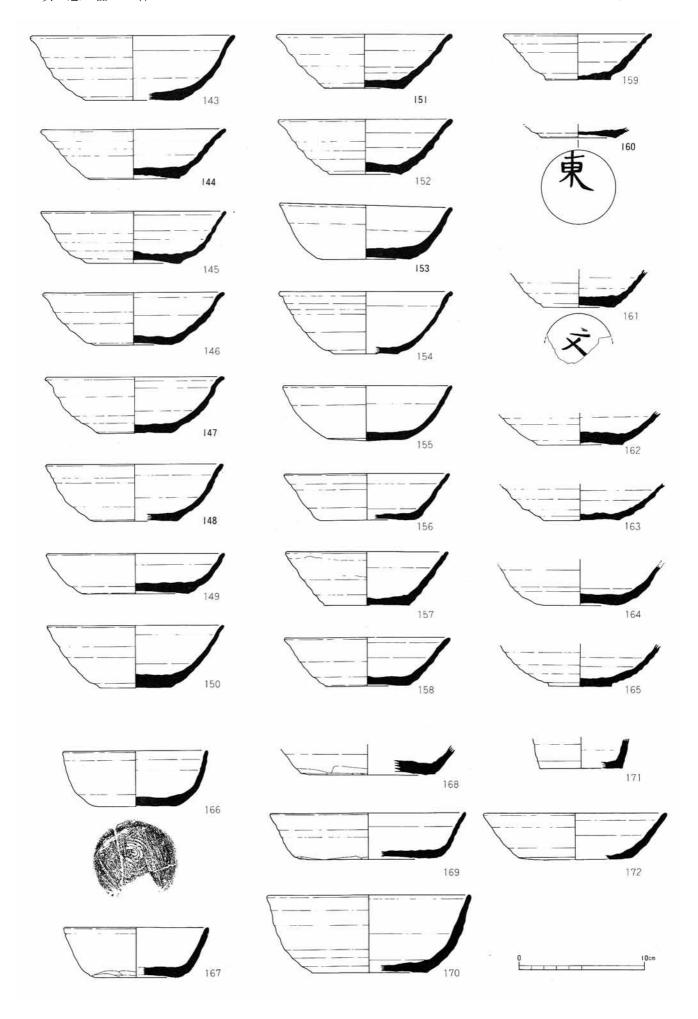


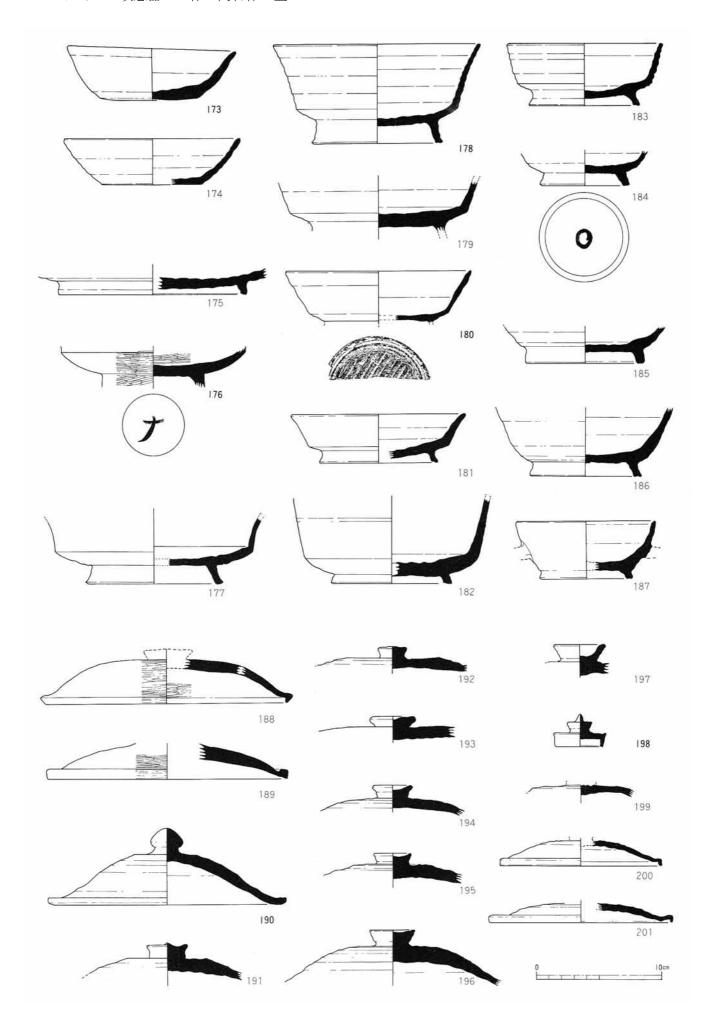


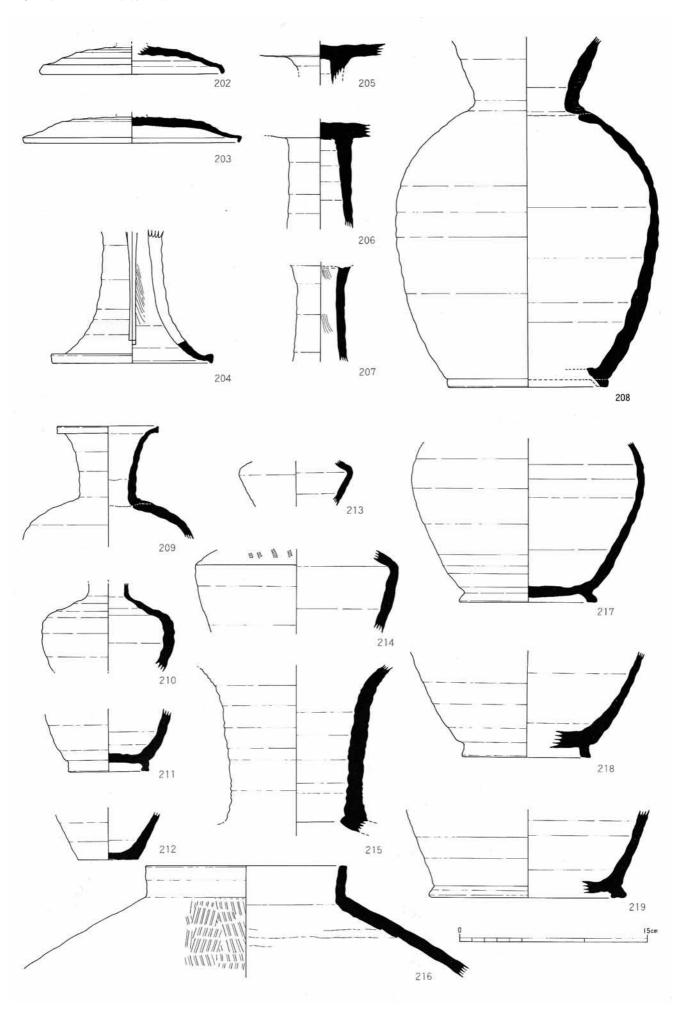


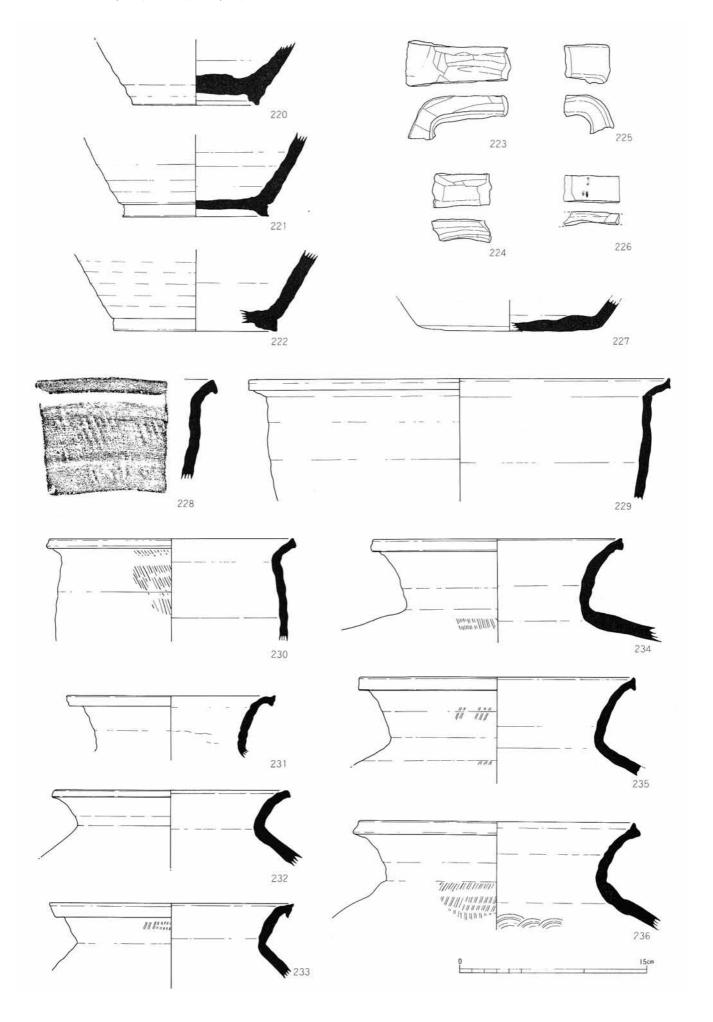


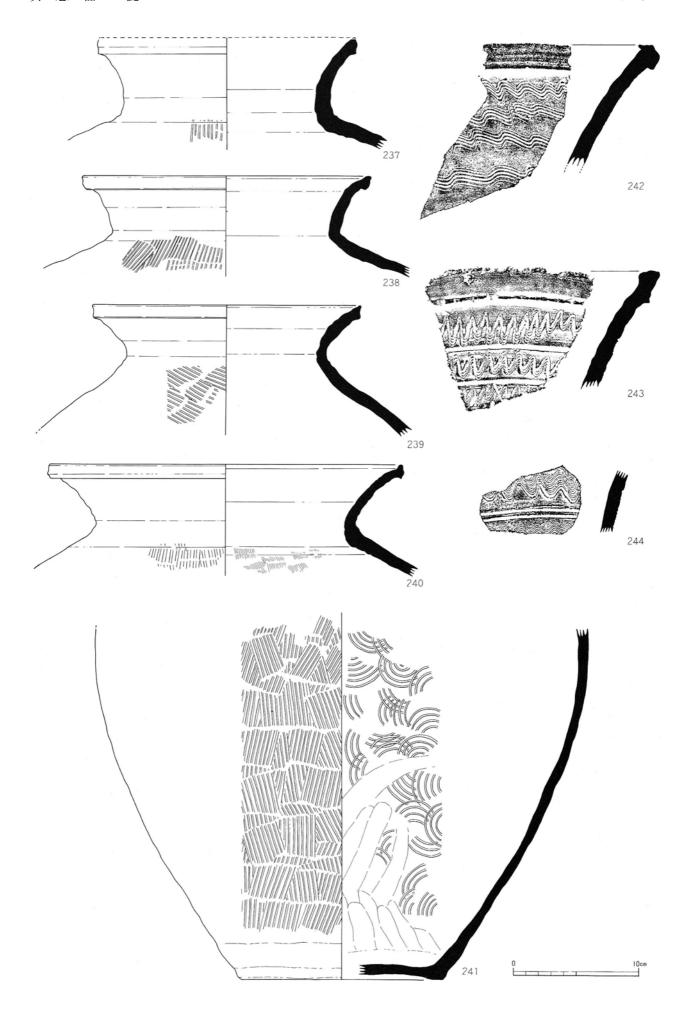


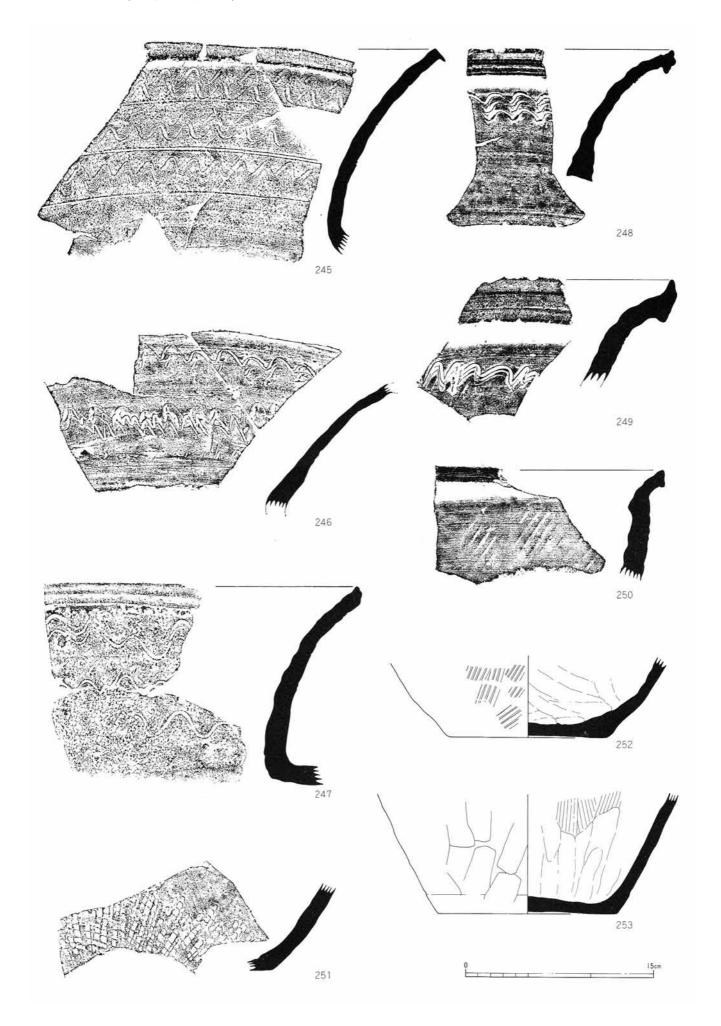


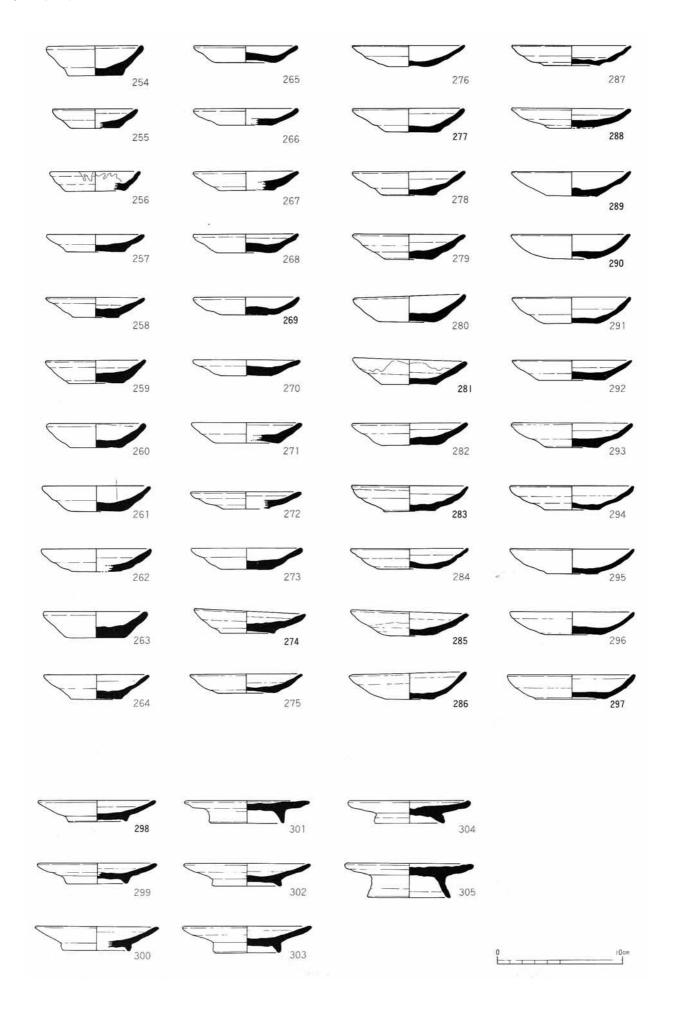


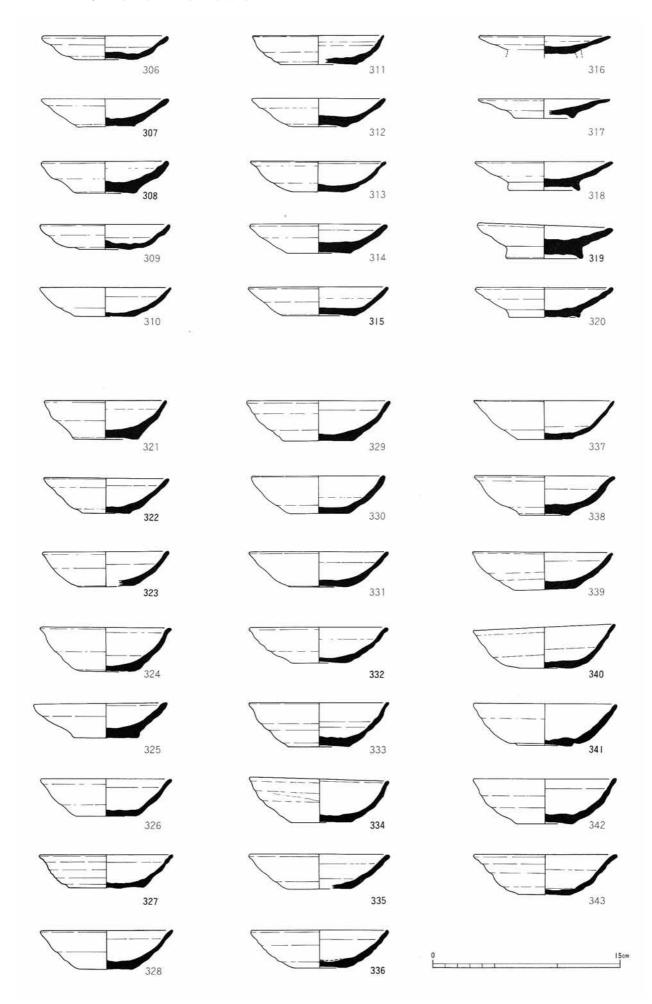




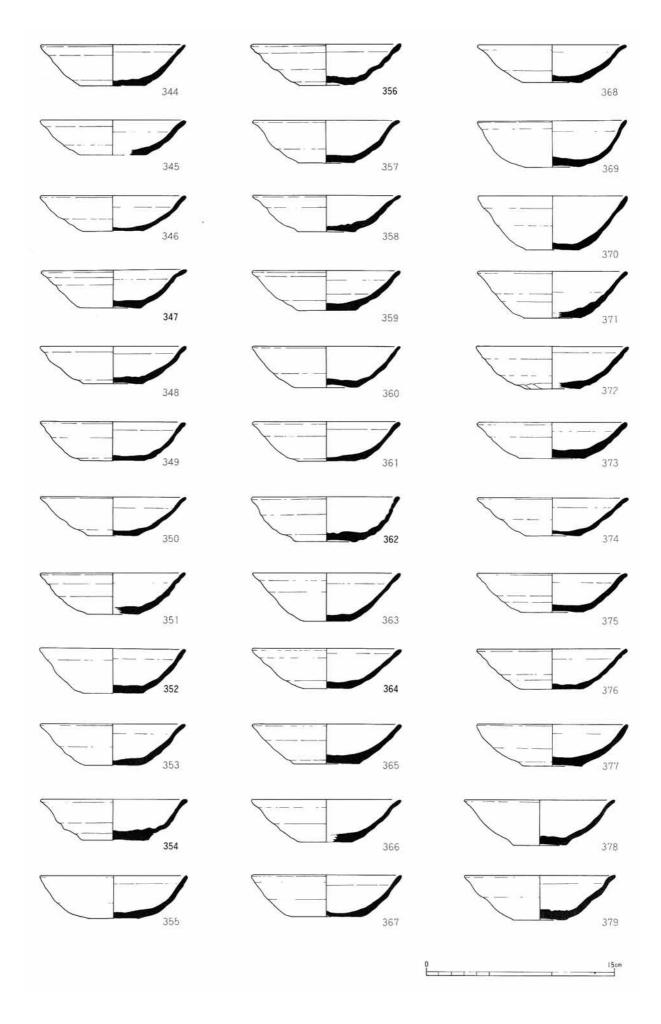


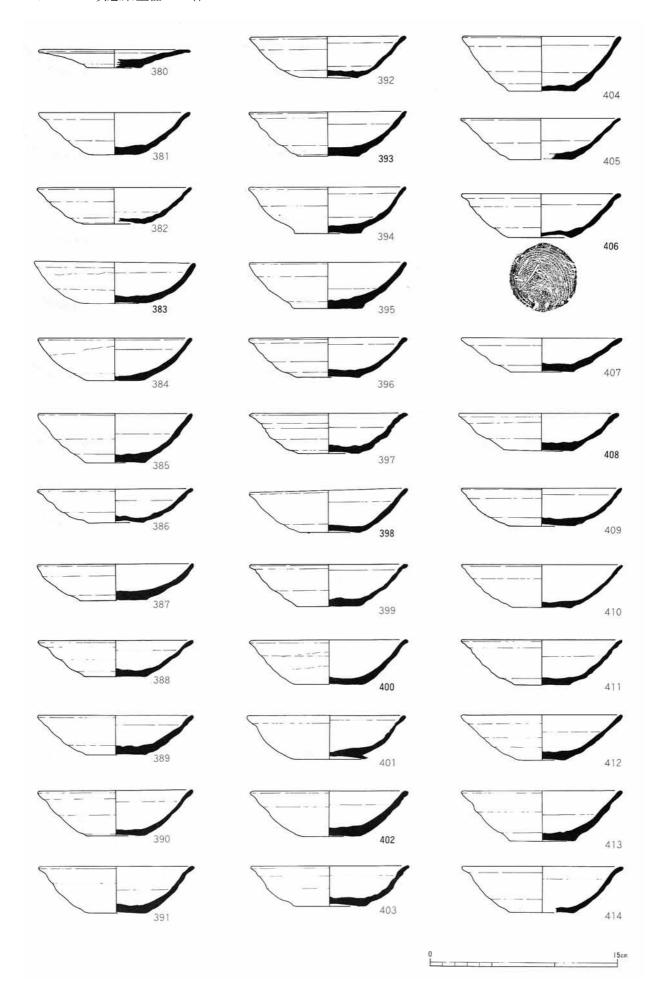




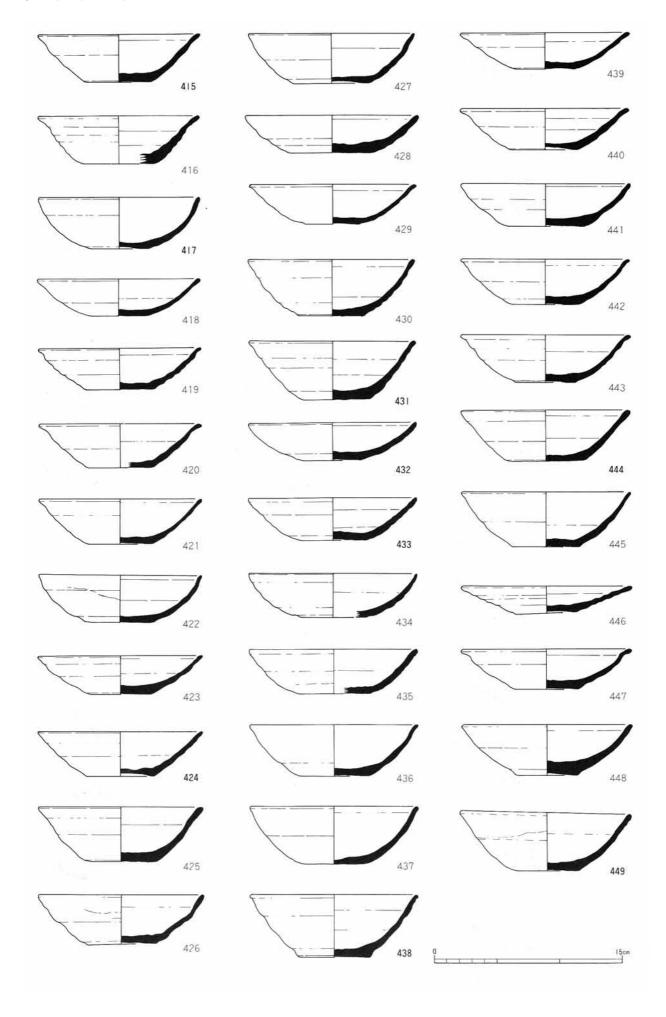


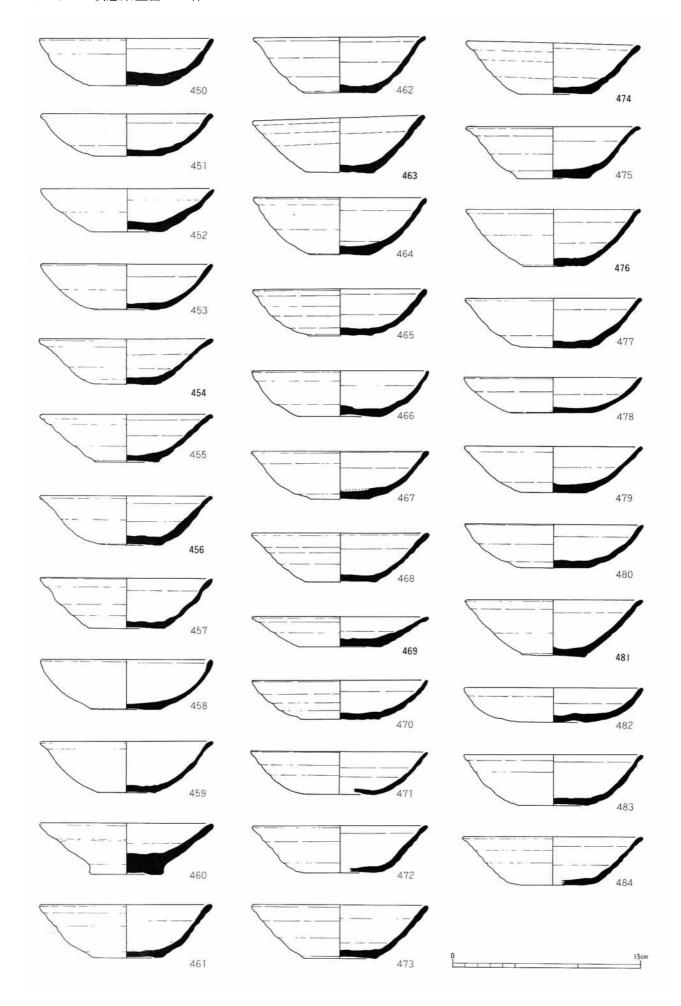
須恵系土器 杯 PL.120



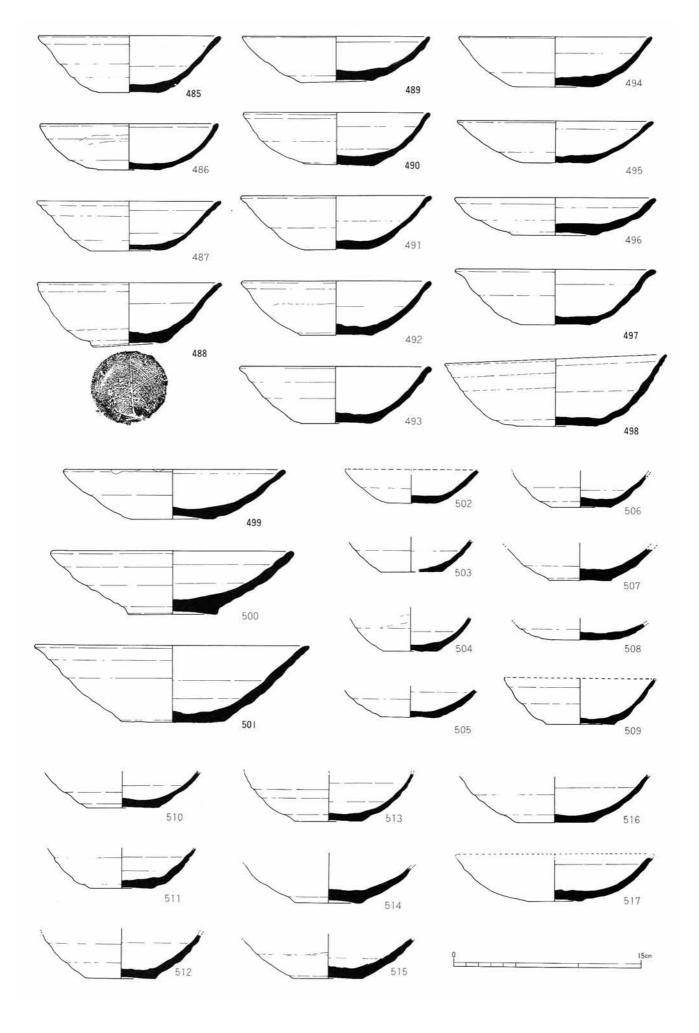


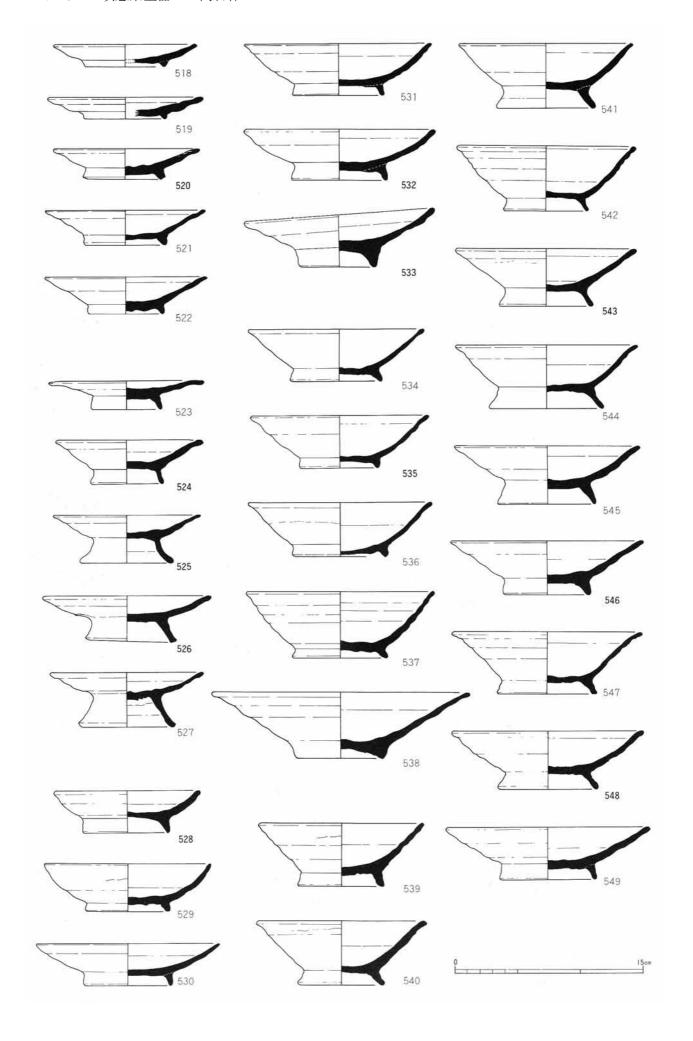
須恵系土器 杯 PL.122



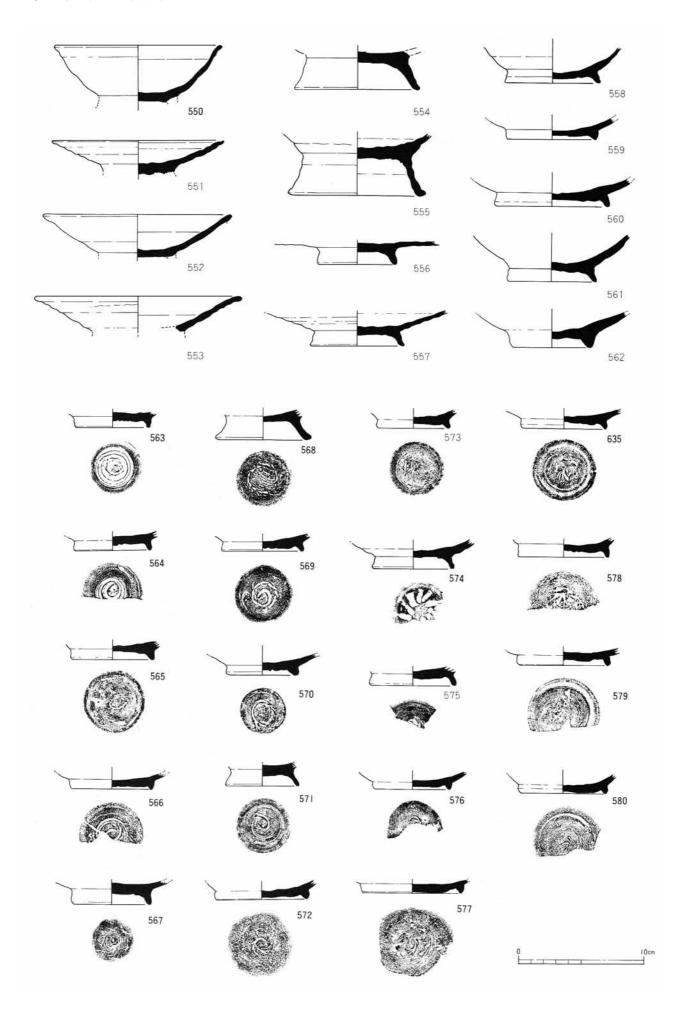


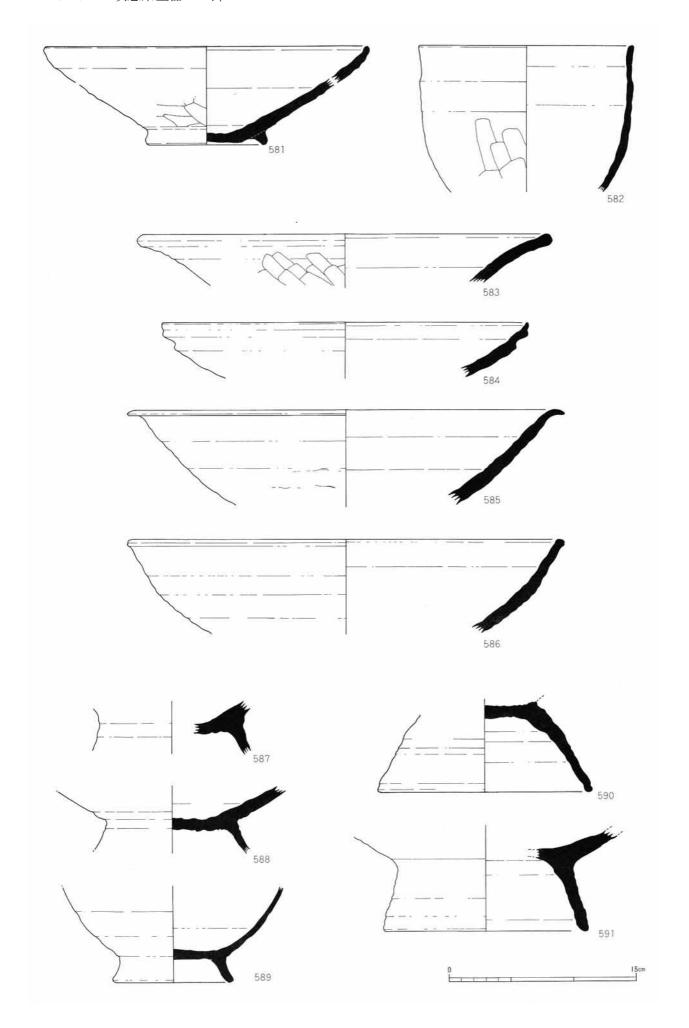
須恵系土器 杯 PL.124

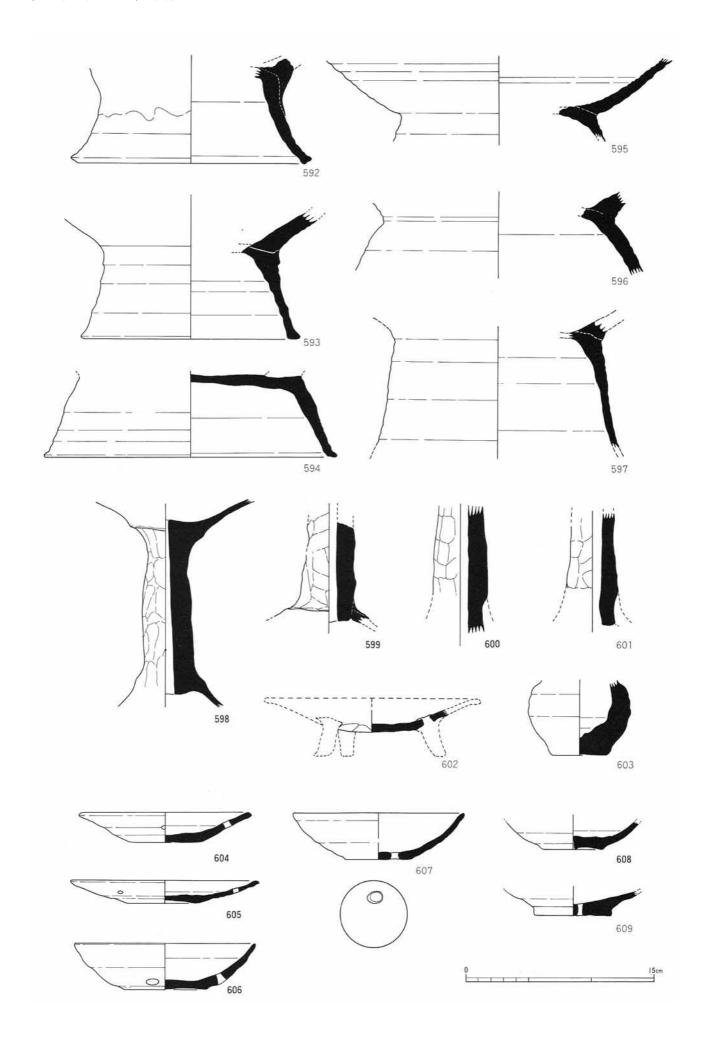


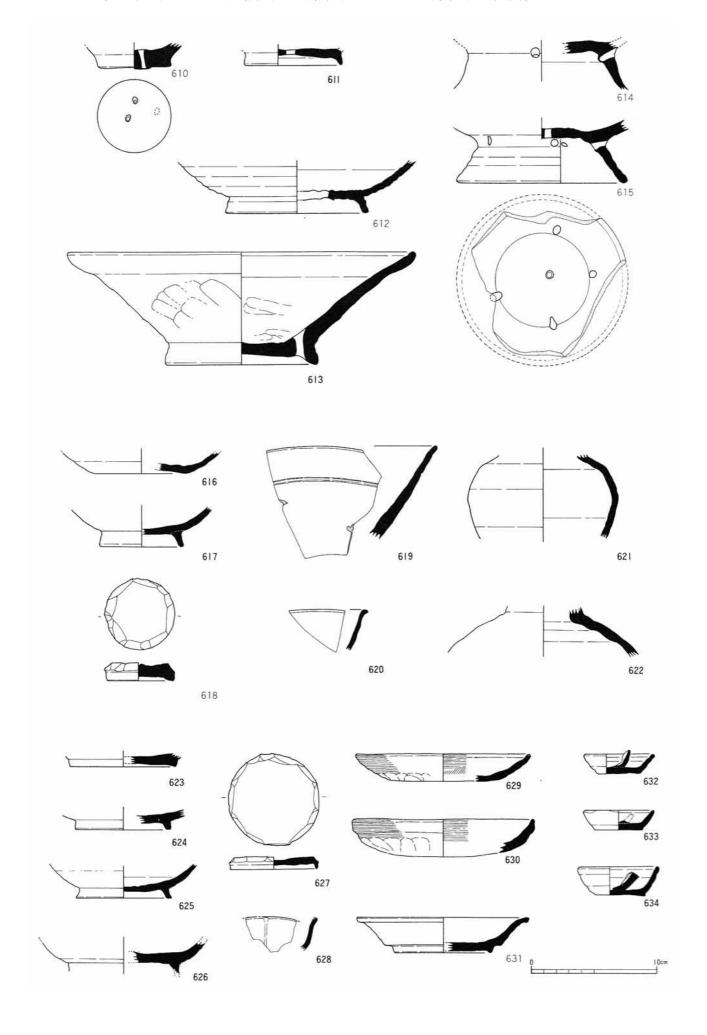


須恵系土器 高台杯

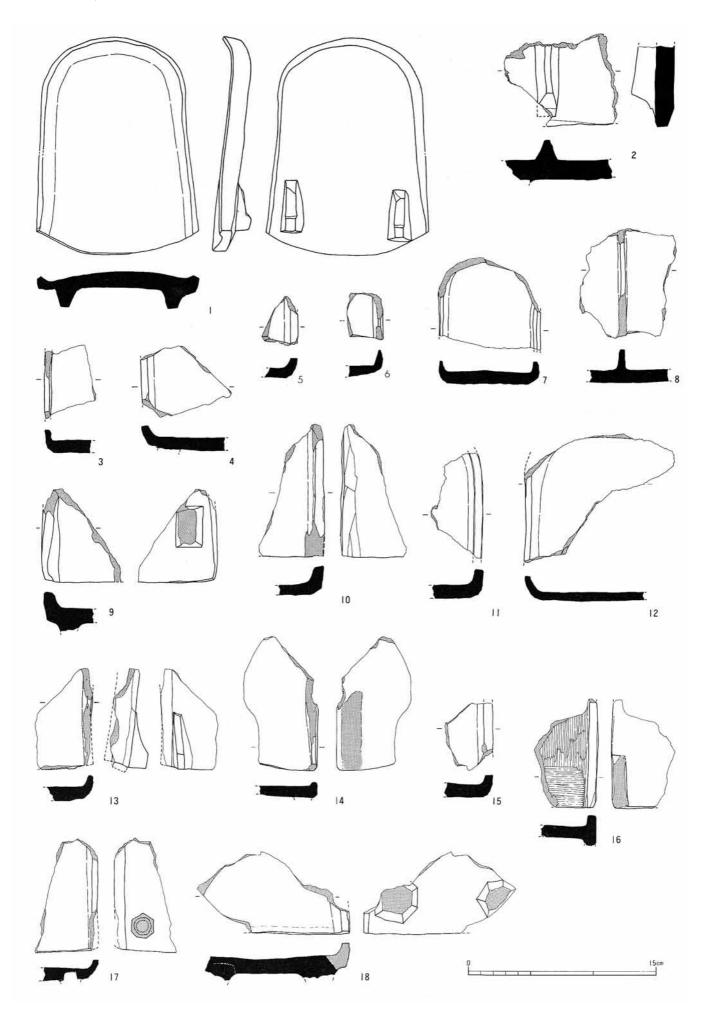


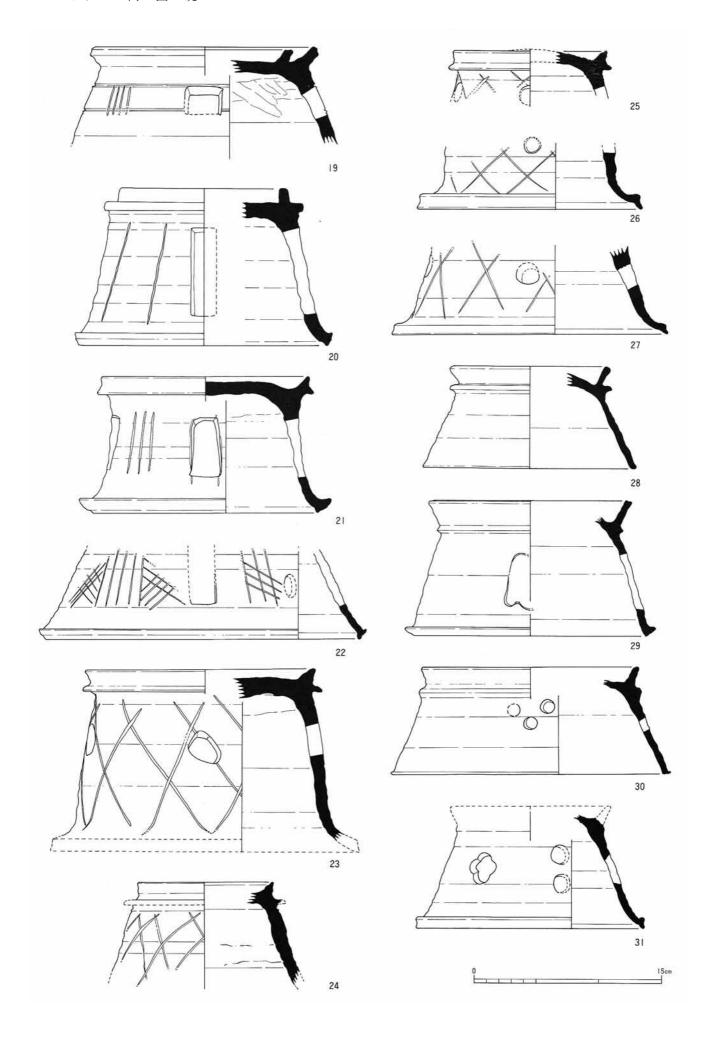




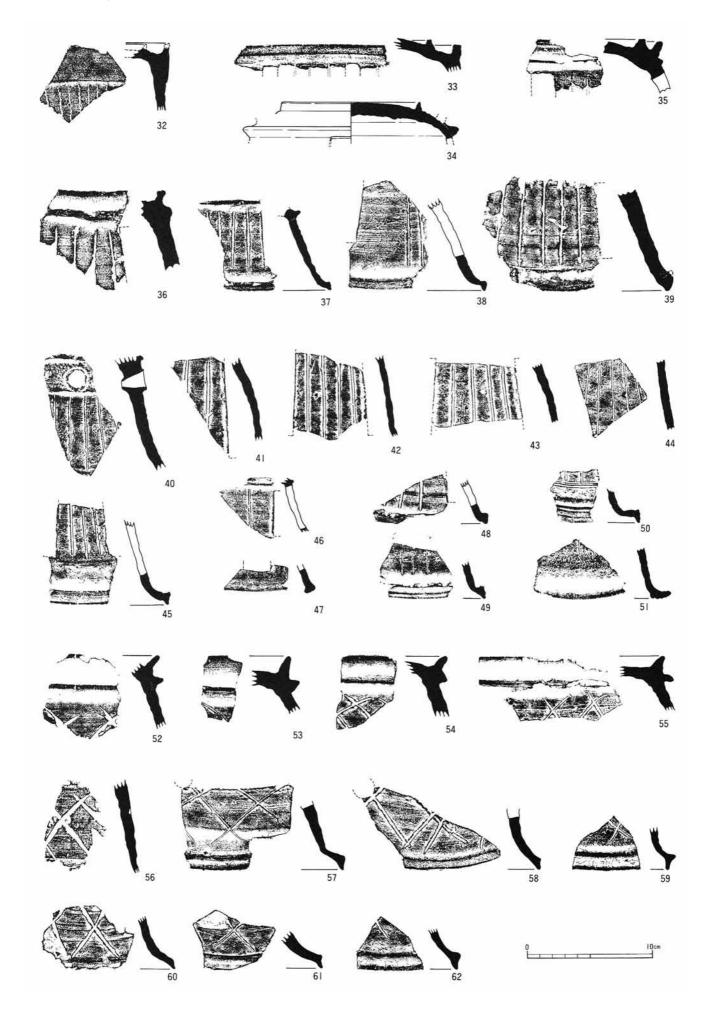


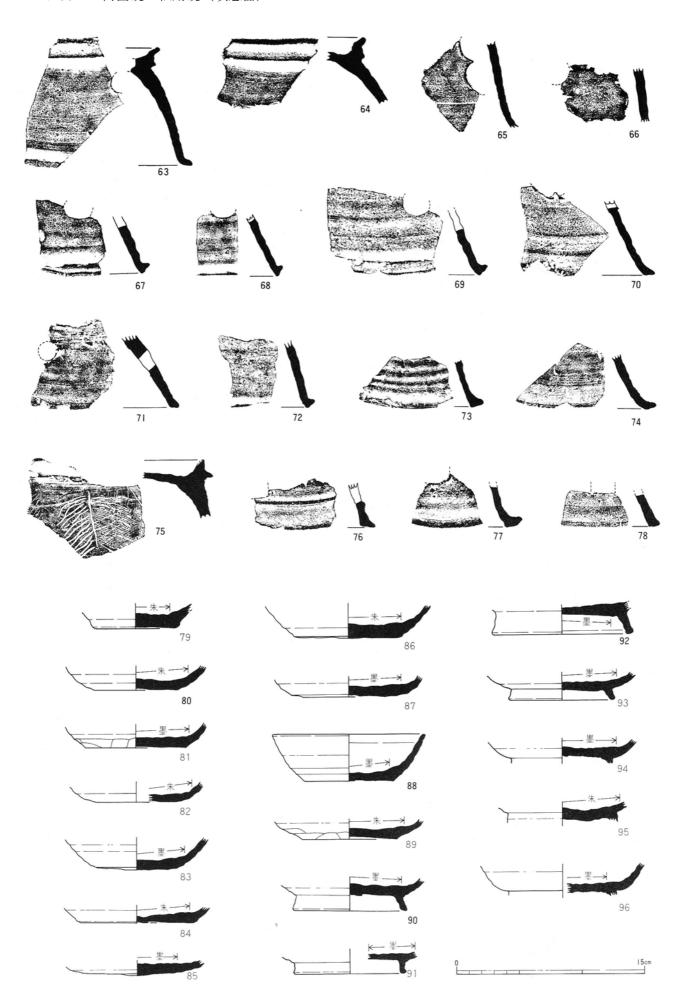
風 字 硯 PL.130



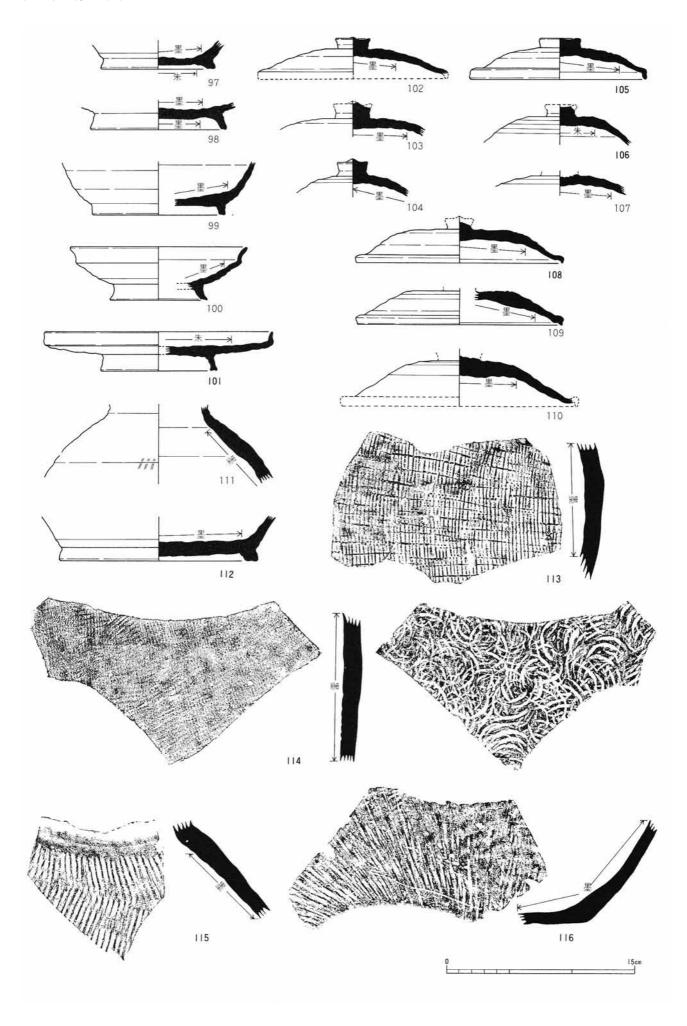


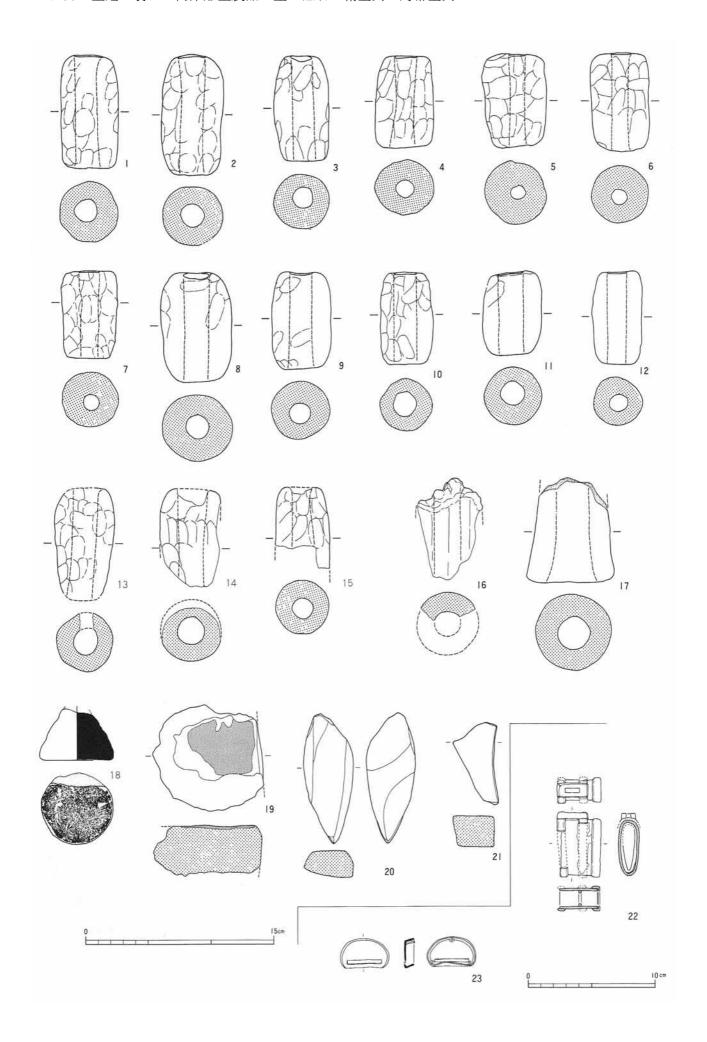
円 面 硯 PL.132





転用硯(須恵器) PL.134



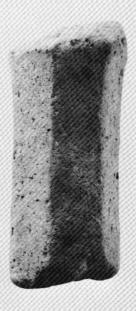


土師器 甕・ 高杯



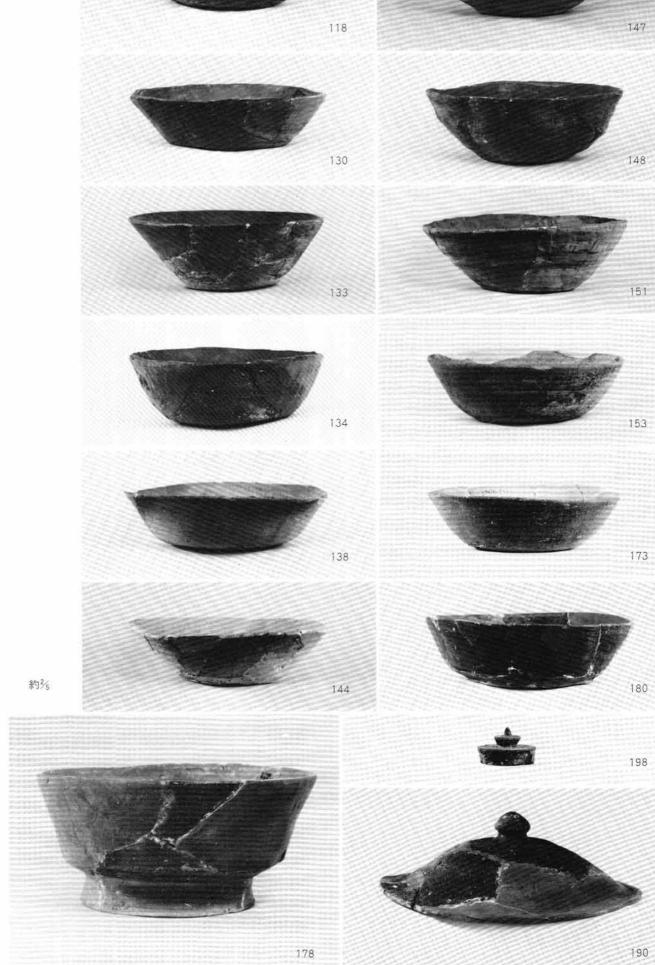






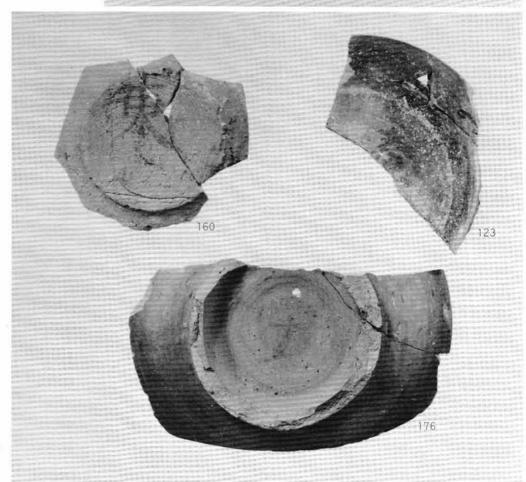
93 約% 約%

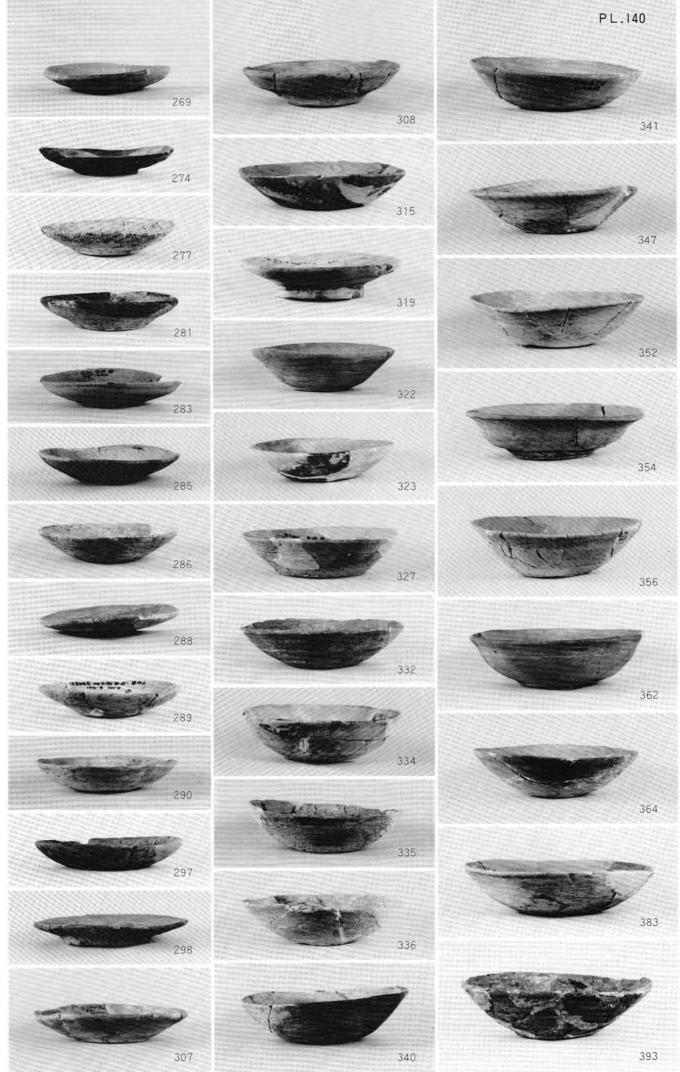
須恵器 杯・ 高台杯・蓋 118 130 133 134 138 約% 144

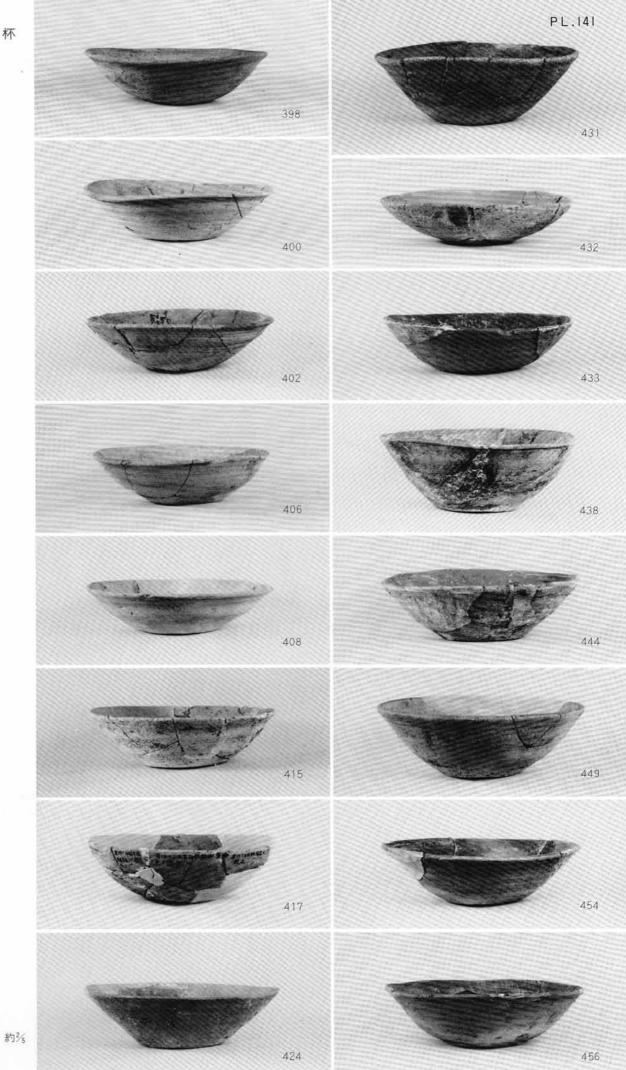


PL.138

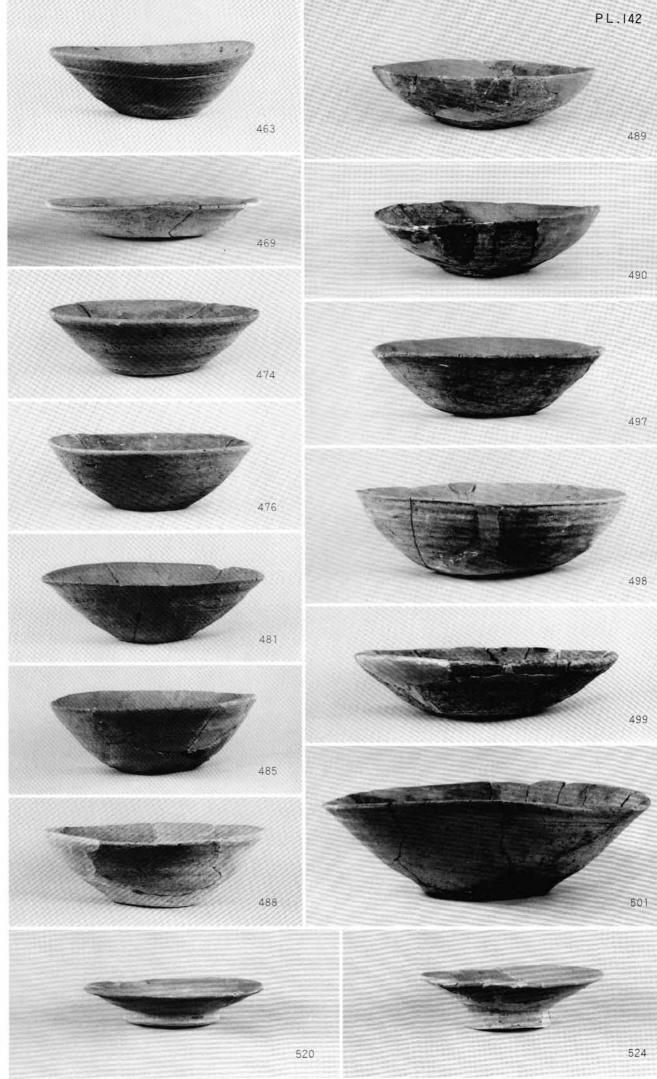




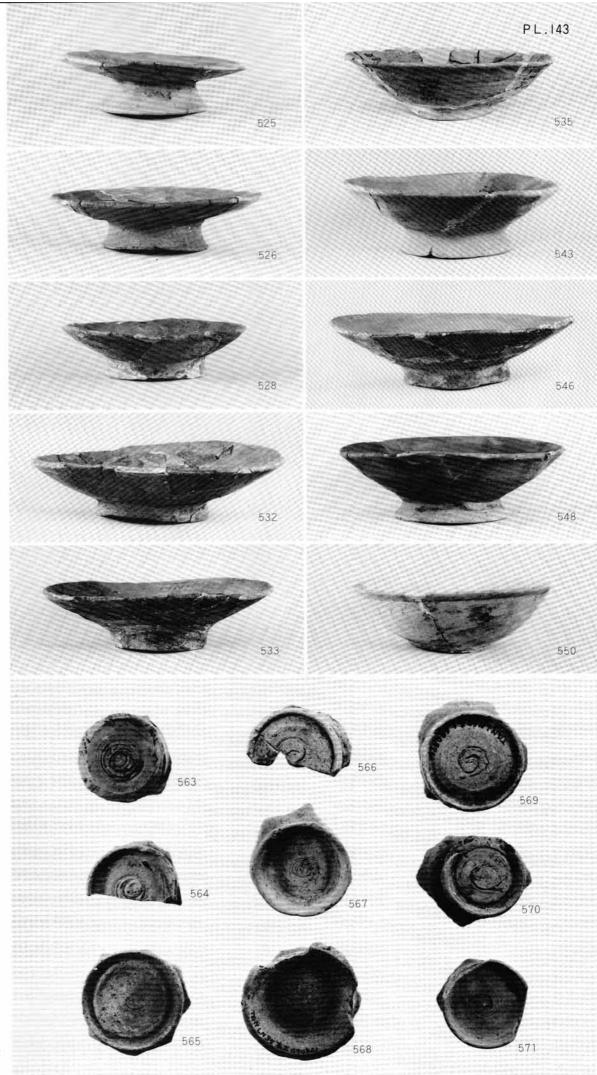




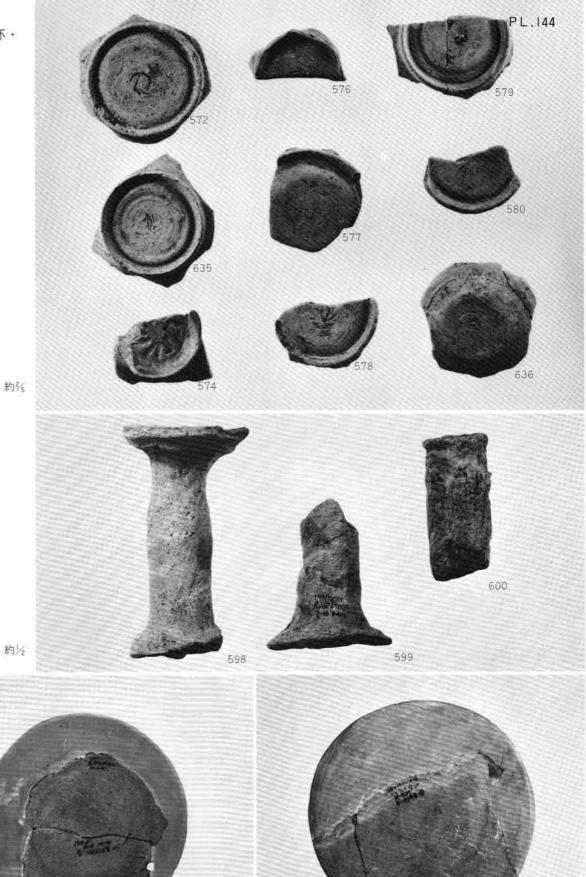
須恵系 土器 杯· 高台杯

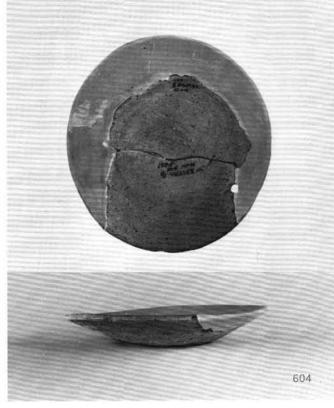


須恵系土器 高台杯

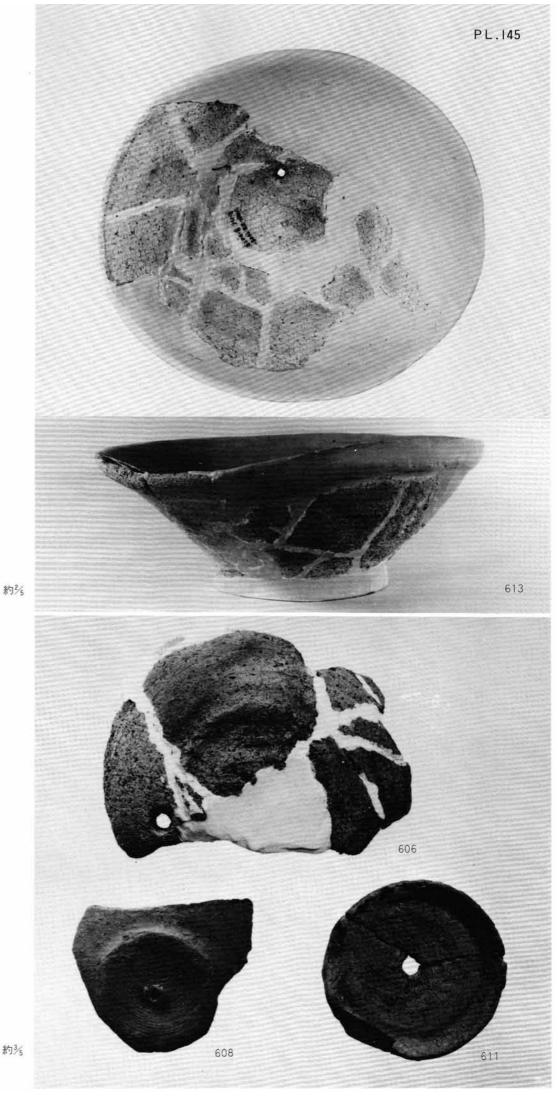


須恵系土器 高台杯・ 高杯・穿孔

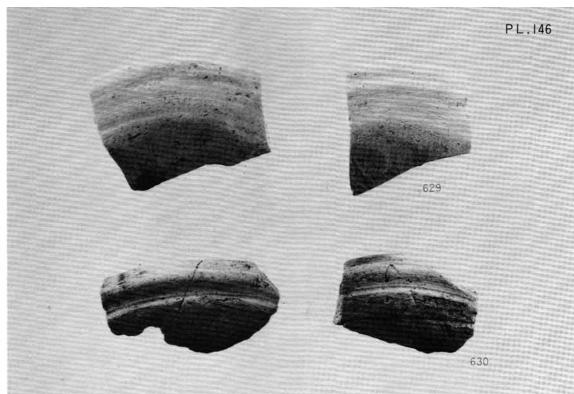




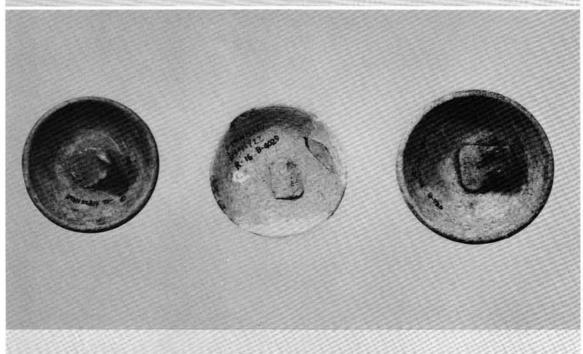


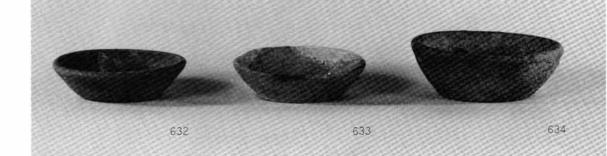


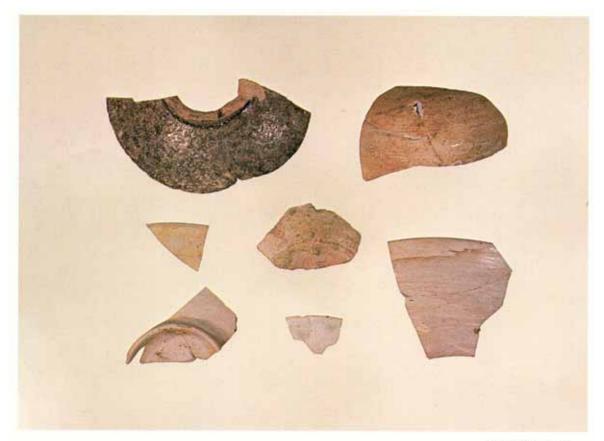
土師質土器 灯明皿



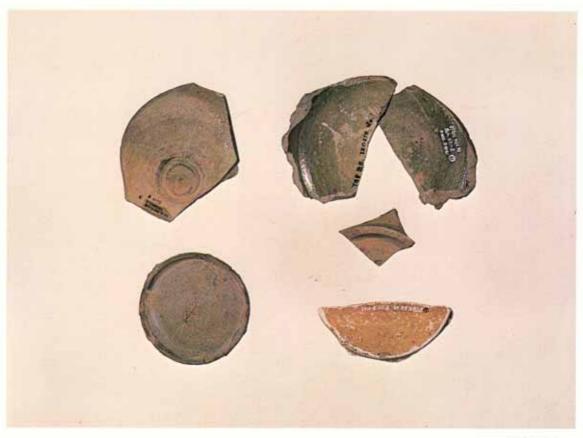
約分



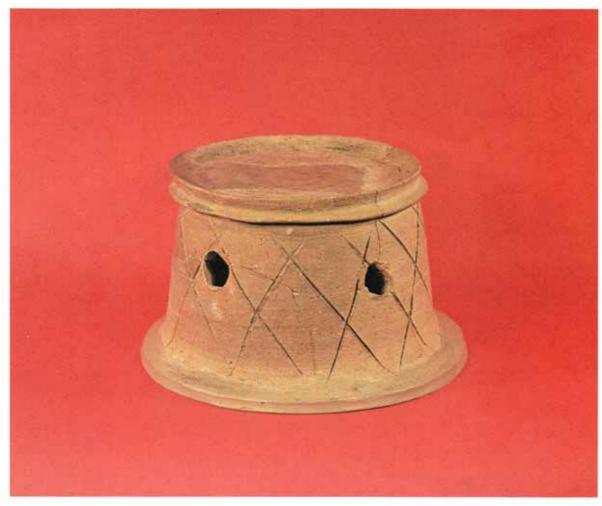




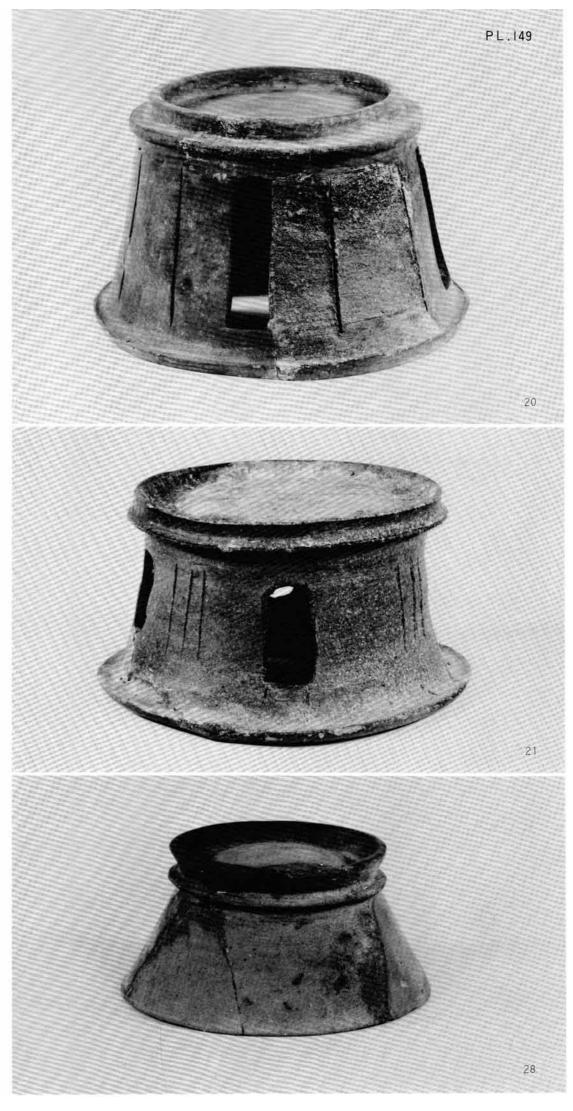
灰釉陶器・白磁



緑釉陶器

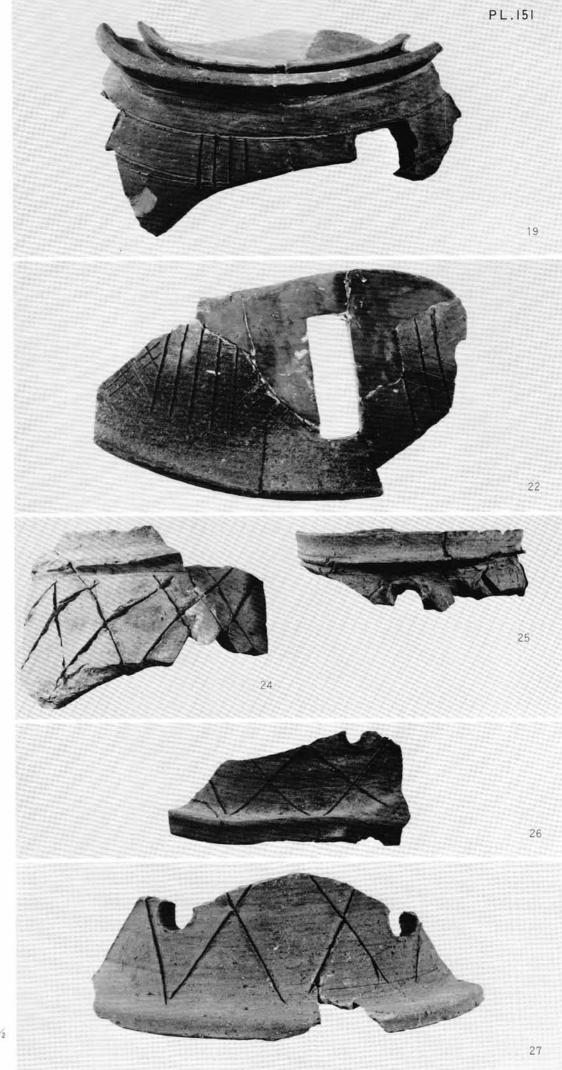


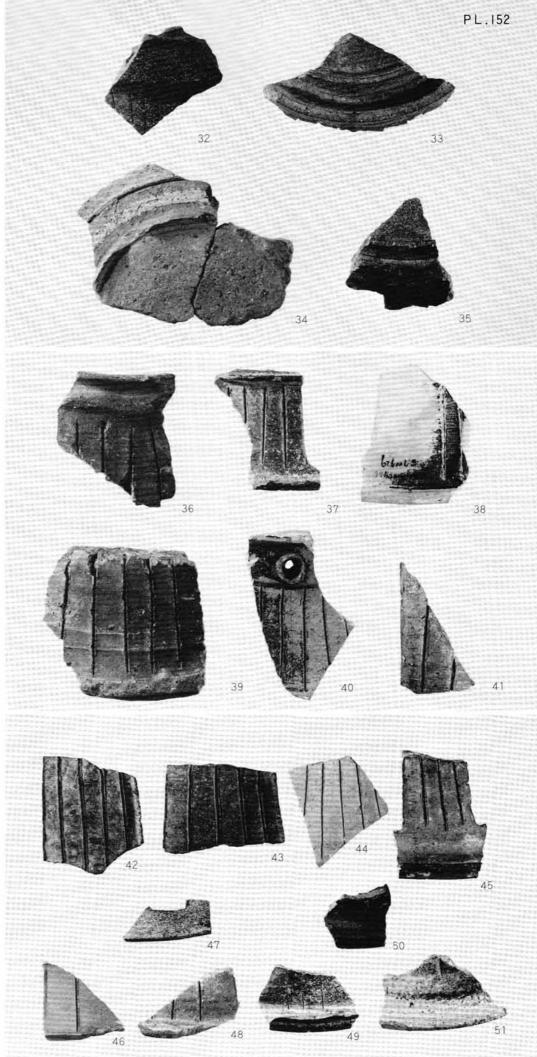
PL.131-23

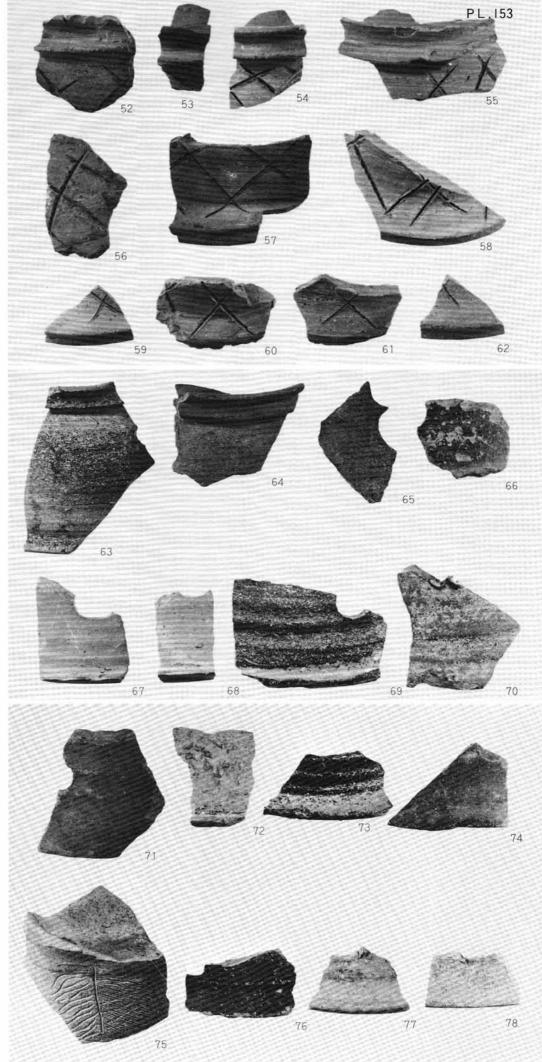




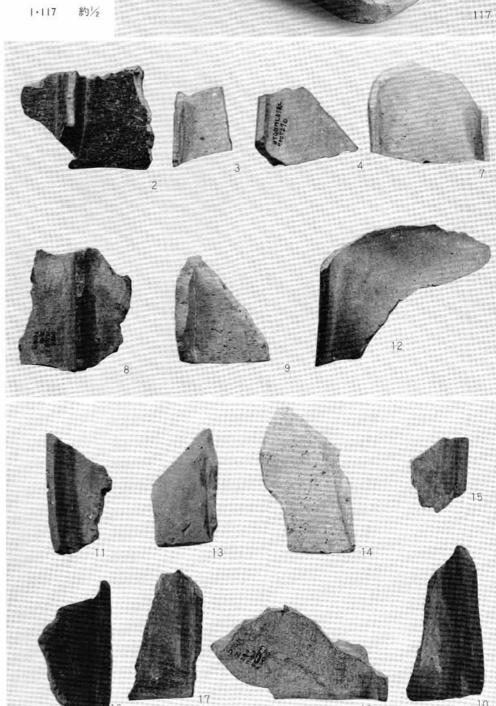
31



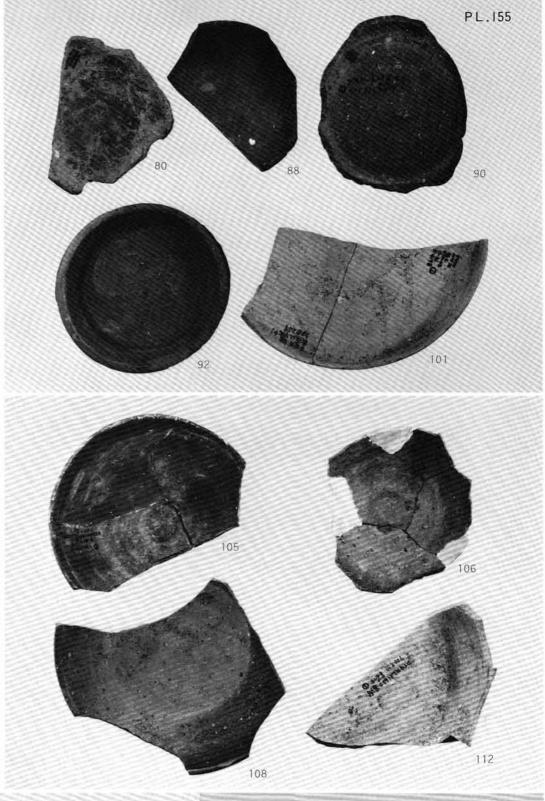


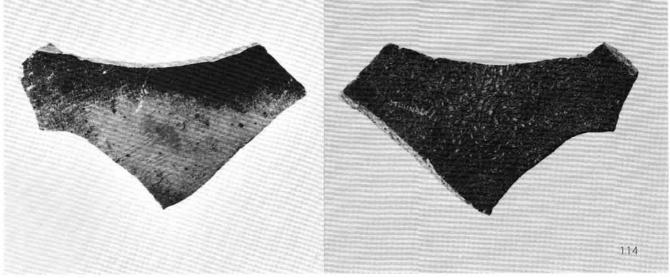




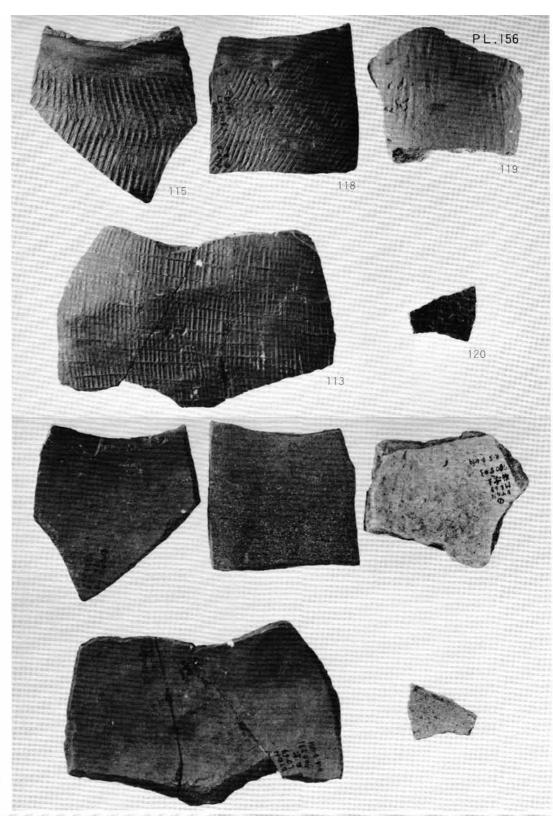


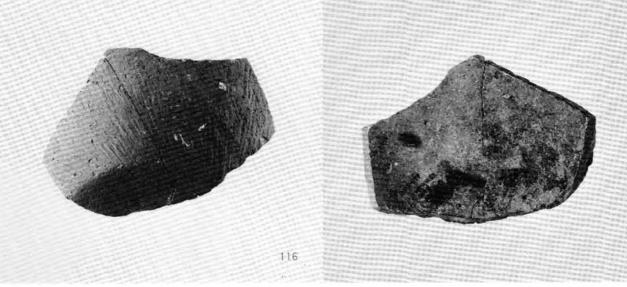


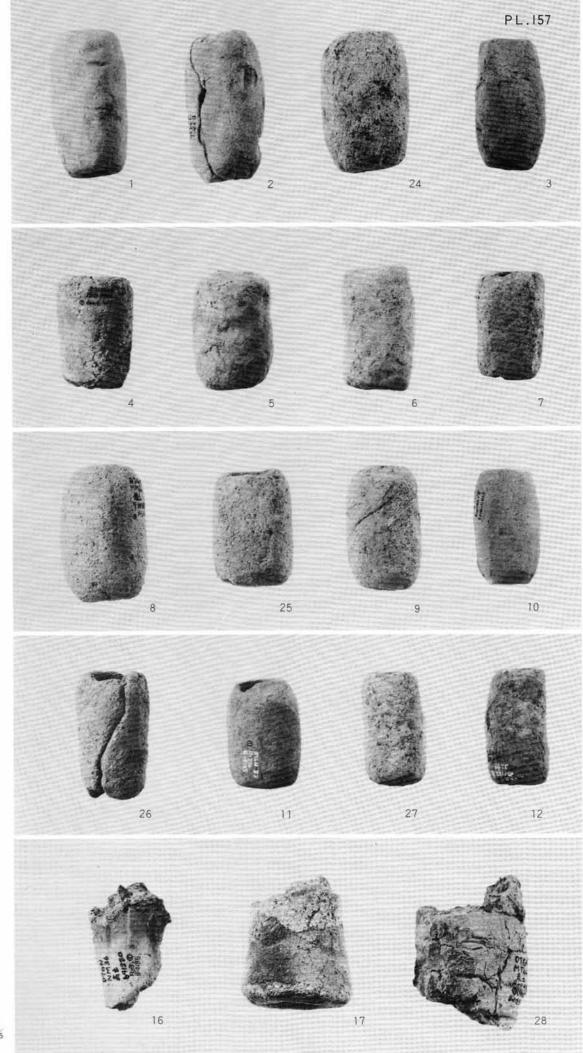




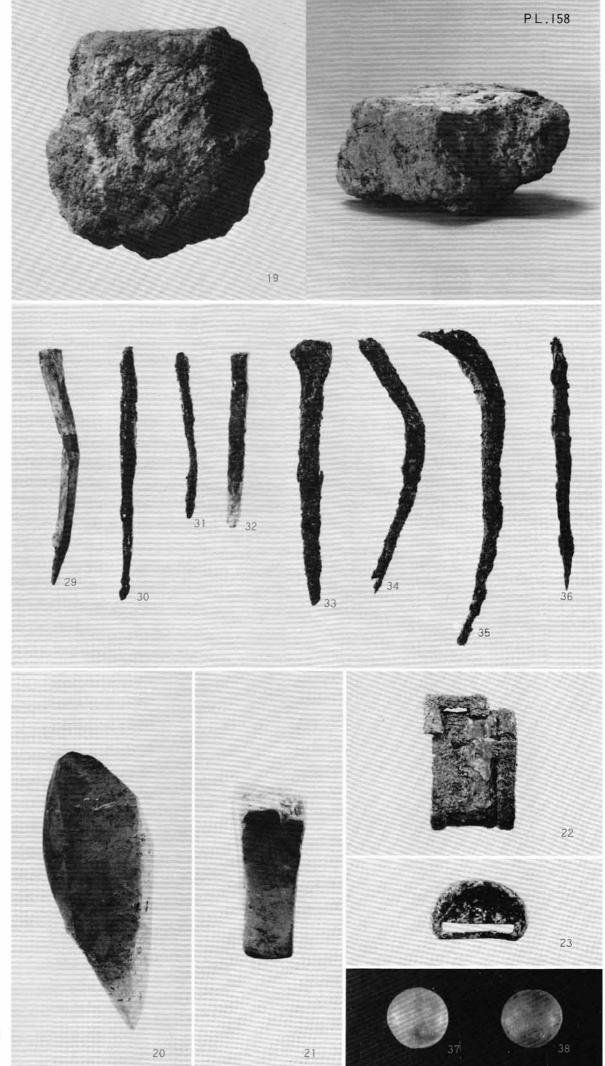
転用硯(須恵器)

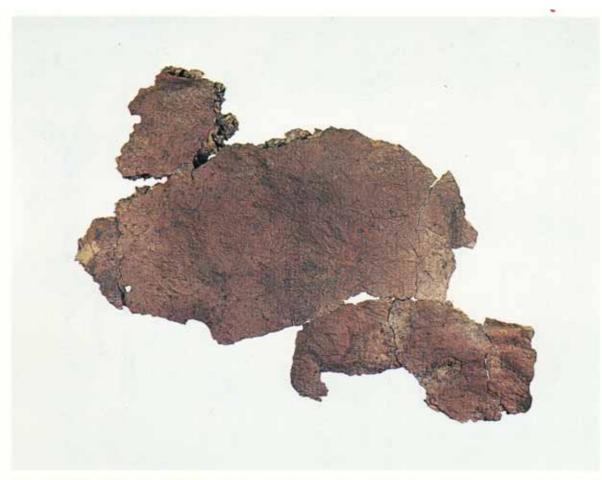


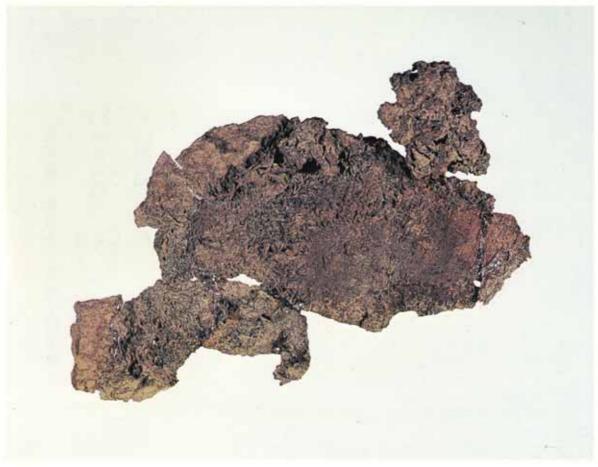




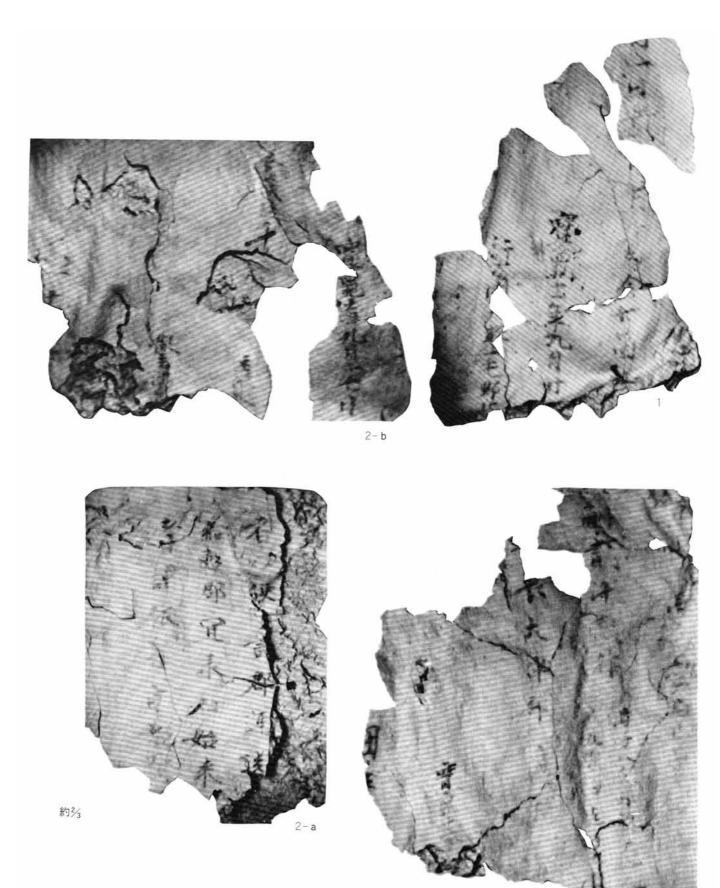
壁 鉄釘 砥石 鞘金具 銙帯金具 水晶平玉





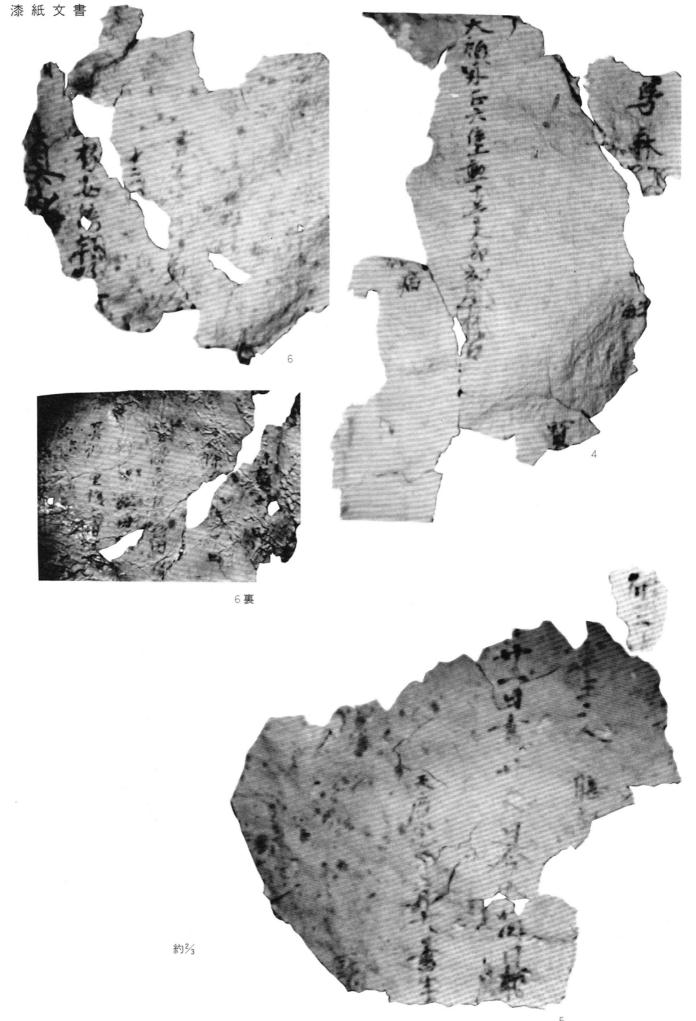


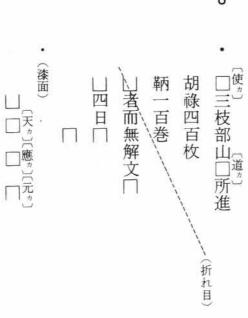
	2,		1
□	〔粮》〕 (言```) 者□使□郡運送□		「九日盡」 月十□日合十箇□
			3
	(自署)	□長大伴部廣椅□九月□日迄□九日□□九月□日迄□九日□□九日□□九日□□五日□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□郡司解 申進上兵馬馬子粮米事

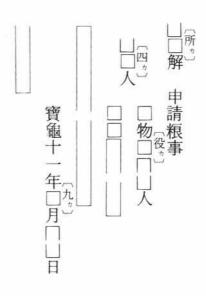


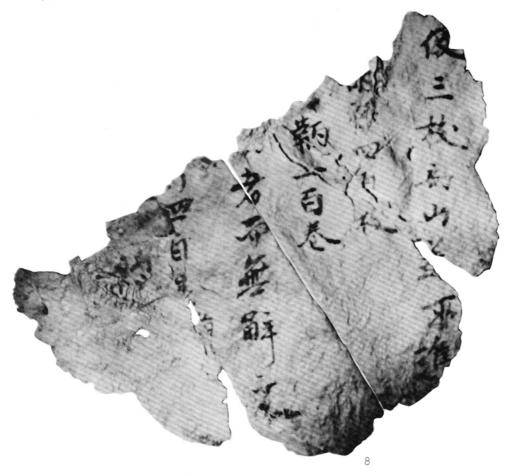
3

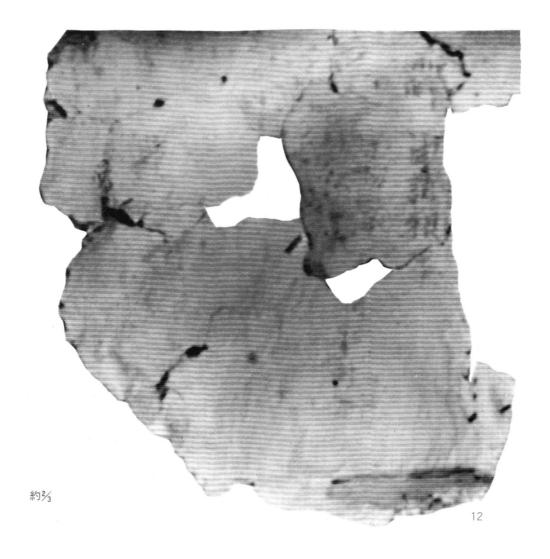
□條□	里	□條□□田□	□條□	□條七里大□田□	• (漆面)	真	□掾安倍朝臣□	(別筆ヵ) 「十二日	書生生部益人	□應元年五月九日□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	大領外正六位上勲十等丈部「		□鳥麻□□解
												同月	部病	龍麻呂」	寶 [
																5
												厨□	天應元年五月十八日書生	□廿一日盡廿九日合九箇日粮□	書生二人 膳部	

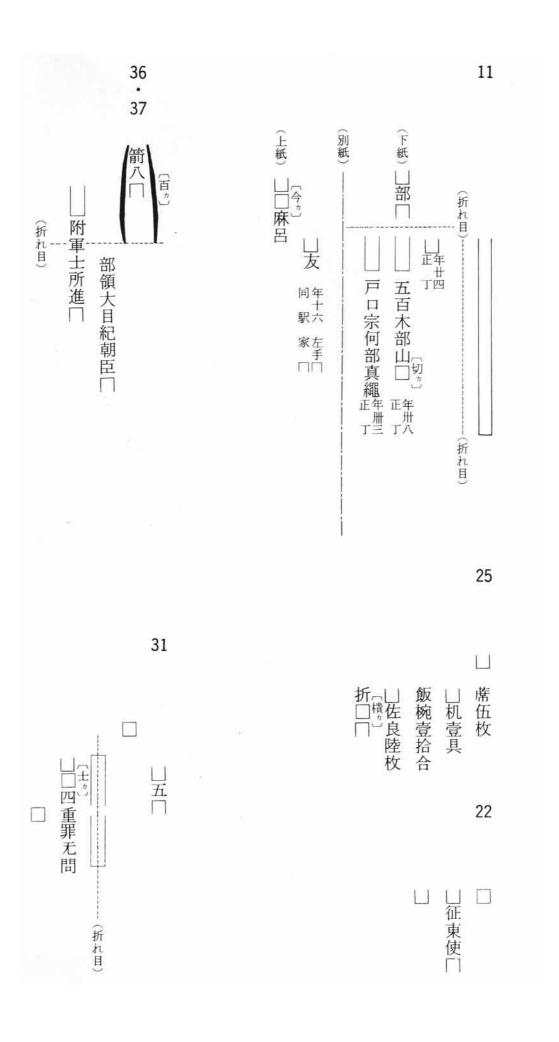


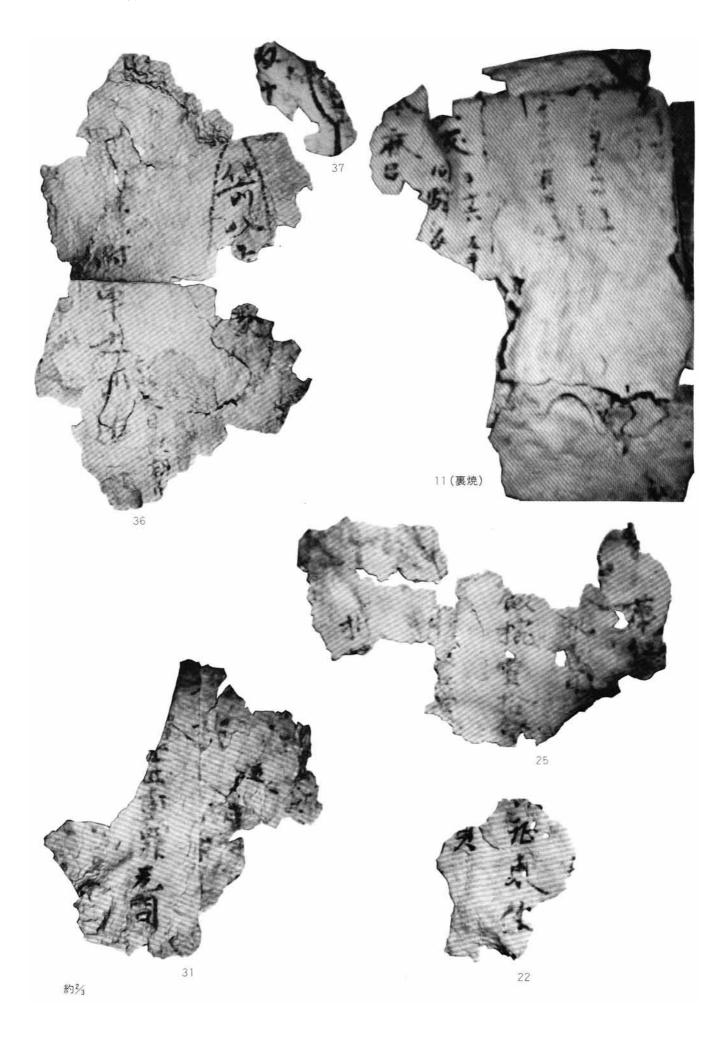












	官 []得国解偁	右、民部 [] 九日符□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		(左文字)		□□野	〔廣⁵〕 少目三村部野□ (自署)		弘仁十四年七月十一日	□ 仍録□□謹解 [事*][状*]		□事□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
17		16				15		(折れ目)				93
□里小野田二段	□十四里□	□條十□里北家田八段三百□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	大□田□		西廿二條十二□	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		八十歩	城田二段	[□□條十四里佐□□田□□十八歩	同條十七里大□□田□□四歩七十二歩



多賀城跡

昭和55年3月25日発行

発行者/宮 城 県 教 育 委 員 会 /宮城県多賀城跡調査研究所 〒985 多賀城市浮島字宮前133 TEL 02236 (5) 0101

印 刷/今 野 平 版 印 刷 株 式 会 社 〒983 仙台市伊在白山印刷団地24号 TEL 0222 (88) 6015

